
四万十町
高齢者の生活に関するアンケート
(介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)
報告書

令和8年3月

目次

I	調査概要	1
II	総評	3
III	調査結果	5
	1. ご家族や生活状況について	5
	2. からだを動かすことについて	10
	3. 食べることについて	15
	4. 毎日の生活について	19
	5. 地域での活動について	24
	6. 就労について	33
	7. たすけあいについて	34
	8. 健康について	41
	9. 認知症にかかる相談窓口の把握について	46
	10. 四万十町独自設問－認知症観について	49
	11. 四万十町独自設問－その他	54
IV	リスク判定	62
	1. 運動器の機能低下リスク	62
	2. 転倒リスク	64
	3. 閉じこもりのリスク	65
	4. 栄養改善のリスク	66
	5. 低栄養のリスク	67
	6. 口腔機能の低下リスク	69
	7. 認知機能の低下リスク	71
	8. 社会的自立度（IADL※）	72
	9. うつのリスク	74
V	参考資料 前期比較（抜粋）	76

I 調査概要

1. 調査目的

本調査は、令和9年度から令和11年度までの「四万十町高齢者福祉計画・第10期介護保険事業計画」を策定するにあたり、今後の高齢者福祉サービスや健康づくりの方策を検討するために、日頃の生活や介護の状況、サービスの利用意向などの実態を把握することを目的として実施した。

2. 調査の実施について

	前回調査（令和4年度）	今回調査（令和7年度）
対象者	令和4年12月1日現在、四万十町にお住まいの65歳以上の方 （要介護1～5の方を除く）	令和7年11月1日現在、四万十町に在住の65歳以上の方 （要介護認定者を除く）
実施期間	令和5年1月31日（火）～ 令和5年2月28日（火）	令和7年12月25日（木）～ 令和8年1月26日（月）
実施方法	郵送配布、郵送回収	郵送配布、郵送回収

3. 有効回答件数および回答率

	前回調査（令和4年度）	今回調査（令和7年度）
配布数	6,038 件	5,766 件
有効回答数	4,843 件	4,509 件
有効回答率	80.2%	78.2%

4. 回答者の属性

●性別・年齢別

上段：件数 下段：％		全体	性別	
			男性	女性
全体		4,509 100.0	1,998 44.3	2,511 55.7
年齢①	65-69 歳	874 100.0	430 49.2	444 50.8
	70-74 歳	1,052 100.0	493 46.9	559 53.1
	75-79 歳	1,120 100.0	514 45.9	606 54.1
	80-84 歳	701 100.0	282 40.2	419 59.8
	85 歳以上	762 100.0	279 36.6	483 63.4
年齢②	前期高齢者	1,926 100.0	923 47.9	1,003 52.1
	後期高齢者	2,583 100.0	1,075 41.6	1,508 58.4

●地区別・性・年齢別

上段：件数 下段：%		全体	性・年齢			
			男性		女性	
			前期高齢者	後期高齢者	前期高齢者	後期高齢者
全体		4,509 100.0	923 20.5	1,075 23.8	1,003 22.2	1,508 33.4
地区	窪川	3,063 100.0	625 20.4	701 22.9	693 22.6	1,044 34.1
	大正	635 100.0	131 20.6	154 24.3	143 22.5	207 32.6
	十和	811 100.0	167 20.6	220 27.1	167 20.6	257 31.7

5. 留意点

分析結果を見る際の留意点は以下の通りとなっている。

1. 「n」は「number」の略で、比率算出の母数。
2. 単数回答の場合、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記。このため、百分率の合計が100.0%とならない場合がある。
3. 複数回答の場合、図中にMA (Multiple Answer =いくつでも)、3LA (3 Limited Answer=3つまで)と記載している。また、不明（無回答）はグラフ・表から除いている場合がある。

Ⅱ 総評

1. 高齢者の生活状況と移動環境

四万十町の高齢者の多くは現在も地域で生活を継続しており、日常生活において一定の自立した生活を維持している状況がみられます。外出時の移動手段については、「自動車（自分で運転）」が 68.8%（前回 63.7%）で最も多く、次いで「徒歩」が 36.0%（前回 36.3%）、「自動車（人に乗せてもらう）」が 24.6%（前回 25.5%）となっており、日常生活の移動において自家用車への依存度が高い状況がうかがえます。

一方で、身体機能の低下や転倒に関するリスクがみられる高齢者も一定数存在しており、今後は加齢に伴い移動が困難となる高齢者の増加が想定されます。さらに、在宅生活を続ける上で近所の人等に手助けを求めたい内容として、日常生活に関わる支援ニーズもみられることから、移動支援とあわせて生活支援体制の充実が重要と考えられます。

2. 健康状態と口腔・栄養面の状況

健康状態に関する結果をみると、歯磨きを毎日行っている人は 85.8%（前回 87.6%）となっており、基本的な口腔衛生は概ね維持されている状況がみられます。

一方で、歯の状況については「自分の歯は 19 本以下で入れ歯を利用」が 37.8%（前回 38.2%）と最も多く、加齢に伴う口腔機能の低下がみられる高齢者も一定程度存在しています。また、口の動きと肺炎との関係についての認識や歯科への定期受診状況など、健康に関する意識にはばらつきがみられ、口腔機能の低下や低栄養につながるリスクも懸念されます。

こうしたことから、口腔ケアや栄養改善に関する普及啓発とともに、健康づくりと介護予防を一体的に推進していくことが重要です。

3. 生きがいと社会参加

趣味については「趣味あり」が 63.4%（前回 61.3%）となっており、多くの高齢者が何らかの趣味活動を持っている状況がみられます。一方で、生きがいについては「生きがいあり」が 49.0%（前回 49.1%）である一方、「思いつかない」が 42.7%（前回 39.6%）となっており、生活の中で生きがいや役割を感じにくい高齢者も一定数存在しています。また、認知症に対する不安として「家族や周囲に迷惑をかけてしまうこと」が 80.2%と高くなっており、将来に対する心理的な不安を抱える高齢者も多い状況がうかがえます。

こうした不安や孤立感は、うつ傾向など精神面のリスクにもつながる可能性があることから、地域活動や趣味活動への参加促進を通じて、生きがいや役割を持てる環境づくりを進めていくことが重要です。

4. 地域活動と介護予防の取組

地域活動への参加状況をみると、ボランティア活動や趣味活動、地域活動などについて「参加していない」と回答した人が多く、地域活動への参加率は全体として高くない状況がみられます。また、地域の交流の場（あったかふれあいセンターやサロン等）については、「知っているが参加していない」が61.1%（前回65.0%）で最も多く、「知らない」が24.6%（前回21.0%）、「知っていて参加している」は9.3%（前回9.8%）にとどまっていることから、一定程度の認知はあるものの実際の参加には結びついていない状況や、そもそも認知していない層も一定数存在しており、地域の交流の場が十分に活用されているとは言えない状況がうかがえます。

地域活動への参加は身体機能の維持や社会的孤立の防止につながるとされており、外出機会の減少は閉じこもりや身体機能の低下などのリスクにつながる可能性があります。こうした状況を踏まえ、通いの場や地域活動の充実、参加しやすい環境づくりを進めることで、高齢者の健康維持や介護予防につなげていくことが重要です。

5. 地域のつながりと相談環境

何かあったときに家族や友人以外で相談できる相手については、「そのような人はいない」が36.6%（前回33.2%）で最も多くなっています。一方で、友人・知人と会う頻度については「週に何度かある」が36.0%（前回35.0%）、「月に何度かある」が25.2%（前回23.5%）となっており、地域の中で一定の人間関係が維持されている状況もみられます。

しかし、地域のつながりが希薄になることは、社会的孤立や精神面の不調につながる可能性もあり、本調査においても閉じこもりやうつ傾向などにつながるリスクを抱える高齢者の存在が確認されています。そのため、地域包括支援センターなどの相談窓口の周知を進めるとともに、民生委員や地域住民による見守り活動など、地域における支え合い体制の強化を図ることが重要です。

6. 認知症施策と地域包括ケアの推進

認知症に関する状況については、認知症の症状がある、または家族に認知症の症状があると回答した割合は13.2%（前回12.2%）となっており、身近な課題として認識されています。また、認知症に関する相談窓口の認知度は33.8%（前回26.9%）にとどまり、「新しい認知症観」の認知も19.1%と低い水準にあることから、認知症に関する正しい理解や支援情報が十分に浸透していない状況がみられます。加えて、「家族や周囲に迷惑をかけること」への不安が80.2%と高いことから、認知症に対する心理的な負担も大きいことがうかがえます。

このような状況を踏まえ、認知症に関する正しい理解の普及啓発や相談窓口の周知を強化し、早期相談・早期対応につながる体制の充実を図るとともに、医療・介護・地域が連携し、認知症になっても住み慣れた地域で安心して生活できる体制づくりを推進していくことが求められます。

Ⅲ 調査結果

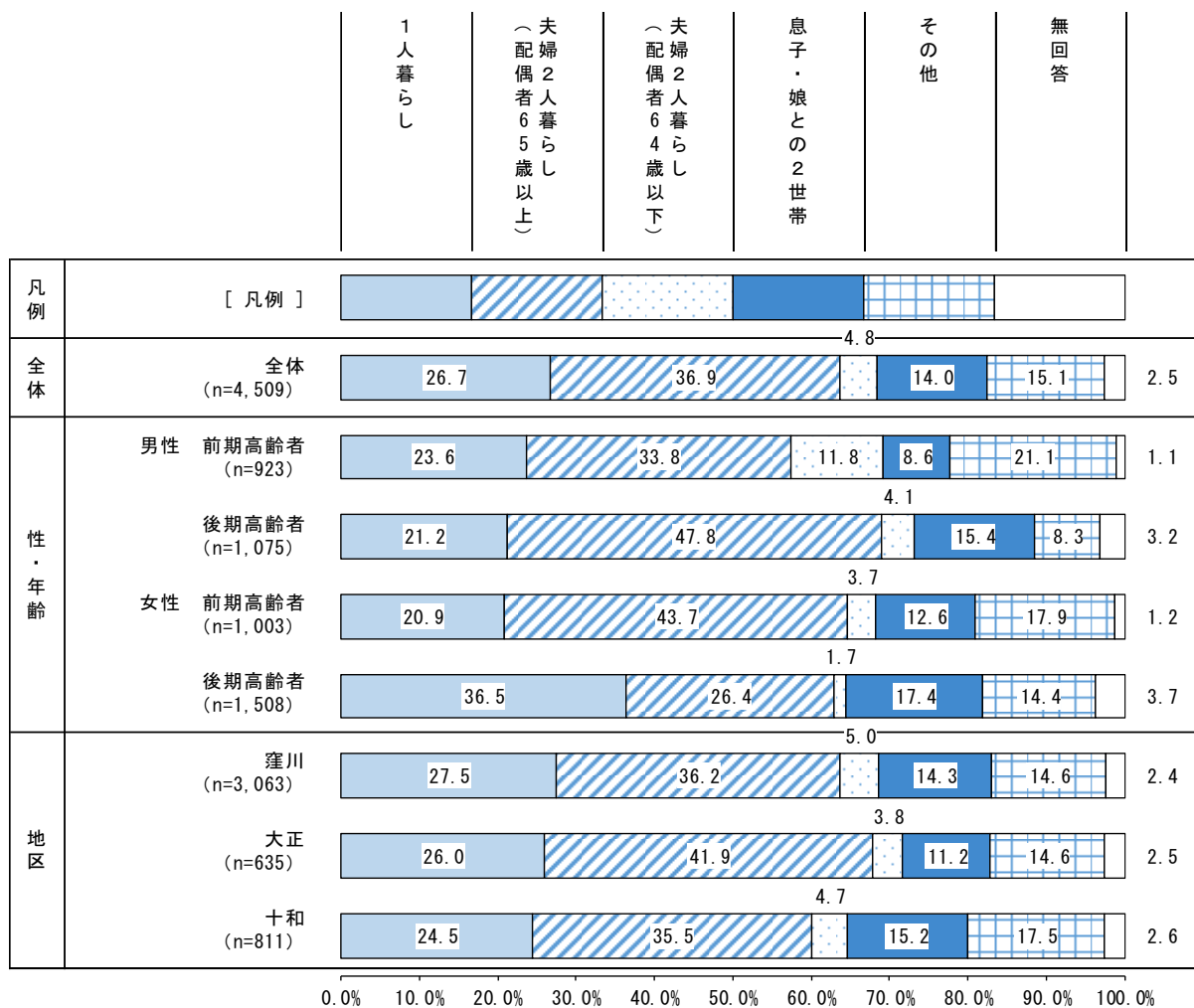
※リスク判定に関わる設問項目は、「Ⅳ リスク判定」に掲載しています。

1. ご家族や生活状況について

●問1.1 家族構成を教えてください。(1つだけ○)

【全体】

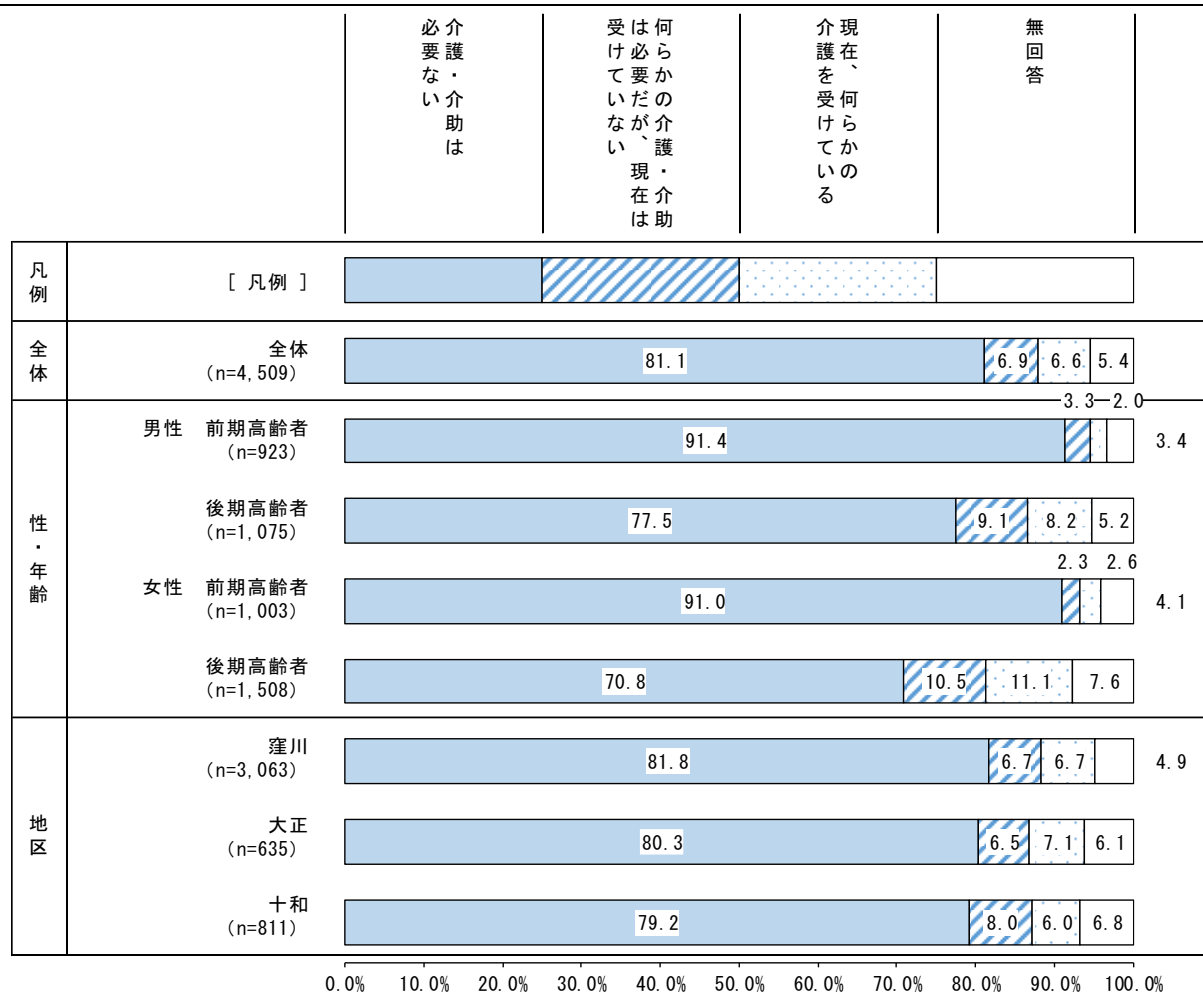
- 家族構成について、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が36.9%で最も多く、次いで「1人暮らし」が26.7%、「その他」が15.1%となっています。



●問1.2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。（１つだけ○）

【全体】

- 介護・介助の必要性について、「介護・介助は必要ない」が 81.1%で最も多く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が 6.9%、「現在、何らかの介護を受けている」が 6.6%となっています。



●問1.2-1 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。(いくつでも○)

【全体】

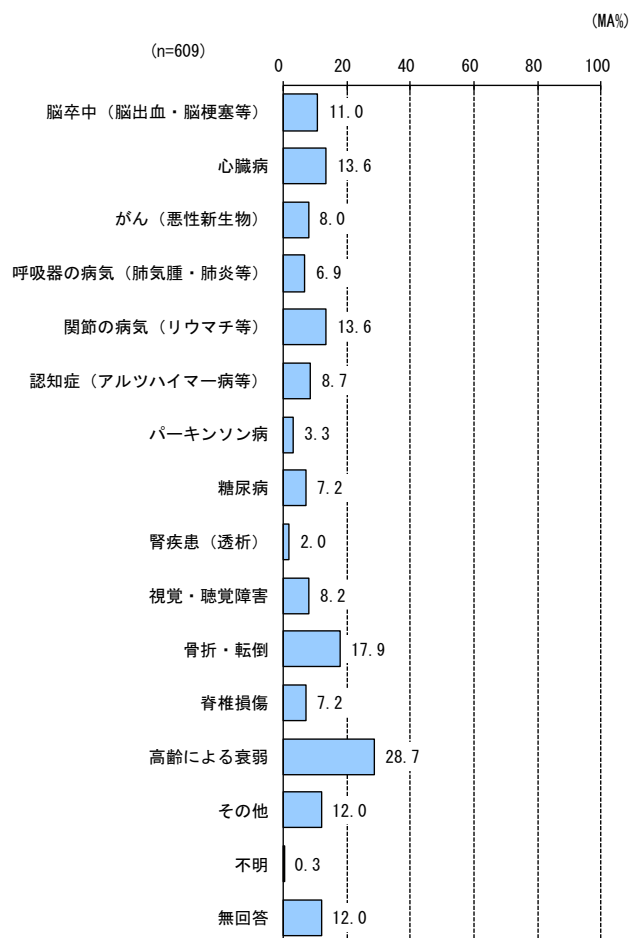
- 介護・介助が必要になった主な原因について、「高齢による衰弱」が 28.7%で最も多く、次いで「骨折・転倒」が 17.9%、「心臓病」「関節の病気（リウマチ等）」が 13.6%となっています。

【性・年齢】

- 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」が多くなっています。
- 「心臓病」は男性の前期高齢者が 18.8%と他の区分に比べて多くなっています。
- 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「関節の病気（リウマチ等）」が多くなっています。
- 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「高齢による衰弱」が多くなっています。

【認定該当状況】

- 「心臓病」は総合事業対象者が 24.0%と他の区分に比べて多くなっています。



単位：%

		母数	介護・介助が必要になった主な原因 (MA)							
			(脳出血・脳梗塞等)	心臓病	がん (悪性新生物)	(呼吸器の病気 (肺気腫・肺炎等))	(関節の病気 (リウマチ等))	認知症 (アルツハイマー病等)	パーキンソン病	糖尿病
全体 (n=609)		609	11.0	13.6	8.0	6.9	13.6	8.7	3.3	7.2
性・年齢	男性 前期高齢者 (n=48)	48	△ 25.0	18.8	14.6	△ 20.8	10.4	△ 18.8	4.2	△ 20.8
	後期高齢者 (n=186)	186	16.7	13.4	8.6	9.7	8.6	9.7	5.4	10.2
	女性 前期高齢者 (n=49)	49	10.2	10.2	10.2	4.1	18.4	10.2	-	10.2
	後期高齢者 (n=326)	326	5.8	13.5	6.4	3.7	16.3	6.4	2.5	3.1
当認定状況	一般高齢者 (n=348)	348	11.2	11.5	7.8	6.0	13.2	10.9	1.4	7.5
	総合事業対象者 (n=50)	50	14.0	△ 24.0	8.0	-	12.0	4.0	6.0	8.0
	要支援 1・2 (n=211)	211	10.0	14.7	8.5	10.0	14.7	6.2	5.7	6.6

単位：％

		母数	介護・介助が必要になった主な原因(MA)							
			腎疾患 (透析)	視覚・聴覚障害	骨折・転倒	脊椎損傷	高齢による衰弱	その他	不明	無回答
全体 (n=609)		609	2.0	8.2	17.9	7.2	28.7	12.0	0.3	12.0
性・年齢	男性 前期高齢者 (n=48)	48	-	12.5	16.7	6.3	▼ 16.7	6.3	2.1	2.1
	後期高齢者 (n=186)	186	2.7	8.1	12.4	8.1	30.1	10.2	-	11.3
	女性 前期高齢者 (n=49)	49	2.0	8.2	▼ 6.1	4.1	▼ 14.3	△ 22.4	-	14.3
	後期高齢者 (n=326)	326	1.8	7.7	23.0	7.4	31.9	12.3	0.3	13.5
当認 状定 況該	一般高齢者 (n=348)	348	1.4	9.5	12.6	6.6	27.3	10.1	0.3	16.1
	総合事業対象者 (n=50)	50	2.0	10.0	12.0	-	30.0	18.0	-	6.0
	要支援 1・2 (n=211)	211	2.8	5.7	△ 28.0	10.0	30.8	13.7	0.5	6.6

※表内において、**上位 1 位**、**上位 2 位**には色付けをしている。また、全体と比べて 10 ポイント以上高い場合には△、10 ポイント以上低い場合には▼の記号を付けている。以下同様。

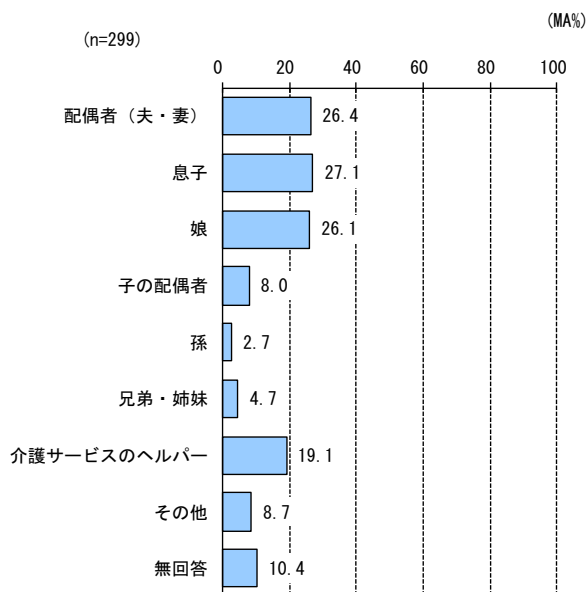
●問1.2-2 主にどなたの介護・介助を受けていますか。(いくつでも○)

【全体】

- 主な介護者について、「息子」が 27.1%で最も多く、次いで「配偶者（夫・妻）」が 26.4%、「娘」が 26.1%となっています。

【家族構成】

- 「息子」は息子・娘との2世帯が 47.7%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「介護サービスのヘルパー」は1人暮らしが 32.4%と他の区分に比べて多くなっています。

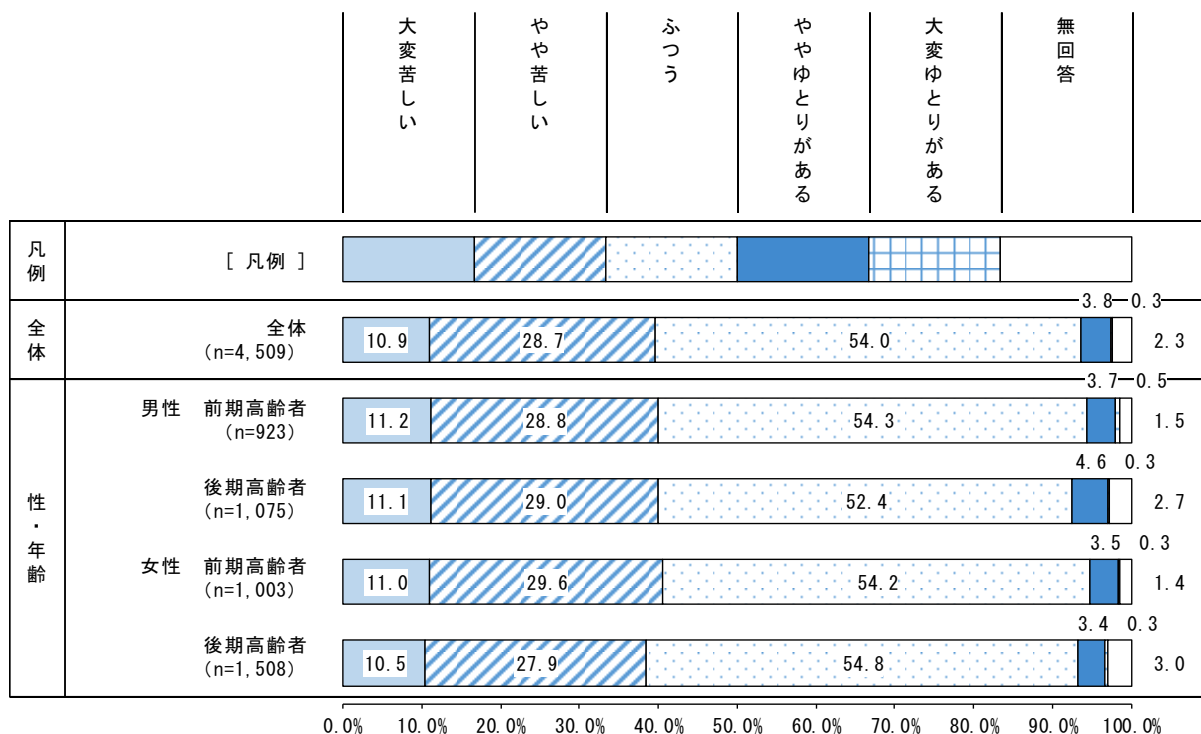


		母数	主な介護者(MA)									単位：%
			(配偶者・妻)	息子	娘	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	介護サービスのヘルパー	その他	無回答	
全体 (n=299)		299	26.4	27.1	26.1	8.0	2.7	4.7	19.1	8.7	10.4	
家族構成	1人暮らし (n=102)	102	▼ 1.0	23.5	△ 36.3	3.9	1.0	3.9	△ 32.4	9.8	16.7	
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上) (n=73)	73	△ 65.8	▼ 15.1	▼ 12.3	9.6	-	1.4	12.3	6.8	8.2	
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下) (n=7)	7	△ 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	
	息子・娘との2世帯 (n=44)	44	29.5	△ 47.7	29.5	4.5	2.3	-	▼ 6.8	2.3	11.4	
	その他 (n=57)	57	▼ 8.8	31.6	24.6	△ 19.3	8.8	△ 15.8	17.5	10.5	5.3	

●問1.3 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(1つだけ○)

【全体】

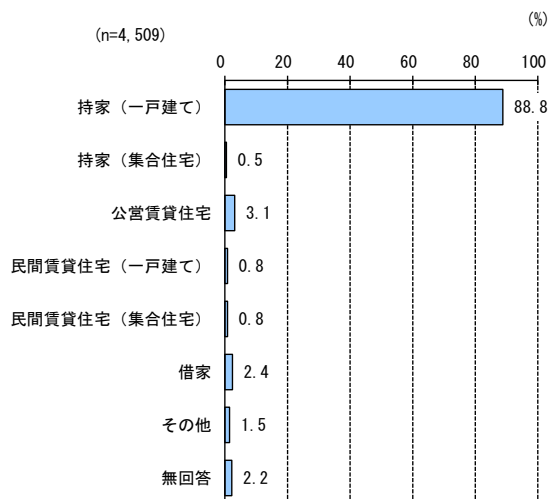
○ 経済状況について、「ふつう」が 54.0%で最も多く、次いで「やや苦しい」が 28.7%、「大変苦しい」が 10.9%となっています。



●問1.4 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(1つだけ○)

【全体】

○ 住まいについて、「持家（一戸建て）」が 88.8%で最も多く、次いで「公営賃貸住宅」が 3.1%、「借家」が 2.4%となっています。



			単位：％								
			母数	住まい							
				（持家 一戸建て）	持家 （集合住宅）	公営 賃貸住宅	民間 賃貸住宅 （一戸建て）	民間 賃貸住宅 （集合住宅）	借家	その他	無回答
全体（n=4,509）			4,509	88.8	0.5	3.1	0.8	0.8	2.4	1.5	2.2
性・年齢	男性	前期高齢者（n=923）	923	89.6	0.4	2.6	0.8	1.3	2.6	1.4	1.3
		後期高齢者（n=1,075）	1,075	90.3	0.8	2.4	0.9	0.1	1.7	1.1	2.6
	女性	前期高齢者（n=1,003）	1,003	87.0	0.6	3.8	1.0	1.1	3.2	1.9	1.4
		後期高齢者（n=1,508）	1,508	88.3	0.3	3.5	0.5	0.7	2.2	1.5	3.1

2. からだを動かすことについて

●問2.6 週に1回以上は外出していますか。(1つだけ○)

【全体】

- 外出頻度について、「週2～4回」が38.7%で最も多く、次いで「週5回以上」が34.4%、「週1回」が18.1%となっています。

【性・年齢】

- 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「週5回以上」が多くなっています。

【地区】

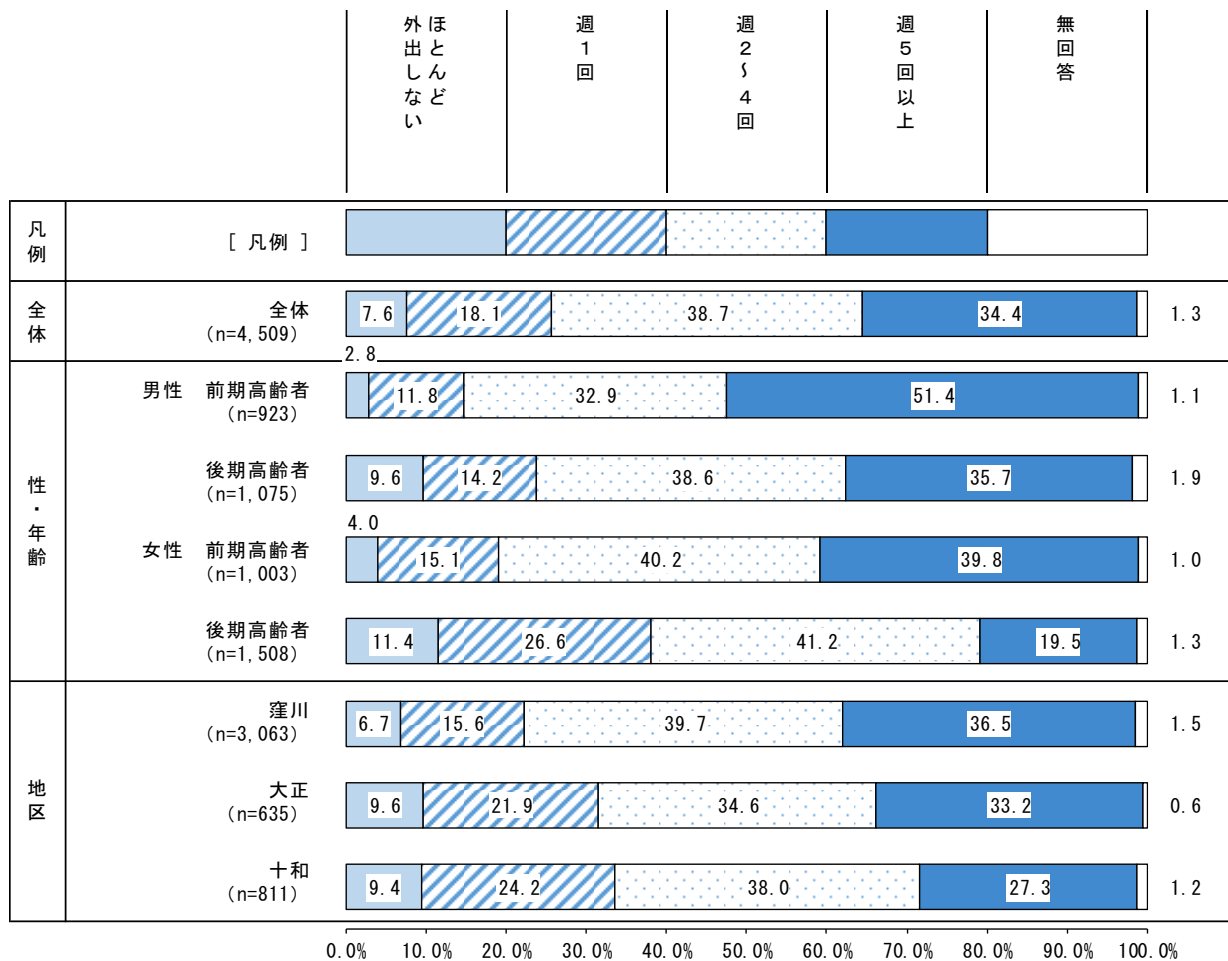
- 「週5回以上」は十和が27.3%と他の区分に比べて少なくなっています。

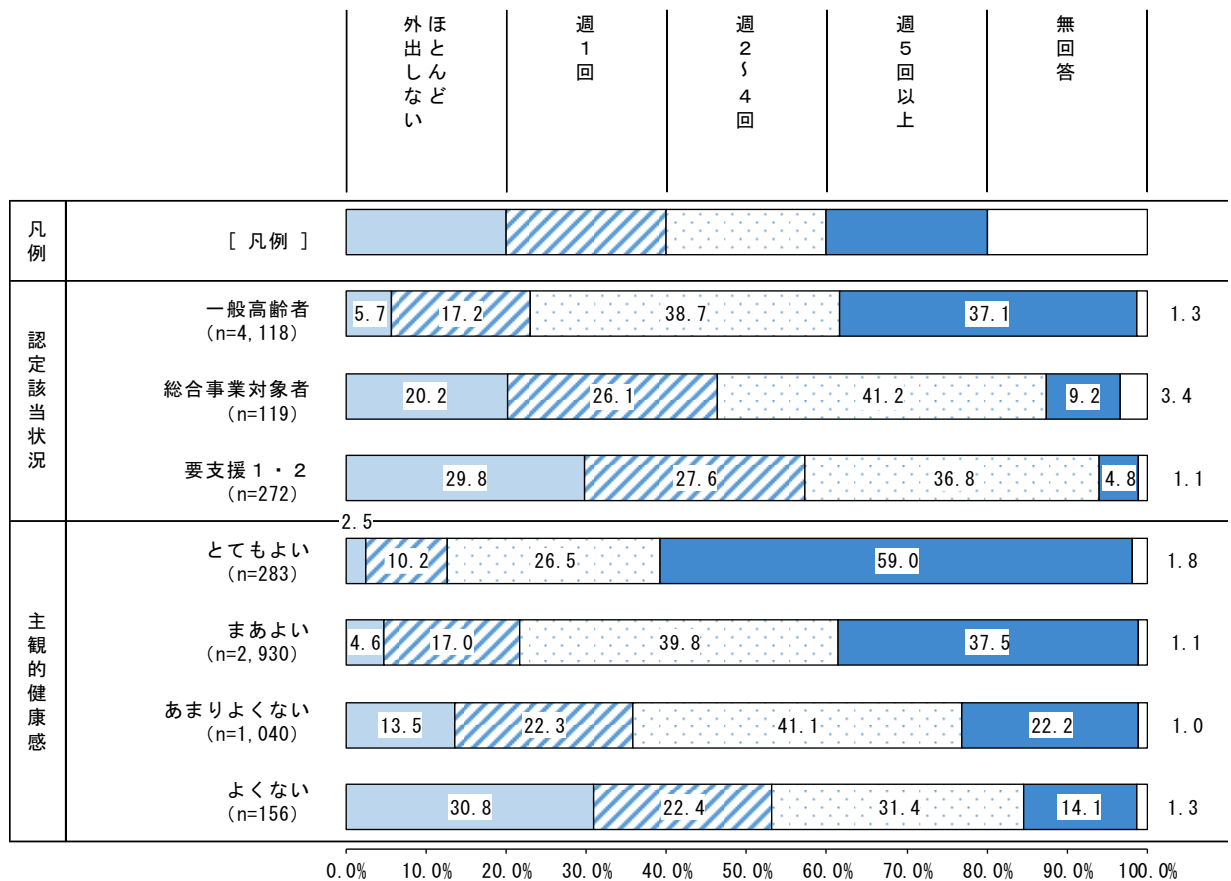
【認定該当状況】

- 要介護度が高いほど「ほとんど外出しない」が多くなる傾向がみられます。

【主観的健康感】

- 主観的健康感がよくないほど「ほとんど外出しない」が多くなる傾向がみられます。

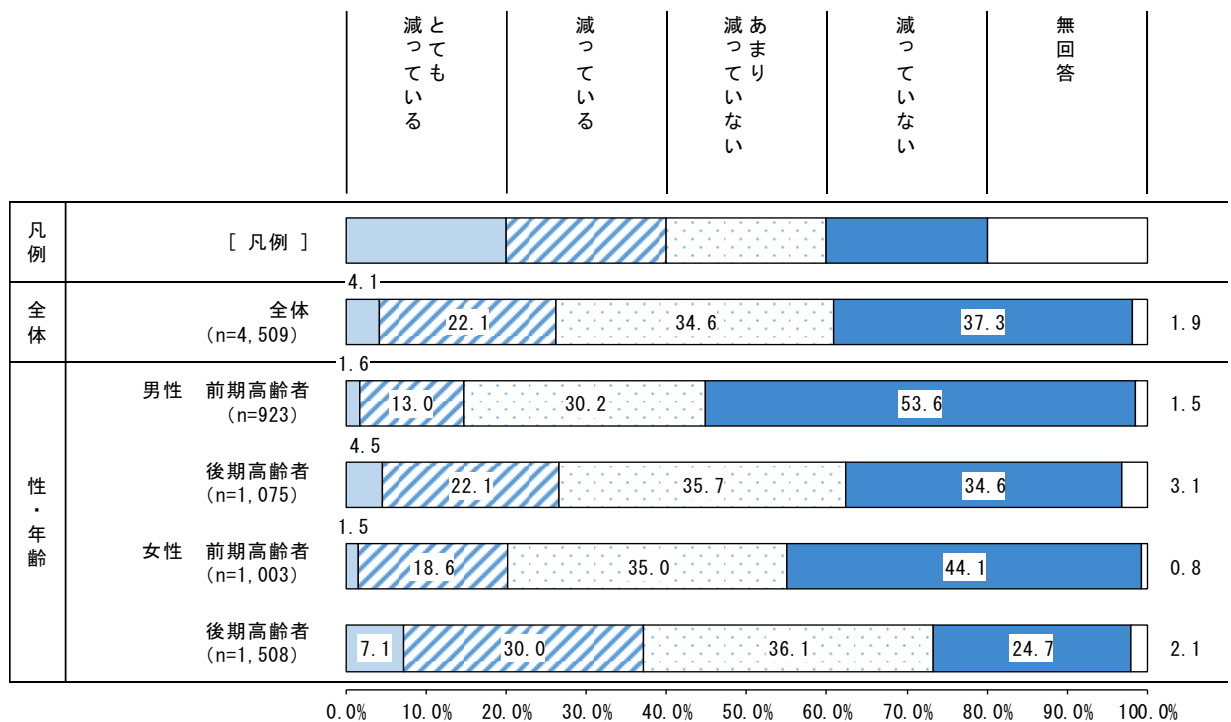




●問2.7 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(1つだけ○)

【全体】

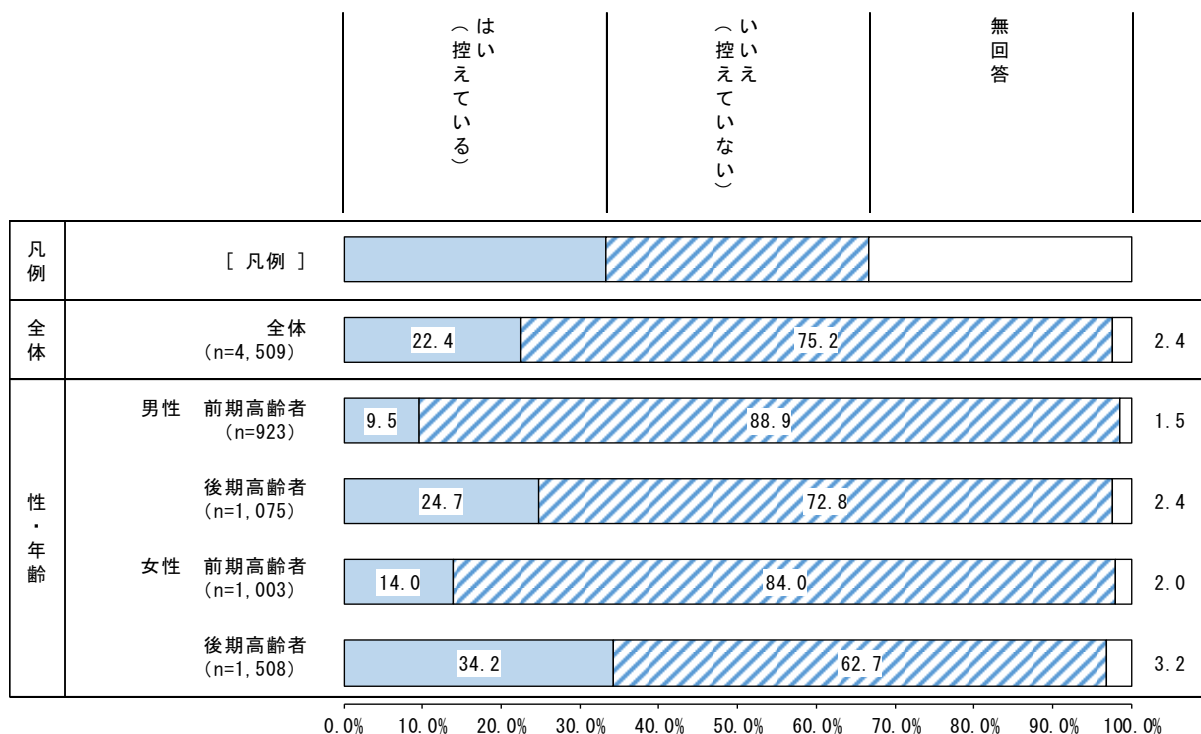
○ 昨年と比べて外出の回数について、「減っていない」が 37.3%で最も多く、次いで「あまり減っていない」が 34.6%、「減っている」が 22.1%となっています。



●問2.8 外出を控えていますか。(1つだけ○)

【全体】

- 外出を控えているかについて、「はい（控えている）」が 22.4%、「いいえ（控えていない）」が 75.2%となっています。



●問2.8-1 外出を控えている理由は、次のどれですか。(いくつでも○)

【全体】

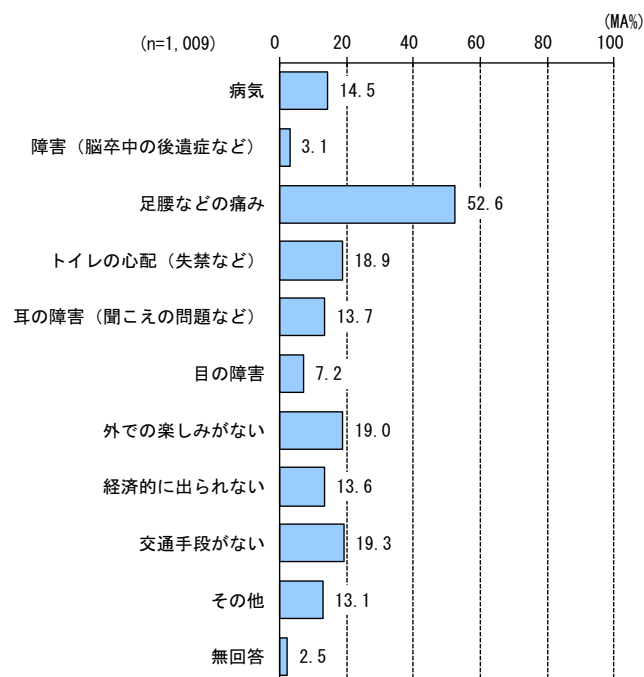
- 外出を控えている理由について、「足腰などの痛み」が 52.6%で最も多く、次いで「交通手段がない」が 19.3%、「外での楽しみがない」が 19.0%となっています。

【性・年齢】

- 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「病気」が多くなっています。
 ○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「トイレの心配（失禁など）」が多くなっています。
 ○ 「外での楽しみがない」は女性の前期高齢者が 25.0%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 「病気」は要支援1・2が 20.2%と他の区分に比べて多くなっています。
 ○ 「耳の障害（聞こえの問題など）」は総合事業対象者が 24.6%と他の区分に比べて多くなっています。
 ○ 要介護度が高いほど「足腰などの痛み」が多くなる傾向がみられます。



単位：％

		母数	外出を控えている理由 (MA)					
			病 気	後 遺 害 （脳 卒 中 の	足 腰 な ど の 痛 み	（ ト イ レ の 心 配 ） 失 禁 な ど	え 耳 の 問 題 害 （ 聞 こ	目 の 障 害
全体 (n=1,009)		1,009	14.5	3.1	52.6	18.9	13.7	7.2
性 ・ 年 齢	男性 前期高齢者 (n=88)	88	18.2	6.8	▼ 29.5	10.2	5.7	8.0
	後期高齢者 (n=266)	266	18.4	6.0	50.0	23.3	18.8	9.0
	女性 前期高齢者 (n=140)	140	13.6	2.9	▼ 37.9	10.0	▼ 3.6	4.3
	後期高齢者 (n=515)	515	12.0	1.0	61.9	20.6	15.1	7.0
当 認 状 況 該	一般高齢者 (n=769)	769	13.3	2.7	48.4	17.7	12.0	5.7
	総合事業対象者 (n=57)	57	12.3	3.5	61.4	19.3	△ 24.6	△ 19.3
	要支援 1・2 (n=183)	183	20.2	4.4	△ 67.8	24.0	17.5	9.8

単位：％

		母数	外出を控えている理由 (MA)				
			な外 いでの 楽し みが	な経 い済 的に 出ら れ	交 通 手 段 が ない	そ の 他	無 回 答
全体 (n=1,009)		1,009	19.0	13.6	19.3	13.1	2.5
性・ 年 齢	男性 前期高齢者 (n=88)	88	20.5	20.5	▼ 1.1	15.9	6.8
	後期高齢者 (n=266)	266	19.5	13.2	17.3	6.8	1.9
	女性 前期高齢者 (n=140)	140	25.0	△ 23.6	▼ 9.3	△ 30.7	1.4
	後期高齢者 (n=515)	515	16.9	9.9	26.2	11.1	2.3
当認 状定 況該	一般高齢者 (n=769)	769	20.7	15.1	16.3	13.8	3.0
	総合事業対象者 (n=57)	57	14.0	7.0	△ 31.6	7.0	-
	要支援 1・2 (n=183)	183	13.7	9.3	28.4	12.0	1.1

※表内において、**上位1位**、**上位2位**には色付けをしている。また、全体と比べて 10 ポイント以上高い場合には△、10 ポイント以上低い場合には▼の記号を付けている。以下同様。

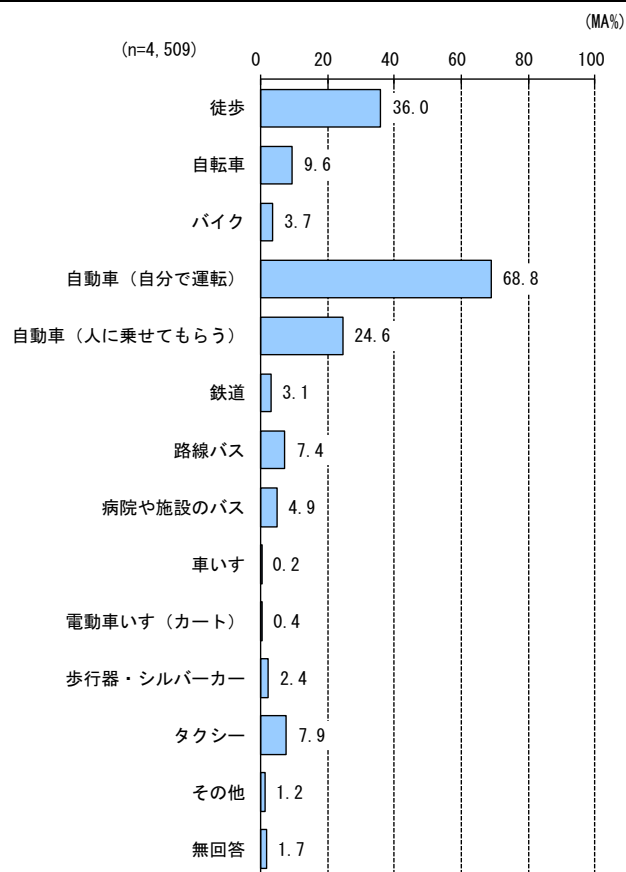
●問2.9 外出する際の移動手段は何ですか。(いくつでも○)

【全体】

- 外出する際の移動手段について、「自動車（自分で運転）」が68.8%で最も多く、次いで「徒歩」が36.0%、「自動車（人に乗せてもらう）」が24.6%となっています。

【認定該当状況】

- 「自動車（人に乗せてもらう）」は要支援1・2と総合事業対象者が一般高齢者に比べて多くなっています。
- 要介護度が高いほど「自動車（人に乗せてもらう）」が多くなる傾向がみられます。
- 要介護度が高いほど「病院や施設のバス」が多くなる傾向がみられます。



単位：%

			母数	外出する際の移動手段 (MA)						
				徒歩	自転車	バイク	運転 自動車 (自分で)	乗せてもら う自動車 (人に)	鉄道	路線バス
全体 (n=4, 509)			4, 509	36.0	9.6	3.7	68.8	24.6	3.1	7.4
性・年齢	男性	前期高齢者 (n=923)	923	37.6	9.1	6.9	△ 89.8	▼ 7.2	2.4	2.0
		後期高齢者 (n=1, 075)	1, 075	33.7	10.0	4.3	76.4	16.5	1.5	4.5
	女性	前期高齢者 (n=1, 003)	1, 003	37.4	9.8	2.5	△ 80.5	24.8	4.3	4.0
		後期高齢者 (n=1, 508)	1, 508	35.9	9.6	2.1	▼ 42.9	△ 41.0	4.0	15.2
当認定状況	一般高齢者 (n=4, 118)		4, 118	37.0	10.2	4.0	73.4	22.2	3.1	6.8
	総合事業対象者 (n=119)		119	33.6	9.2	1.7	▼ 31.1	△ 41.2	4.2	△ 19.3
	要支援 1・2 (n=272)		272	▼ 22.4	1.8	0.4	▼ 16.9	△ 54.4	3.7	11.0

単位：％

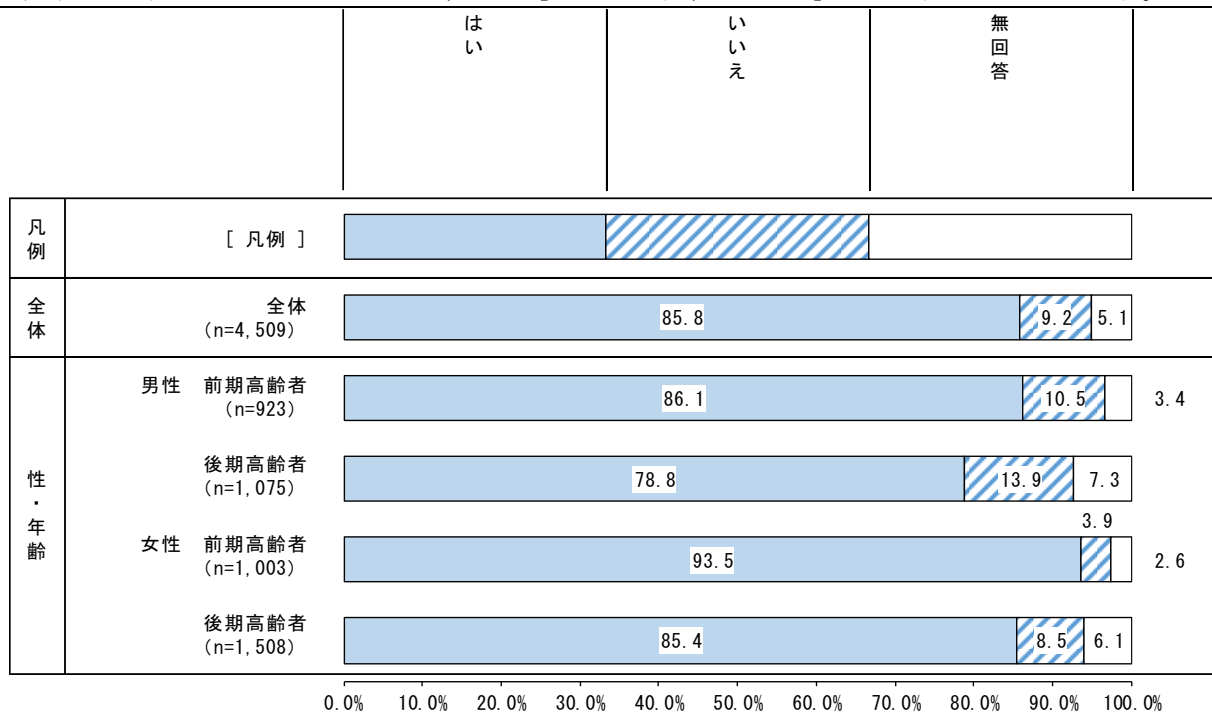
		母数	外出する際の移動手段 (MA)						
			病院 や施設 のバス	車 いす	ト 電動 車いす (カー	カ 歩 行 器・ シルバ ー	タク シー	そ 他	無 回 答
全体 (n=4,509)		4,509	4.9	0.2	0.4	2.4	7.9	1.2	1.7
性・ 年齢	男性 前期高齢者 (n=923)	923	0.2	—	0.1	0.1	1.5	0.2	1.6
	後期高齢者 (n=1,075)	1,075	3.7	0.2	1.1	2.5	5.7	0.7	1.4
	女性 前期高齢者 (n=1,003)	1,003	1.5	—	0.1	0.2	2.4	0.8	1.7
	後期高齢者 (n=1,508)	1,508	10.9	0.3	0.1	5.1	16.9	2.4	1.9
当認 状況 該	一般高齢者 (n=4,118)	4,118	3.7	0.0	0.1	0.7	5.7	1.0	1.7
	総合事業対象者 (n=119)	119	△ 15.1	1.7	3.4	10.9	△ 26.9	5.0	1.7
	要支援 1・2 (n=272)	272	△ 18.4	1.5	2.6	△ 24.3	△ 32.4	1.8	1.5

3. 食べることについて

●問3.5 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。（1つだけ○）

【全体】

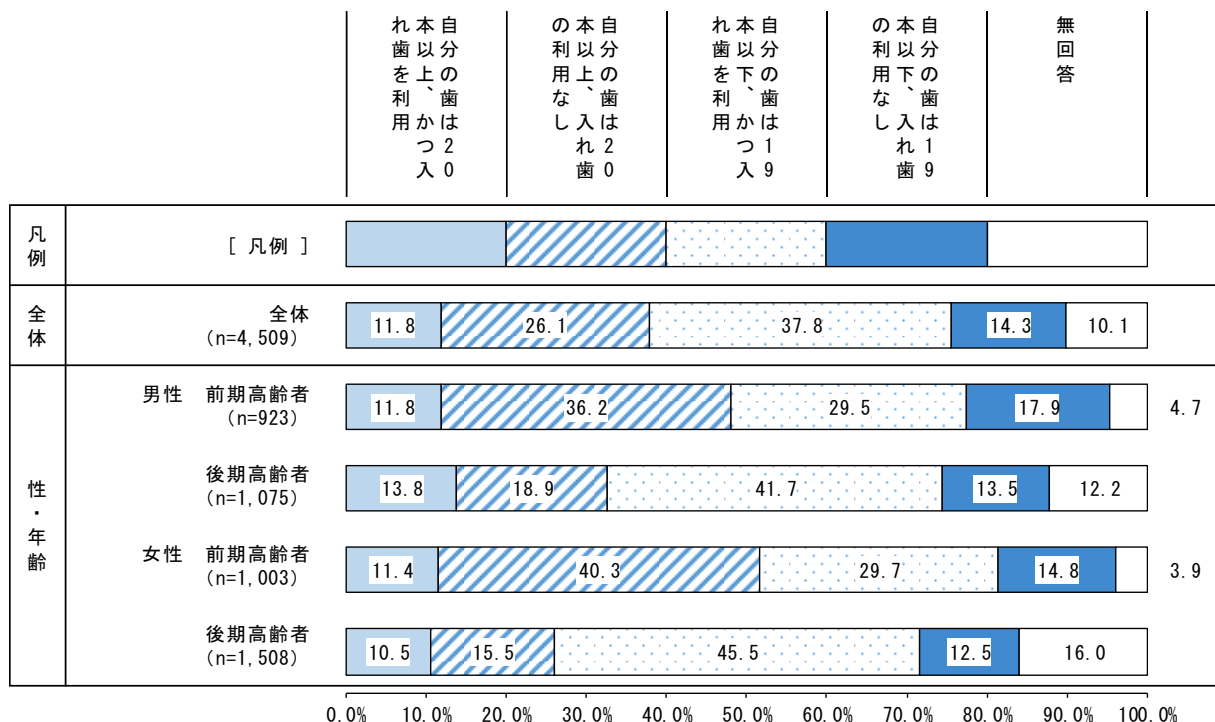
○ 歯磨きを毎日しているかについて、「はい」が85.8%、「いいえ」が9.2%となっています。v



●問3.6 歯の数と入れ歯の利用状況を教えてください。(1つだけ○)

【全体】

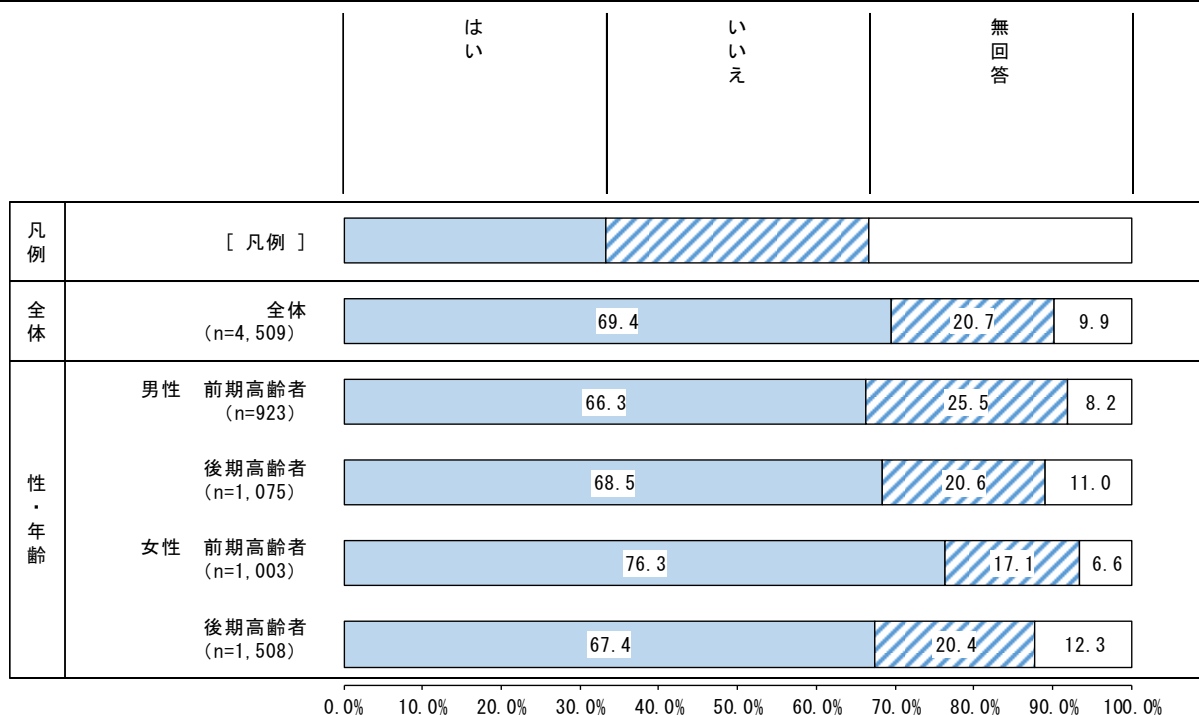
○ 歯の数と入れ歯の利用状況について、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が37.8%で最も多く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が26.1%、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」が14.3%となっています。



●問3.6-1 噛み合わせは良いですか。(1つだけ○)

【全体】

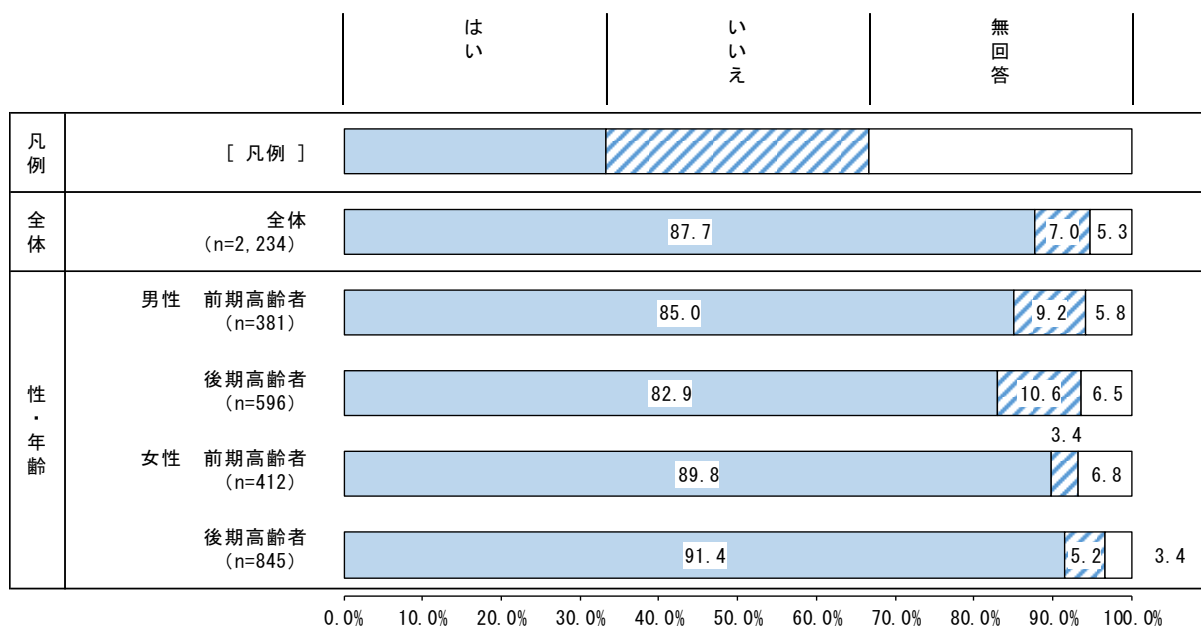
○ 噛み合わせは良いかについて、「はい」が69.4%、「いいえ」が20.7%となっています。



●問3.6-2 毎日入れ歯の手入れをしていますか。（１つだけ○）

【全体】

- 毎日入れ歯の手入れをしているかについて、「はい」が87.7%、「いいえ」が7.0%となっています。



●問3.8 どなたかと食事をとる機会がありますか。（１つだけ○）

【全体】

- 共食の有無について、「毎日ある」が53.3%で最も多く、次いで「月に何度かある」が14.7%、「年に何度かある」が11.1%となっています。

【認定該当状況】

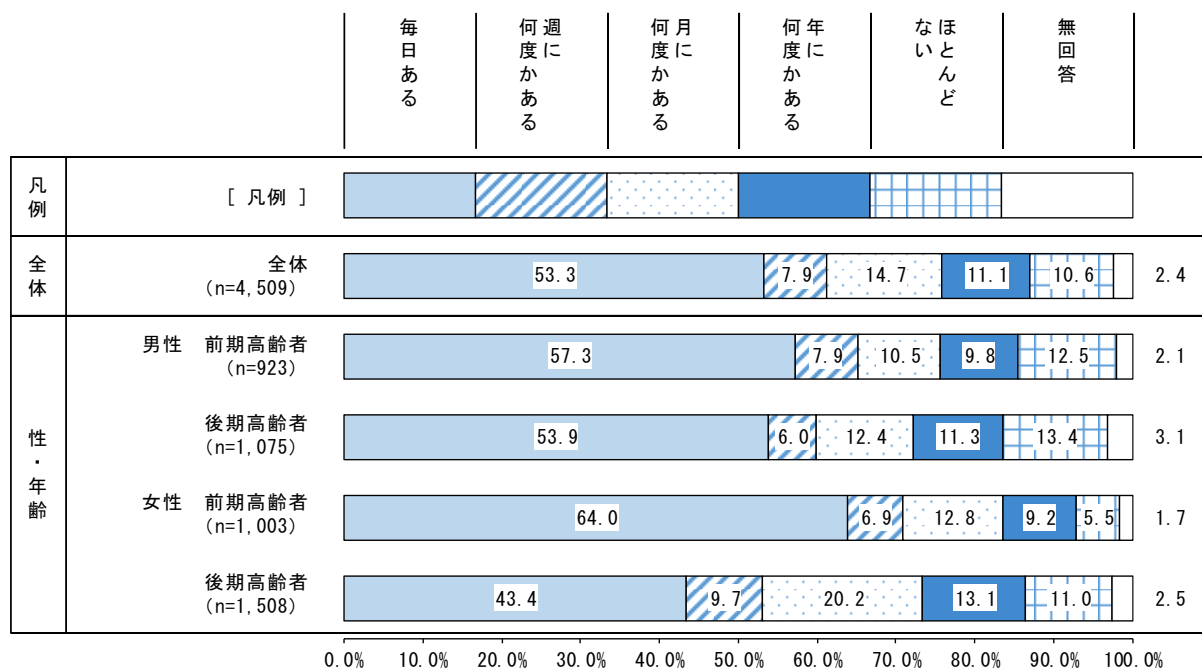
- 「毎日ある」は一般高齢者が55.1%と他の区分に比べて多くなっています。
○ 要介護度が高いほど「ほとんどない」が多くなる傾向がみられます。

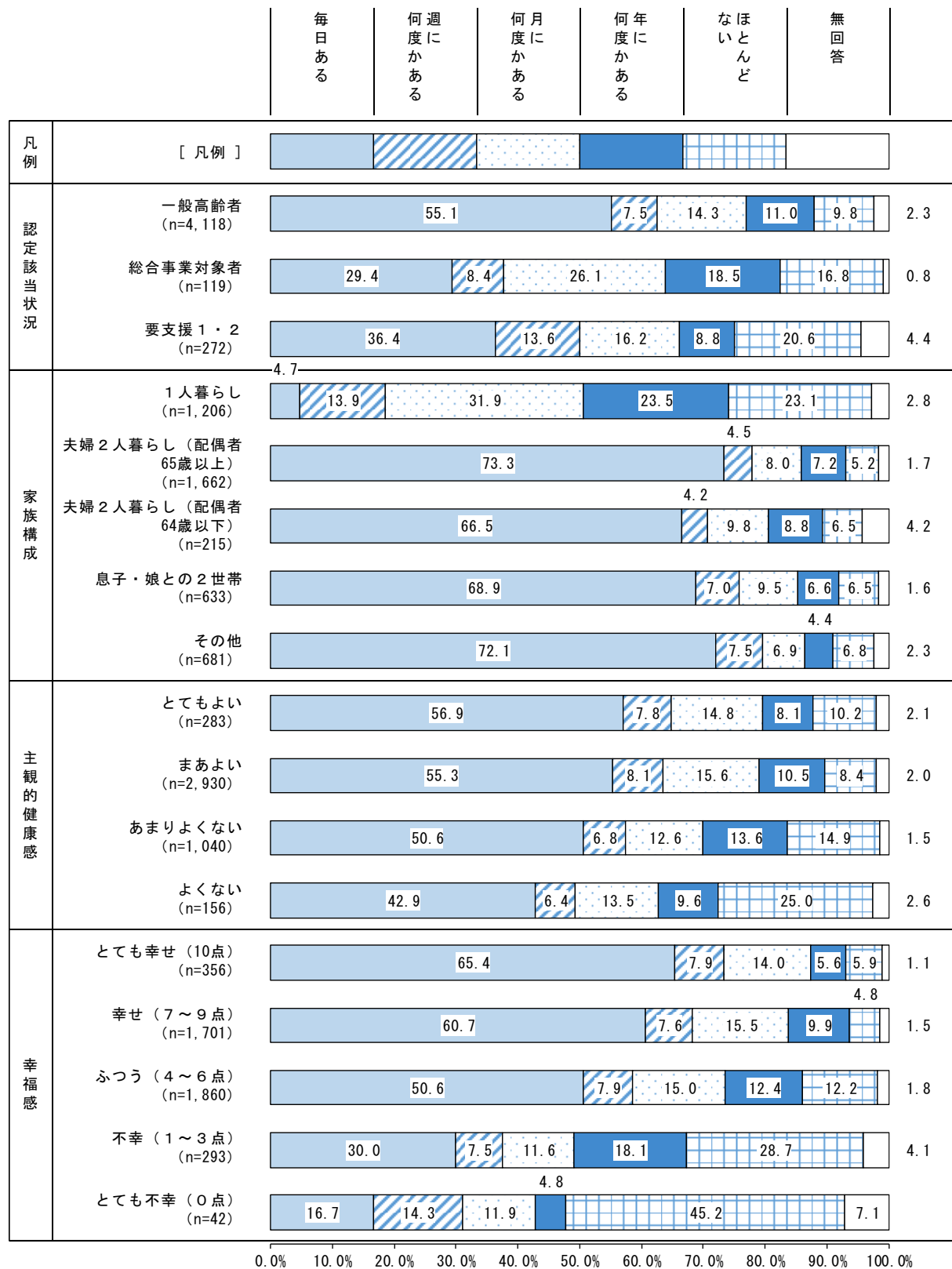
【主観的健康感】

- 健康感がよくないほど「毎日ある」が少なくなる傾向がみられます。

【幸福感】

- 「ほとんどない」は不幸（1～3点）が28.7%、とても不幸（0点）が45.2%と他の区分に比べて多くなっています。幸福感が低いほど「毎日ある」が少なくなる傾向がみられます。





4. 毎日の生活について

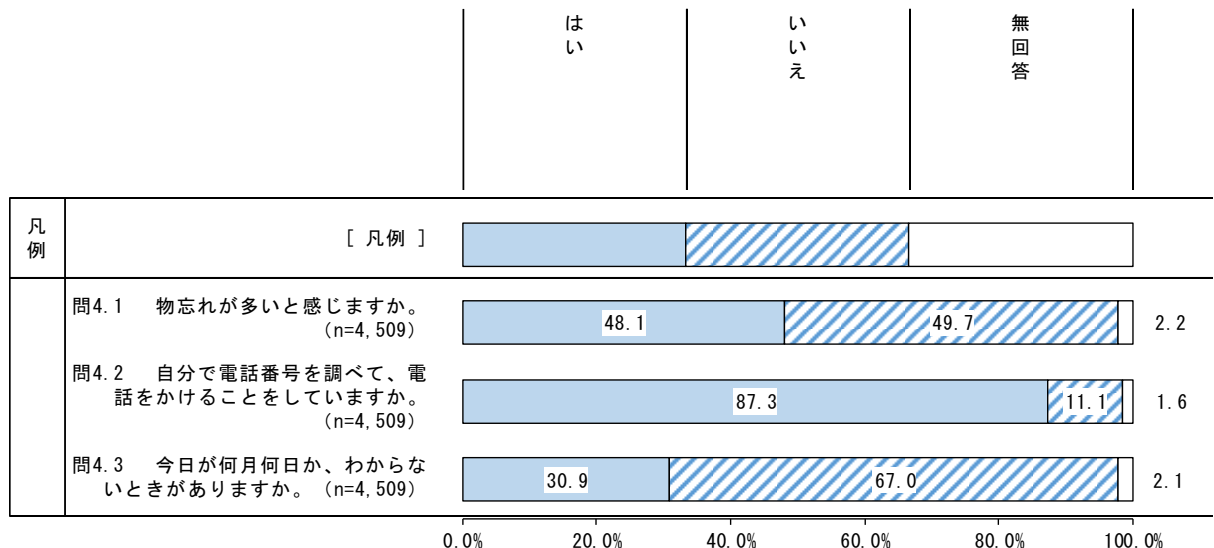
●問4.1 物忘れが多いと感じますか。(1つだけ○)

●問4.2 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。(1つだけ○)

●問4.3 今日が何月何日か、わからないときがありますか。(1つだけ○)

【全体】

- 物忘れが多いと感じるかについて、「はい」が48.1%、「いいえ」が49.7%となっています。
- 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしているかについて、「はい」が87.3%、「いいえ」が11.1%となっています。
- 今日が何月何日か、わからない時があるかについて、「はい」が30.9%、「いいえ」が67.0%となっています。



●問4.9 年金などの書類（役場や病院などに出す書類）が書けますか。(1つだけ○)

●問4.10 新聞を読んでいますか。(1つだけ○)

●問4.11 本や雑誌を読んでいますか。(1つだけ○)

●問4.12 健康についての記事や番組に関心がありますか。(1つだけ○)

●問4.13 友人の家を訪ねていますか。(1つだけ○)

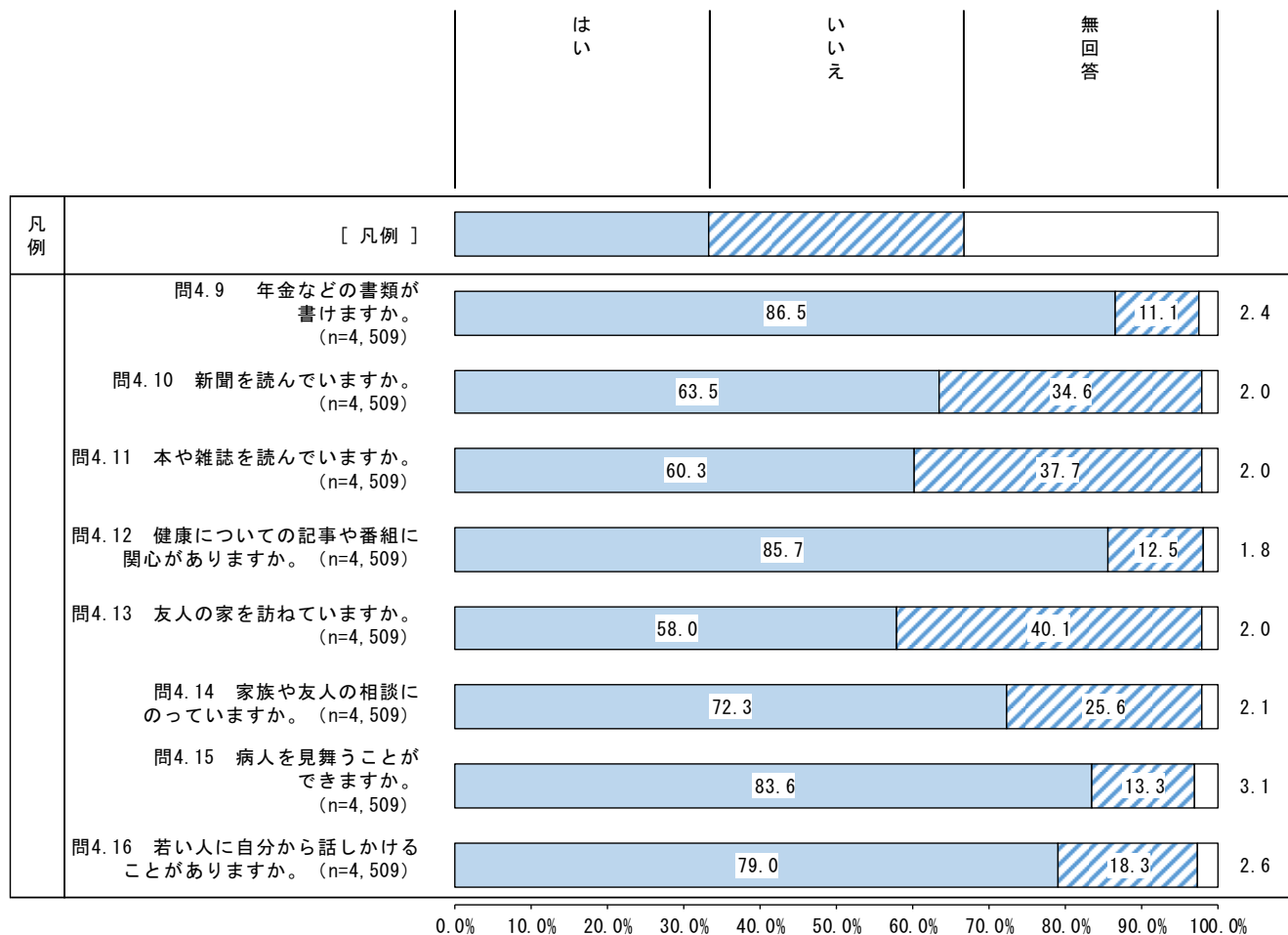
●問4.14 家族や友人の相談にのっていますか。(1つだけ○)

●問4.15 病人を見舞うことができますか。(1つだけ○)

●問4.16 若い人に自分から話しかけることがありますか。(1つだけ○)

【全体】

- 年金などの書類が書けるかについて、「はい」が86.5%、「いいえ」が11.1%となっています。
- 新聞を読んでいるかについて、「はい」が63.5%、「いいえ」が34.6%となっています。
- 本や雑誌を読んでいるかについて、「はい」が60.3%、「いいえ」が37.7%となっています。
- 健康についての記事や番組に関心があるかについて、「はい」が85.7%、「いいえ」が12.5%となっています。
- 友人の家を訪ねているかについて、「はい」が58.0%、「いいえ」が40.1%となっています。
- 家族や友人の相談にのっているかについて、「はい」が72.3%、「いいえ」が25.6%となっています。
- 病人を見舞うことができるかについて、「はい」が83.6%、「いいえ」が13.3%となっています。
- 若い人に自分から話しかけることがあるかについて、「はい」が79.0%、「いいえ」が18.3%となっています。



●問4.17 趣味はありますか。(1つだけ○)

【全体】

○ 趣味の有無について、「趣味あり」が63.4%、「思いつかない」が30.7%となっています。

【性・年齢】

○ 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「趣味あり」が多くなっています。

【認定該当状況】

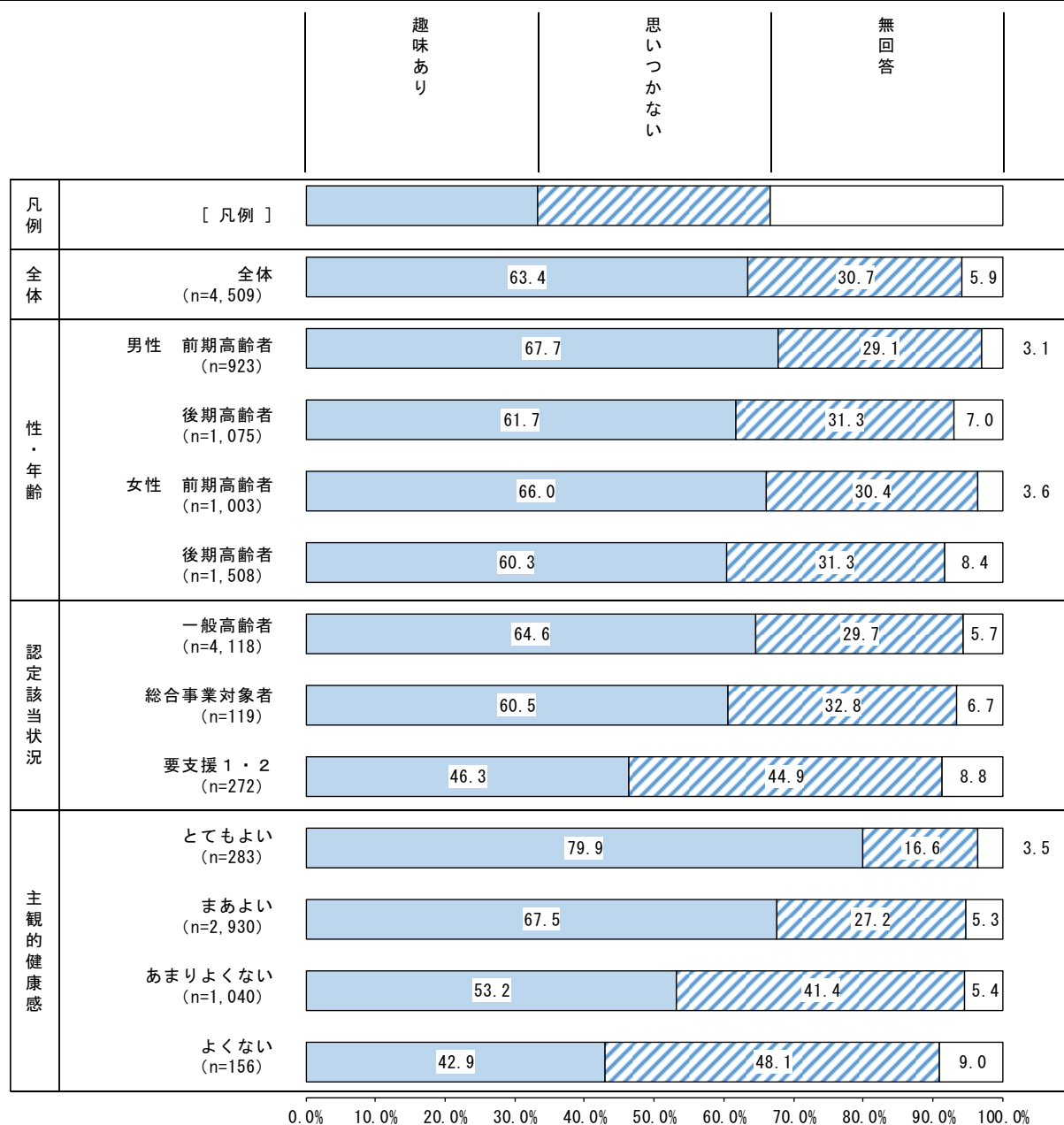
○ 要介護度が高いほど「趣味あり」が少なくなる傾向がみられます。

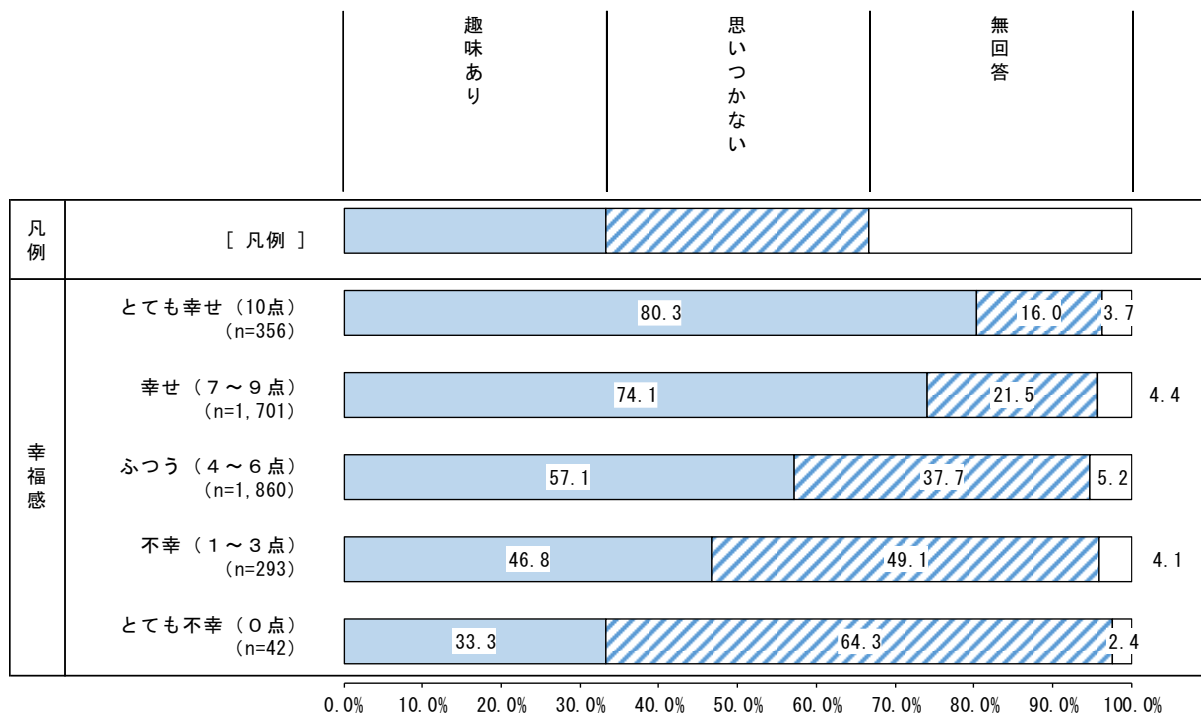
【主観的健康感】

○ 主観的健康感がよくないほど「趣味あり」が少なくなる傾向がみられます。

【幸福感】

○ 幸福感が低いほど「趣味あり」が少なくなる傾向がみられます。





●問4.18 生きがいがありますか。(1つだけ○)

【全体】

- 生きがいの有無について、「生きがいあり」が 49.0%、「思いつかない」が 42.7%となっています。

【性・年齢】

- 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「生きがいあり」が多くなっています。
○ 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「生きがいあり」が多くなっています。

【認定該当状況】

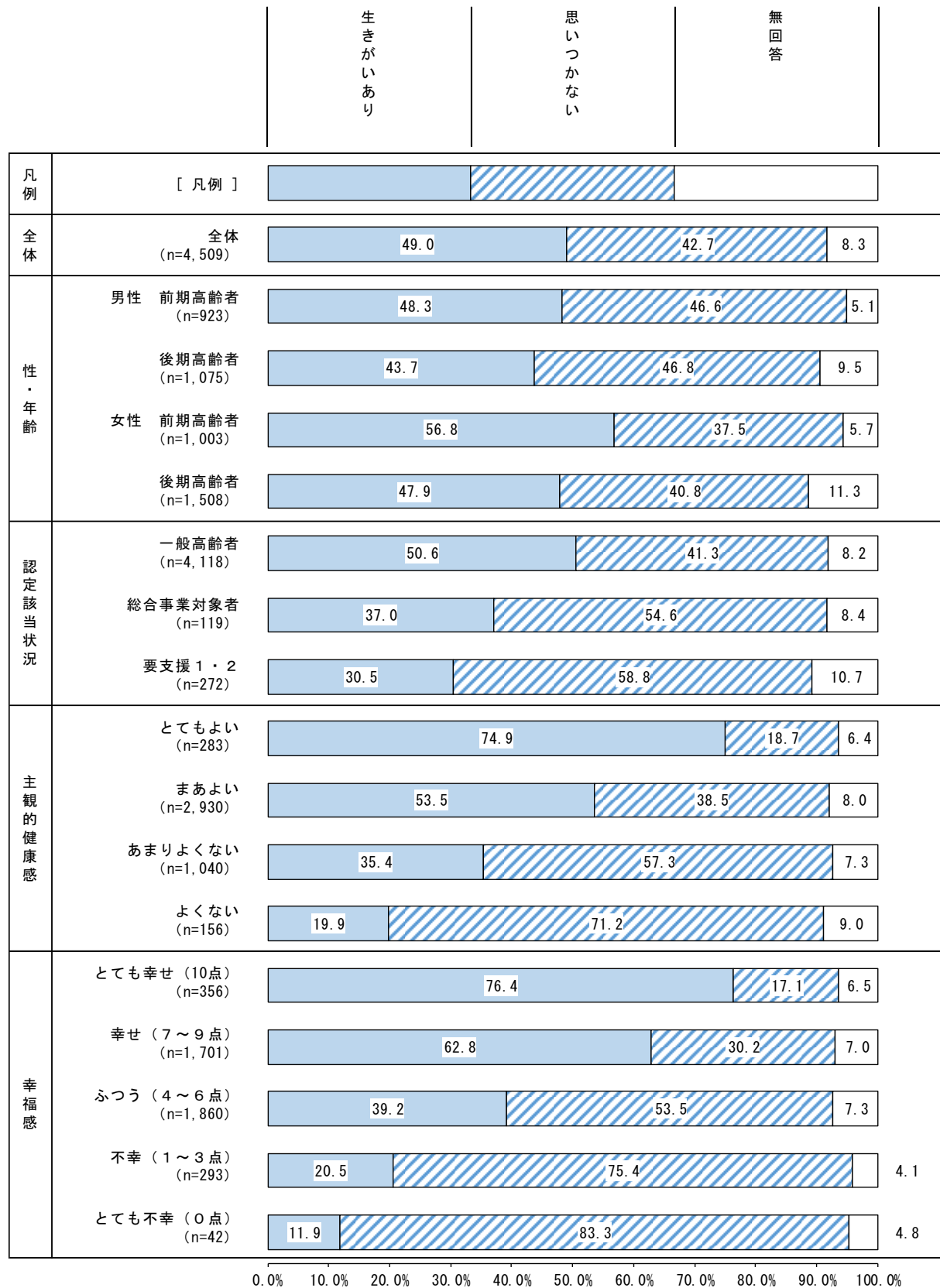
- 要介護度が高いほど「生きがいあり」が少なくなる傾向がみられます。

【主観的健康感】

- 主観的健康感がよくないほど「生きがいあり」が少なくなる傾向がみられます。

【幸福感】

- 幸福感が低いほど「生きがいあり」が少なくなる傾向がみられます。



5. 地域での活動について

●問5.1 以下のような会・グループ等にどれぐらいの頻度で参加していますか。

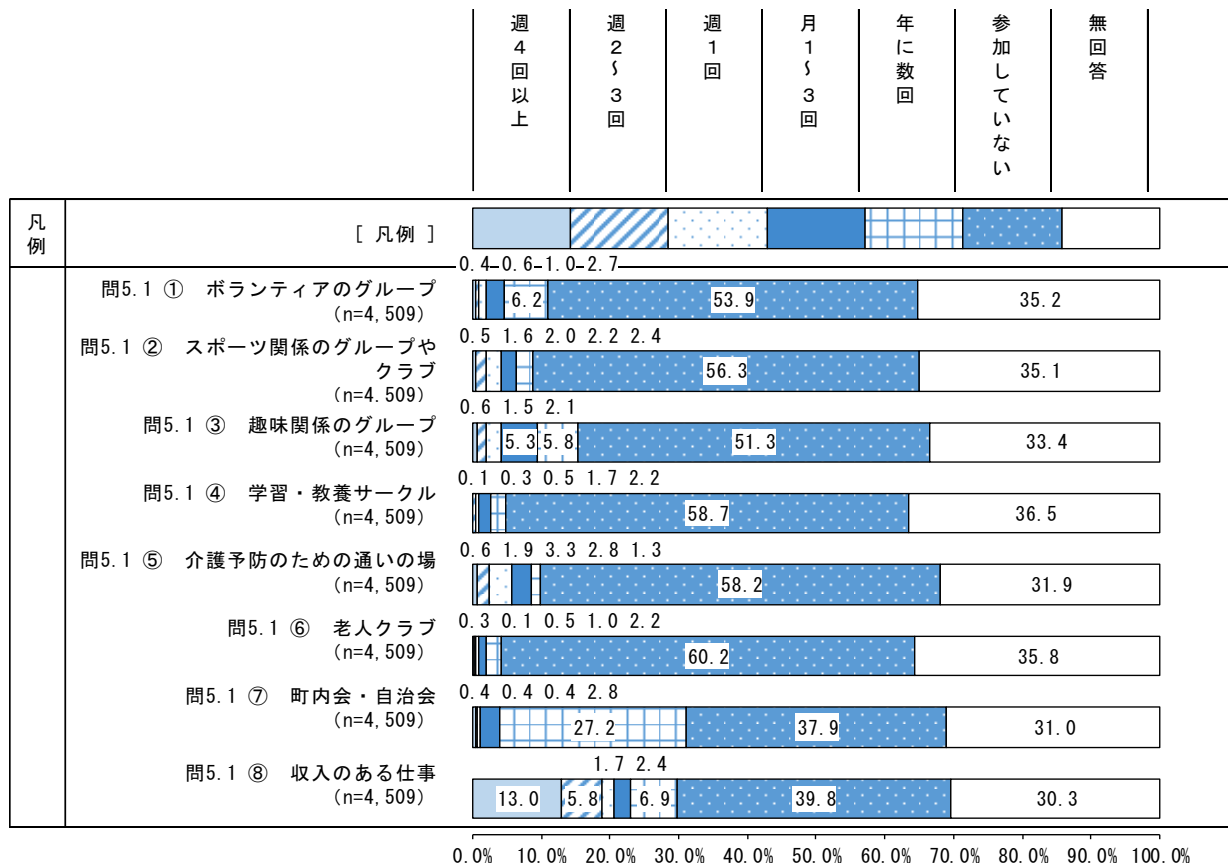
(①～⑧にそれぞれ1つだけ○)

【全体】

- ①ボランティアのグループへの参加頻度について、「参加していない」が 53.9%で最も多く、次いで「年に数回」が 6.2%、「月1～3回」が 2.7%となっています。
- ②スポーツ関係のグループやクラブへの参加頻度について、「参加していない」が 56.3%で最も多く、次いで「年に数回」が 2.4%、「月1～3回」が 2.2%となっています。
- ③趣味関係のグループへの参加頻度について、「参加していない」が 51.3%で最も多く、次いで「年に数回」が 5.8%、「月1～3回」が 5.3%となっています。
- ④学習・教養サークルへの参加頻度について、「参加していない」が 58.7%で最も多く、次いで「年に数回」が 2.2%、「月1～3回」が 1.7%となっています。
- ⑤介護予防のための通いの場への参加頻度について、「参加していない」が 58.2%で最も多く、次いで「週1回」が 3.3%、「月1～3回」が 2.8%となっています。
- ⑥老人クラブへの参加頻度について、「参加していない」が 60.2%で最も多く、次いで「年に数回」が 2.2%、「月1～3回」が 1.0%となっています。
- ⑦町内会・自治会への参加頻度について、「参加していない」が 37.9%で最も多く、次いで「年に数回」が 27.2%、「月1～3回」が 2.8%となっています。
- ⑧収入のある仕事への参加頻度について、「参加していない」が 39.8%で最も多く、次いで「週4回以上」が 13.0%、「年に数回」が 6.9%となっています。

【設問間比較】

- 「週4回以上」は⑧収入のある仕事で 13.0%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「月1～3回」は③趣味関係のグループへの参加頻度が 5.3%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「年に数回」は⑦町内会・自治会が 27.2%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「参加していない」は⑥老人クラブが 60.2%、④学習・教養サークルへの参加頻度が 58.7%、⑤介護予防のための通いの場が 58.2%と他の区分に比べて多くなっています。



●問5.1 ①ボランティアのグループ（１つだけ○）

【全体】

- ①ボランティアのグループへの参加頻度について、「週４回以上」「週２～３回」「週１回」を合わせた“週１回以上参加している人”は2.0%となっています。

【性・年齢】

- 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて“週１回以上参加している人が少なくなっています。

【地区】

- “週１回以上参加している人”は十和が0.8%と他の区分に比べて少なくなっています。

		母数	①ボランティアのグループへの参加頻度							単位：％ “週1回以上参加している人”
			週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	
全体（n=4,509）		4,509	0.4	0.6	1.0	2.7	6.2	53.9	35.2	2.0
性・年齢	男性 前期高齢者（n=923）	923	0.4	0.7	0.7	2.7	9.2	61.2	25.1	1.8
	後期高齢者（n=1,075）	1,075	0.4	0.4	0.9	0.9	6.4	50.7	40.3	1.7
	女性 前期高齢者（n=1,003）	1,003	0.6	0.8	1.0	5.5	6.4	63.5	22.2	2.4
	後期高齢者（n=1,508）	1,508	0.3	0.7	1.1	2.2	4.1	45.2	46.4	2.1
地区	窪川（n=3,063）	3,063	0.4	0.6	1.2	2.9	5.0	56.3	33.7	2.2
	大正（n=635）	635	0.8	0.8	0.8	3.5	9.3	49.3	35.6	2.4
	十和（n=811）	811	0.2	0.5	0.1	1.5	8.5	48.3	40.8	0.8

※表内において、**上位１位**、**上位２位**には色付けをしている。また、全体と比べて 10 ポイント以上高い場合には△、10 ポイント以上低い場合には▼の記号を付けている。以下同様。

●問5.1 ②スポーツ関係のグループやクラブ（１つだけ○）

【全体】

- ②スポーツ関係のグループやクラブへの参加頻度について、「週４回以上」「週２～３回」「週１回」を合わせた“週１回以上参加している人”は4.1%となっています。

【性・年齢】

- “週１回以上参加している人”は男性の後期高齢者が 2.9%と他の区分に比べて少なくなっています。

【地区】

- “週１回以上参加している人”は十和が1.5%と他の区分に比べて少なくなっています。

		母数	②スポーツ関係のグループやクラブへの参加頻度							単位：％ “週１回以上参加している人”
			週 ４ 回 以上	週 ２ ～ ３ 回	週 １ 回	月 １ ～ ３ 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答	
全体（n=4,509）		4,509	0.5	1.6	2.0	2.2	2.4	56.3	35.1	4.1
性・年齢	男性 前期高齢者（n=923）	923	0.4	2.6	1.1	3.3	3.7	63.7	25.2	4.1
	後期高齢者（n=1,075）	1,075	0.6	1.3	1.0	2.9	2.8	51.8	39.6	2.9
	女性 前期高齢者（n=1,003）	1,003	0.3	1.0	3.2	1.4	2.2	△ 68.9	23.0	4.5
	後期高齢者（n=1,508）	1,508	0.6	1.5	2.6	1.5	1.3	46.7	45.9	4.7
地区	窪川（n=3,063）	3,063	0.6	1.6	2.4	2.4	2.2	57.6	33.1	4.6
	大正（n=635）	635	0.3	2.5	1.9	1.6	2.0	53.9	37.8	4.7
	十和（n=811）	811	0.1	0.5	0.9	1.6	3.1	53.5	40.3	1.5

●問5.1 ③趣味関係のグループ（１つだけ○）

【全体】

- ③趣味関係のグループへの参加頻度について、「週４回以上」「週２～３回」「週１回」を合わせた“週１回以上参加している人”は4.2%となっています。

【性・年齢】

- “週１回以上参加している人”は女性の前期高齢者が3.6%と他の区分に比べて少なくなっています。

【地区】

- “週１回以上参加している人”は十和が2.4%と他の区分に比べて少なくなっています。

		母数	③趣味関係のグループへの参加頻度							単位：％ “週１回以上参加している人”
			週４回以上	週２～３回	週１回	月１～３回	年に数回	参加していない	無回答	
全体（n=4,509）		4,509	0.6	1.5	2.1	5.3	5.8	51.3	33.4	4.2
性・年齢	男性 前期高齢者（n=923）	923	0.8	2.2	1.7	5.7	12.0	55.0	22.5	4.7
	後期高齢者（n=1,075）	1,075	0.8	1.3	2.2	4.7	6.4	47.4	37.1	4.3
	女性 前期高齢者（n=1,003）	1,003	0.4	1.0	2.2	7.9	4.1	△ 62.7	21.7	3.6
	後期高齢者（n=1,508）	1,508	0.4	1.7	2.2	3.7	2.8	44.0	45.2	4.3
地区	窪川（n=3,063）	3,063	0.6	1.7	2.2	6.0	5.6	52.2	31.7	4.5
	大正（n=635）	635	0.8	1.4	2.8	3.5	7.2	48.5	35.7	5.0
	十和（n=811）	811	0.4	0.9	1.1	3.9	5.8	49.8	38.1	2.4

●問5.1 ④学習・教養サークル（１つだけ○）

【全体】

- ④学習・教養サークルへの参加頻度について、「週４回以上」「週２～３回」「週１回」を合わせた“週１回以上参加している人”は0.9%となっています。

【性・年齢】

- 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて“週１回以上参加している人が少なくなっています。

【地区】

- “週１回以上参加している人”は窪川が1.2%と他の区分に比べて多くなっています。

		母数	④学習・教養サークルへの参加頻度							単位：％ “週１回以上参加している人”
			週４回以上	週２～３回	週１回	月１～３回	年に数回	参加していない	無回答	
全体（n=4,509）		4,509	0.1	0.3	0.5	1.7	2.2	58.7	36.5	0.9
性・年齢	男性 前期高齢者（n=923）	923	-	0.2	0.3	1.3	2.3	△ 70.2	25.7	0.5
	後期高齢者（n=1,075）	1,075	0.2	0.3	0.3	1.1	1.8	55.8	40.6	0.8
	女性 前期高齢者（n=1,003）	1,003	-	0.3	0.9	3.8	2.8	68.0	24.2	1.2
	後期高齢者（n=1,508）	1,508	0.2	0.3	0.6	1.0	2.2	▼ 47.4	48.3	1.1
地区	窪川（n=3,063）	3,063	0.2	0.3	0.7	2.1	2.3	59.9	34.5	1.2
	大正（n=635）	635	-	0.6	-	1.1	3.5	55.7	39.1	0.6
	十和（n=811）	811	-	-	0.4	0.7	1.0	56.1	41.8	0.4

●問5.1 ⑤（宅老所・いきいき百歳体操などの運動グループなど）介護予防のための
通いの場（１つだけ○）

【全体】

- ⑤介護予防のための通いの場への参加頻度について、「週４回以上」「週２～３回」「週１回」を合わせた“週１回以上参加している人”は5.8%となっています。

【性・年齢】

- “週１回以上参加している人”は女性の後期高齢者が12.2%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 要介護度が高いほど“週１回以上参加している人”が多くなる傾向がみられます。

			母数	⑤介護予防のための通いの場への参加頻度						“週1回以上参加している人”	
				週4回以上	週2〜3回	週1回	月1〜3回	年に数回	参加していない		無回答
全体（n=4,509）			4,509	0.6	1.9	3.3	2.8	1.3	58.2	31.9	5.8
性・年齢	男性	前期高齢者（n=923）	923	-	0.2	1.1	0.4	0.4	△ 72.5	25.4	1.3
		後期高齢者（n=1,075）	1,075	0.6	1.8	1.5	1.3	1.1	55.5	38.2	3.9
	女性	前期高齢者（n=1,003）	1,003	0.1	0.6	1.9	2.9	1.2	△ 70.1	23.2	2.6
		後期高齢者（n=1,508）	1,508	1.2	4.0	7.0	5.2	2.1	▼ 43.4	37.1	12.2
地区	窪川（n=3,063）		3,063	0.6	2.0	3.6	3.1	1.3	59.6	29.8	6.2
	大正（n=635）		635	0.5	2.4	3.3	1.7	1.3	55.6	35.3	6.2
	十和（n=811）		811	0.5	1.4	2.5	2.5	1.5	54.7	37.0	4.4
当認 状定 況該	一般高齢者（n=4,118）		4,118	0.4	1.3	2.5	2.4	1.3	59.6	32.4	4.2
	総合事業対象者（n=119）		119	5.0	5.0	7.6	12.6	2.5	▼ 41.2	26.1	△ 17.6
	要支援1・2（n=272）		272	0.7	9.9	13.2	4.4	1.1	▼ 44.5	26.1	△ 23.8

●問5.1 ⑥老人クラブ（１つだけ○）

【全体】

- ⑥老人クラブへの参加頻度について、「週４回以上」「週２～３回」「週１回」を合わせた“週１回以上参加している人”は0.9%となっています。

【性・年齢】

- “週１回以上参加している人”は女性の後期高齢者が1.8%と他の区分に比べて多くなっています。

【地区】

- “週１回以上参加している人”に大きな差はみられません

		母数	⑥老人クラブへの参加頻度							単位：％ “週1回以上参加している人”
			週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	
全体（n=4,509）		4,509	0.3	0.1	0.5	1.0	2.2	60.2	35.8	0.9
性・年齢	男性 前期高齢者（n=923）	923	—	—	0.1	0.3	1.0	△ 71.8	26.8	0.1
	後期高齢者（n=1,075）	1,075	0.3	—	0.6	1.1	2.2	55.7	40.1	0.9
	女性 前期高齢者（n=1,003）	1,003	—	0.1	—	0.2	1.6	△ 73.4	24.7	0.1
	後期高齢者（n=1,508）	1,508	0.6	0.3	0.9	2.0	3.2	▼ 47.5	45.6	1.8
地区	窪川（n=3,063）	3,063	0.3	0.1	0.5	1.2	2.4	61.7	33.7	0.9
	大正（n=635）	635	—	0.3	0.5	1.3	0.6	58.0	39.4	0.8
	十和（n=811）	811	0.4	0.1	0.2	0.2	2.2	56.1	40.7	0.7

●問5.1 ⑦町内会・自治会（１つだけ○）

【全体】	
○ ⑦町内会・自治会への参加頻度について、「週４回以上」「週２～３回」「週１回」「月１～３回」「年に数回」を合わせた“年に数回以上参加している人”は31.2%となっています。	
【性・年齢】	
○ “年に数回以上参加している人”は男性の前期高齢者が51.0%と他の区分に比べて多くなっています。	
【地区】	
○ “年に数回以上参加している人”は十和が26.1%と他の区分に比べて少なくなっています。	

										単位：%
		母数	⑦町内会・自治会への参加頻度							“年に数回以上参加している人”
			週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答	
全体（n=4,509）		4,509	0.4	0.4	0.4	2.8	27.2	37.9	31.0	31.2
性・年齢	男性 前期高齢者（n=923）	923	0.4	0.7	0.9	7.0	△ 42.0	31.2	17.8	51.0
	後期高齢者（n=1,075）	1,075	0.8	0.5	0.6	2.5	29.1	34.6	31.9	33.5
	女性 前期高齢者（n=1,003）	1,003	—	0.3	0.2	1.6	28.1	△ 47.9	21.9	30.2
	後期高齢者（n=1,508）	1,508	0.2	0.1	0.2	1.1	▼ 16.1	37.7	44.6	17.7
地区	窪川（n=3,063）	3,063	0.3	0.4	0.4	2.5	28.6	38.5	29.3	32.2
	大正（n=635）	635	0.8	0.8	0.5	3.6	26.1	36.2	32.0	31.8
	十和（n=811）	811	0.1	—	0.4	3.0	22.6	37.1	36.9	26.1

●問5.1 ⑧収入のある仕事（１つだけ○）

【全体】	
○ 「週４回以上」「週２～３回」「週１回」を合わせた“週１回以上参加している人”は20.5%となっています。	
【性・年齢】	
○ 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて“週１回以上参加している人”が多くなっています。	
○ 「参加していない」は男性の前期高齢者が31.9%と他の区分に比べて少なくなっています。	
【地区】	
○ “週１回以上参加している人”は十和が16.1%と他の区分に比べて少なくなっています。	
【主観的健康感】	
○ 主観的健康感がよくないほど“週１回以上参加している人”が少なくなる傾向がみられます。	
【幸福感】	
○ 幸福感が低いほど「週４回以上」が少なくなる傾向がみられます。	

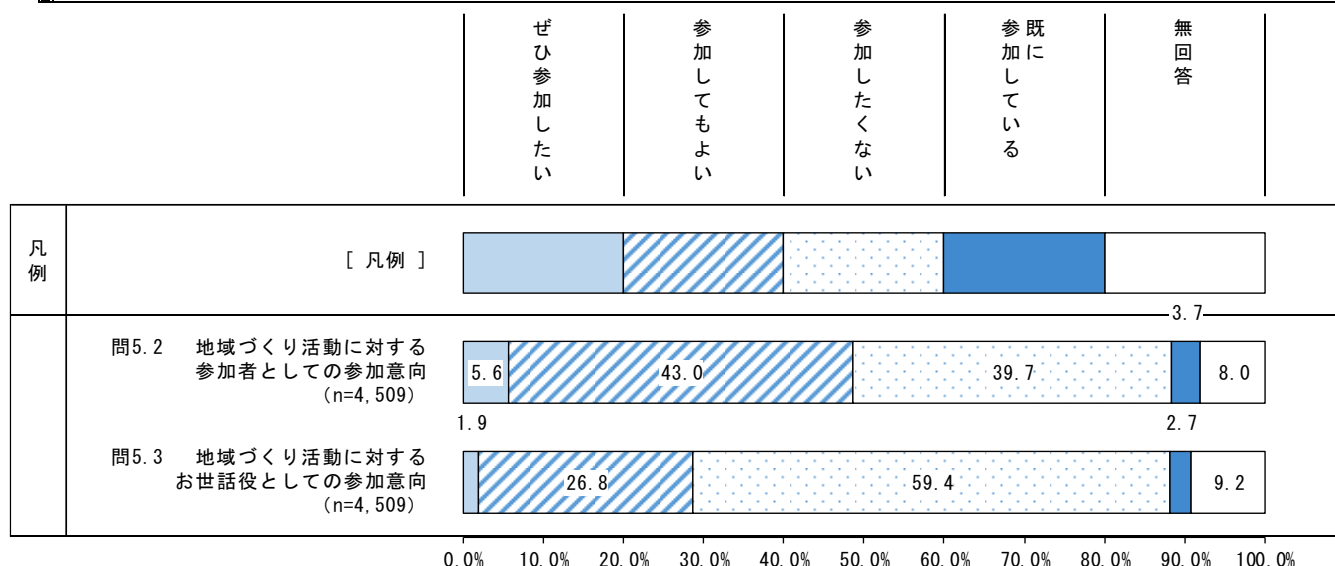
単位：％

		母数	⑧収入のある仕事への参加頻度							“週1回以上参加している人”
			週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答	
全体 (n=4, 509)		4, 509	13.0	5.8	1.7	2.4	6.9	39.8	30.3	20.5
性・年齢	男性 前期高齢者 (n=923)	923	△ 23.4	8.5	1.8	3.9	12.4	31.9	18.2	△ 33.7
	後期高齢者 (n=1, 075)	1, 075	6.2	2.7	1.6	1.6	7.7	43.6	36.6	▼ 10.5
	女性 前期高齢者 (n=1, 003)	1, 003	20.9	11.0	2.7	3.5	6.9	39.4	15.7	△ 34.6
	後期高齢者 (n=1, 508)	1, 508	6.2	3.1	1.1	1.4	3.1	42.2	43.0	▼ 10.4
地区	窪川 (n=3, 063)	3, 063	14.2	5.9	1.8	2.4	6.3	40.5	29.0	21.9
	大正 (n=635)	635	12.0	6.3	1.7	3.5	6.8	38.1	31.7	20.0
	十和 (n=811)	811	9.4	5.3	1.4	1.7	9.5	38.6	34.2	16.1
主観的健康	とてもよい (n=283)	283	△ 23.7	6.7	2.1	4.6	6.4	30.0	26.5	△ 32.5
	まあよい (n=2, 930)	2, 930	15.3	6.7	1.9	2.8	7.3	37.2	28.8	23.9
	あまりよくない (n=1, 040)	1, 040	6.2	4.2	1.2	1.2	7.0	48.0	32.3	11.6
	よくない (n=156)	156	▼ 1.9	2.6	1.3	—	1.3	△ 61.5	31.4	▼ 5.8
幸福感	とても幸せ (10点) (n=356)	356	19.1	4.2	1.4	2.2	7.9	34.6	30.6	24.7
	幸せ (7～9点) (n=1, 701)	1, 701	15.9	8.2	2.2	3.6	6.3	37.4	26.3	26.3
	ふつう (4～6点) (n=1, 860)	1, 860	11.2	4.9	1.3	1.9	7.9	42.7	29.9	17.4
	不幸 (1～3点) (n=293)	293	6.8	4.8	1.7	0.3	5.8	△ 51.9	28.7	13.3
	とても不幸 (0点) (n=42)	42	4.8	—	—	—	4.8	△ 57.1	33.3	▼ 4.8

- 問5.2 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(1つだけ○)
- 問5.3 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(1つだけ○)

【全体】

- 地域づくり活動に対する参加者としての参加意向について、「参加してもよい」が 43.0%で最も多く、次いで「参加したくない」が 39.7%、「ぜひ参加したい」が 5.6%となっています。
- 地域づくり活動に対するお世話役としての参加意向について、「参加したくない」が 59.4%で最も多く、次いで「参加してもよい」が 26.8%、「既に参加している」が 2.7%となっています。



●問5.2 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(1つだけ○)

【性・年齢】

- 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「参加してもよい」が多くなっています。

【地区】

- 「ぜひ参加したい」は大正が7.4%と他の区分に比べて多くなっています。

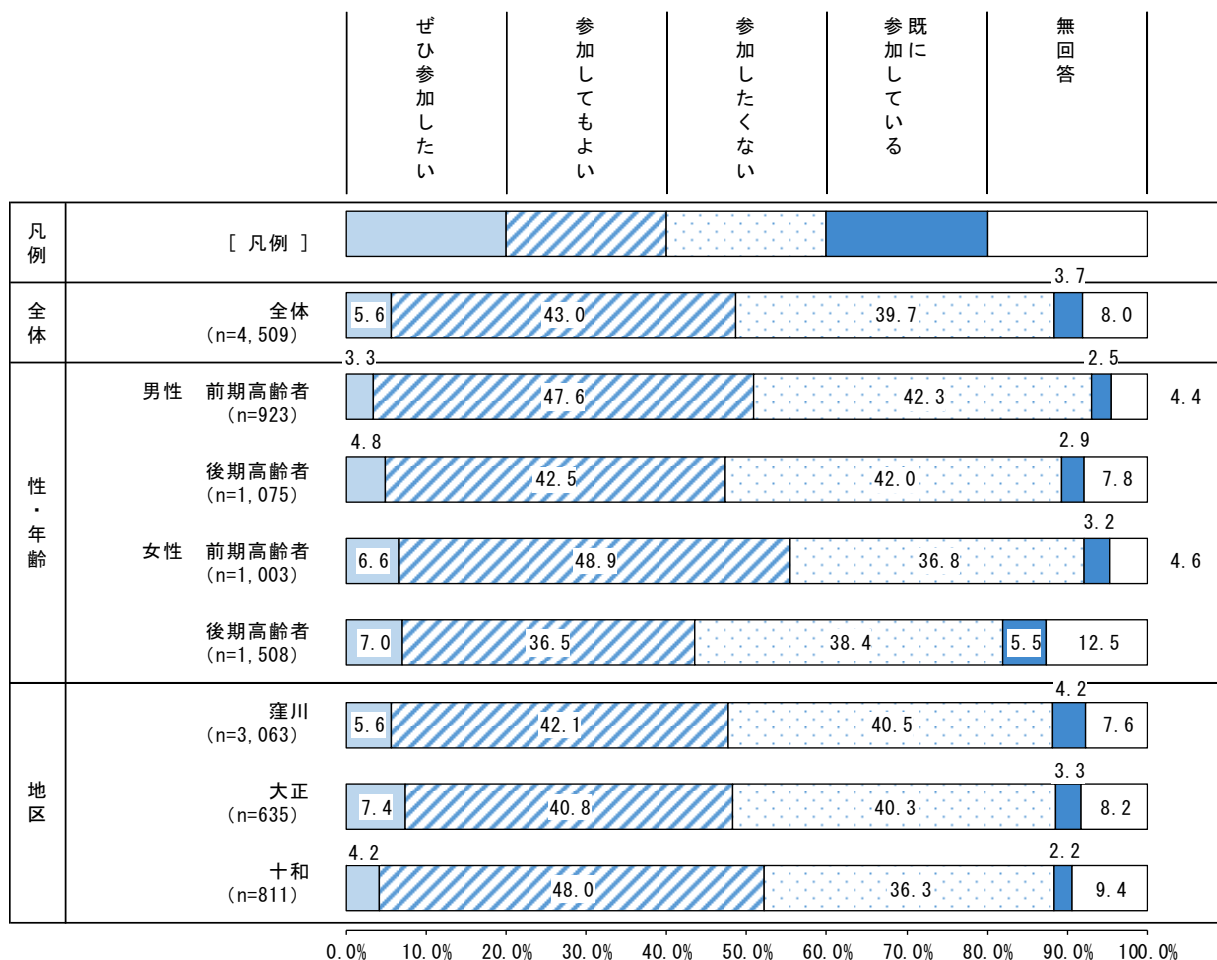
- 「参加してもよい」は十和が48.0%と他の区分に比べて多くなっています。

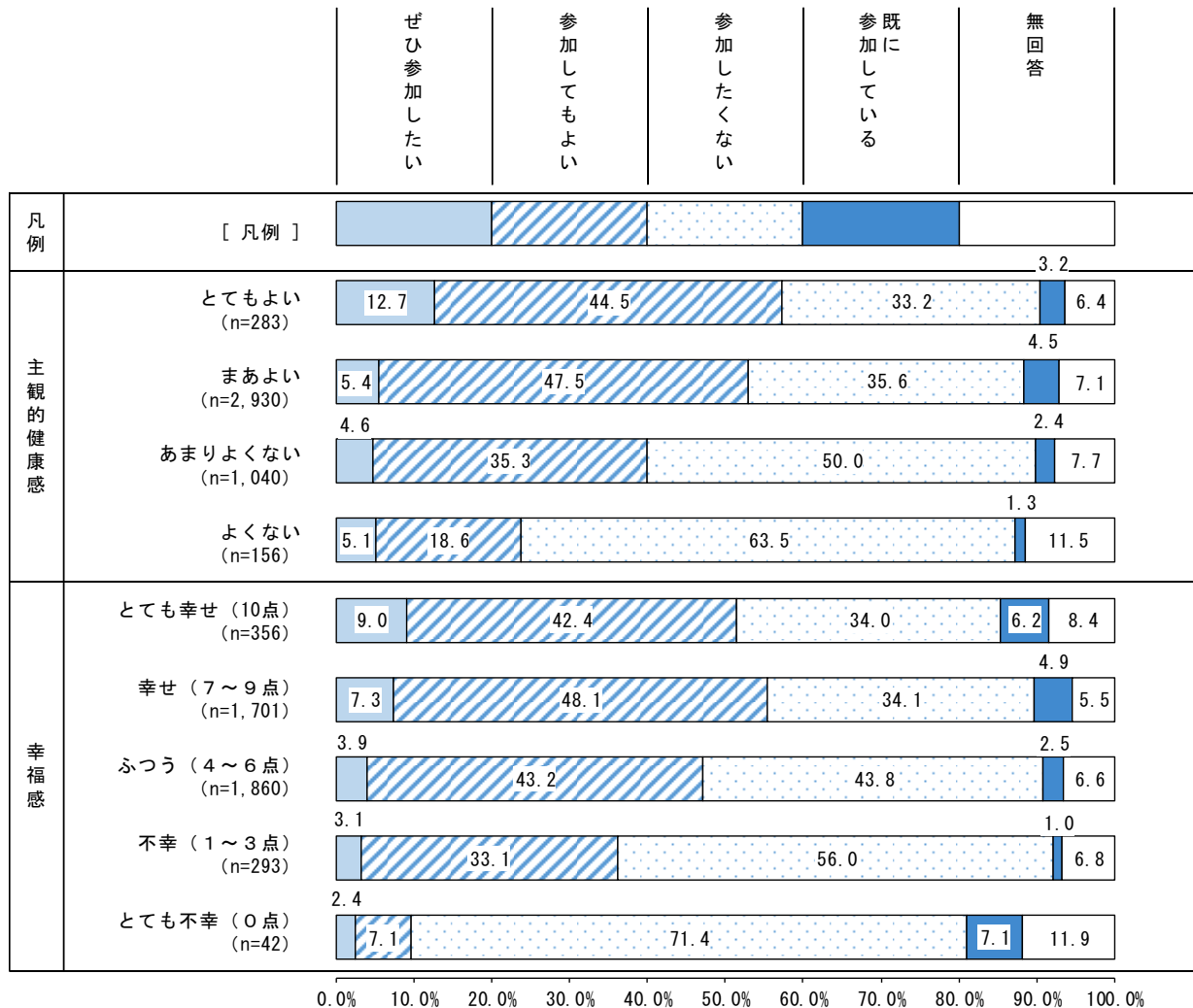
【主観的健康感】

- 主観的健康感がよくないほど「参加したくない」が多くなる傾向がみられます。

【幸福感】

- 幸福感が低いほど「ぜひ参加したい」が少なくなる傾向がみられます。





●問5.3 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（1つだけ○）

【性・年齢】

- 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「参加してもよい」が多くなっています。
- 「参加したくない」は女性の前期高齢者が 62.4%と他の区分に比べて多くなっています。

【地区】

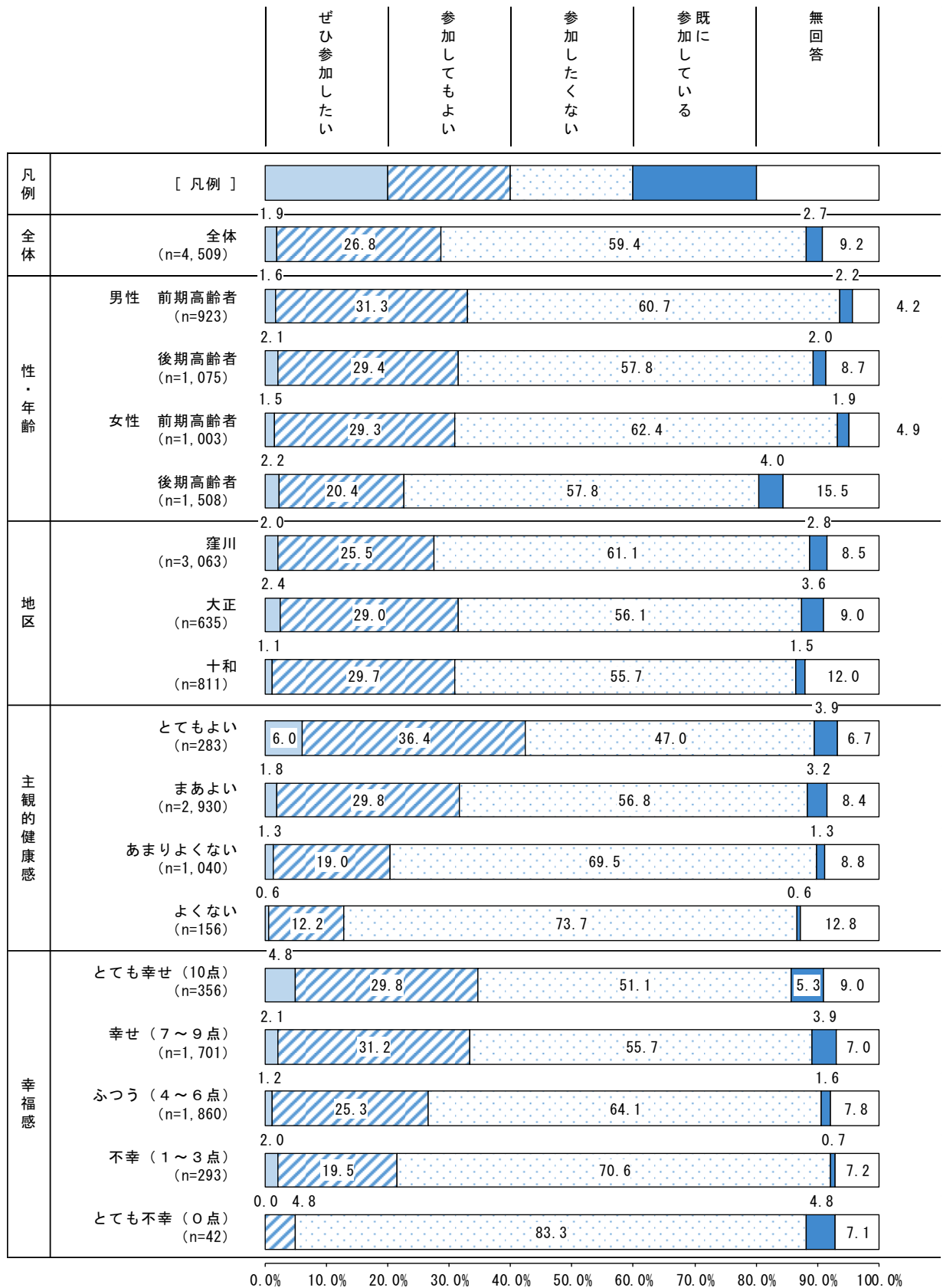
- 「参加してもよい」は窪川が 25.5%と他の区分に比べて少なくなっています。

【主観的健康感】

- 主観的健康感がよくないほど「参加したくない」が多くなる傾向がみられます。

【幸福感】

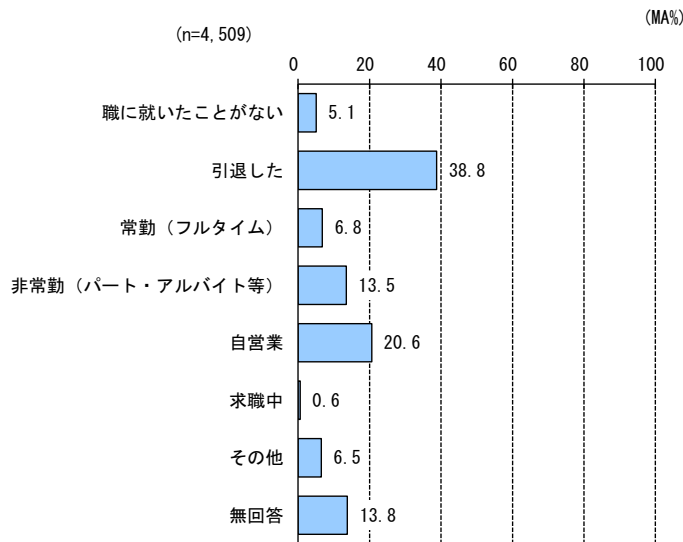
- 幸福感が低いほど「参加したくない」が多くなる傾向がみられます。



6. 就労について

●問6.1 現在のあなたの就労状態はどれですか。(いくつでも○)

【全体】
○ 就労状態について、「引退した」が 38.8%で最も多く、次いで「自営業」が 20.6%、「非常勤（パート・アルバイト等）」が 13.5%となっています。



		単位：％						単位：％		
		母数	就労状態(MA)				就労状態(MA)			
			な職に就いたことが	引退した	常勤（フルタイム）	ル非常勤（パート・アルバイト等）	自営業	求職中	その他	無回答
全体（n=4,509）		4,509	5.1	38.8	6.8	13.5	20.6	0.6	6.5	13.8
性・年齢	男性 前期高齢者（n=923）	923	1.4	33.2	△ 16.9	15.9	30.0	1.2	4.3	4.4
	後期高齢者（n=1,075）	1,075	6.0	△ 49.1	3.1	5.7	23.3	0.3	5.8	12.5
	女性 前期高齢者（n=1,003）	1,003	3.0	34.9	9.3	△ 27.0	17.0	0.7	7.0	7.1
	後期高齢者（n=1,508）	1,508	8.1	37.4	1.6	8.5	15.3	0.4	8.2	24.8
地区	窪川（n=3,063）	3,063	4.9	39.6	6.2	14.1	21.6	0.6	5.7	12.6
	大正（n=635）	635	5.8	40.8	8.5	14.0	15.4	0.5	7.9	15.1
	十和（n=811）	811	5.2	34.0	7.8	10.7	20.6	0.6	8.5	17.0

※表内において、**上位1位**、**上位2位**には色付けをしている。また、全体と比べて 10 ポイント以上高い場合には△、10 ポイント以上低い場合には▼の記号を付けている。

7. たすけあいについて

●問7.1 あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人。(いくつでも○)

【全体】

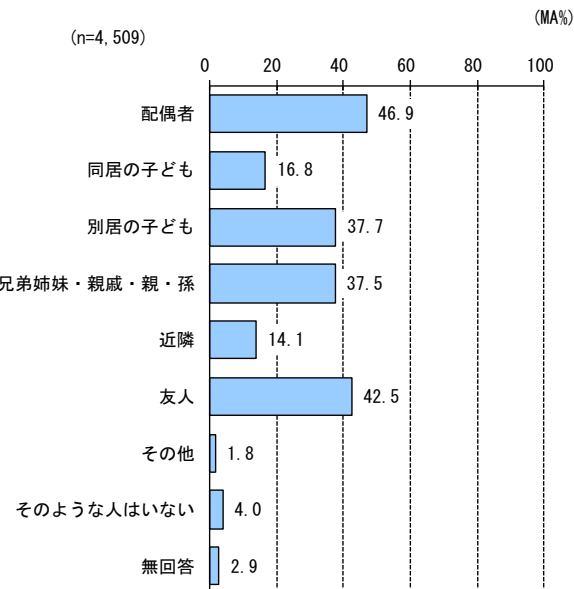
- あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人について、「配偶者」が 46.9%で最も多く、次いで「友人」が 42.5%、「別居の子ども」が 37.7%となっています。

【性・年齢】

- 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「配偶者」が多くなっています。
- 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「同居の子ども」が多くなっています。
- 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「友人」が多くなっています。

【家族構成】

- 「そのような人はいない」は1人暮らしが 7.1%と他の区分に比べて多くなっています。



単位：%

		母数	あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人(MA)									単位: %
			配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親兄弟・姉妹・親戚・孫	近隣	友人	その他	いないような人は	無回答	
全体 (n=4,509)		4,509	46.9	16.8	37.7	37.5	14.1	42.5	1.8	4.0	2.9	
性・年齢	男性 前期高齢者 (n=923)	923	△ 60.8	10.7	▼ 21.0	28.1	9.9	37.2	2.0	6.9	2.4	
	後期高齢者 (n=1,075)	1,075	△ 57.6	14.4	31.8	▼ 27.3	9.2	▼ 26.9	1.6	5.4	4.6	
	女性 前期高齢者 (n=1,003)	1,003	49.3	16.1	45.8	47.2	13.0	△ 59.0	2.4	2.4	1.6	
	後期高齢者 (n=1,508)	1,508	▼ 29.2	22.7	46.8	44.0	20.9	46.0	1.3	2.2	3.0	
家族構成	1人暮らし (n=1,206)	1,206	▼ 2.5	▼ 2.0	40.6	44.7	19.7	50.7	2.3	7.1	4.0	
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上) (n=1,662)	1,662	△ 80.3	▼ 3.4	44.6	32.1	10.7	40.1	1.3	2.3	2.0	
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下) (n=215)	215	△ 78.1	10.7	32.1	29.3	13.0	35.8	-	3.3	2.8	
	息子・娘との2世帯 (n=633)	633	46.3	△ 60.2	31.0	35.1	12.6	38.9	1.1	2.7	3.2	
	その他 (n=681)	681	37.2	△ 35.5	▼ 25.8	43.6	14.4	39.9	3.2	3.5	2.1	

※表内において、**上位1位**、**上位2位**には色付けをしている。また、全体と比べて 10 ポイント以上高い場合には△、10 ポイント以上低い場合には▼の記号を付けている。以下同様。

●問7.2 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人。(いくつでも○)

【全体】

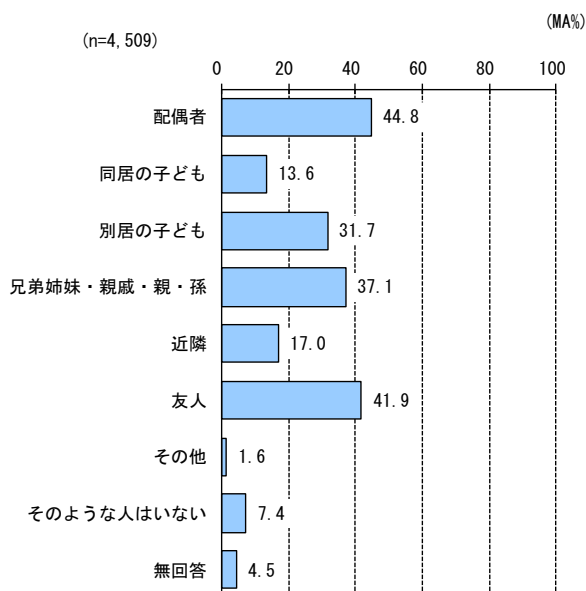
- あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人について、「配偶者」が 44.8%で最も多く、次いで「友人」が 41.9%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 37.1%となっています。

【性・年齢】

- 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「配偶者」が多くなっています。
○ 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「別居の子ども」「友人」が多くなっています。

【家族構成】

- 「そのような人はいない」は1人暮らしが 14.4%と他の区分に比べて多くなっています。



単位：%

		母数	あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人 (MA)									単位: %
			配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親兄弟・姉妹・親戚・孫	近隣	友人	その他	いない	そのような人は	無回答
全体 (n=4, 509)		4, 509	44. 8	13. 6	31. 7	37. 1	17. 0	41. 9	1. 6	7. 4	4. 5	
性・年齢	男性 前期高齢者 (n=923)	923	△ 59. 4	11. 2	22. 3	30. 9	14. 1	37. 6	1. 6	9. 0	1. 7	
	後期高齢者 (n=1, 075)	1, 075	△ 55. 9	12. 7	27. 5	28. 1	12. 3	▼ 27. 4	0. 9	9. 9	5. 8	
	女性 前期高齢者 (n=1, 003)	1, 003	47. 3	13. 2	△ 41. 7	△ 50. 3	16. 9	△ 57. 6	2. 6	3. 5	2. 6	
	後期高齢者 (n=1, 508)	1, 508	▼ 26. 2	16. 0	33. 8	38. 4	22. 3	44. 5	1. 3	7. 2	6. 7	
家族構成	1人暮らし (n=1, 206)	1, 206	▼ 1. 9	▼ 1. 2	28. 0	39. 6	20. 1	49. 8	1. 9	14. 4	6. 1	
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上) (n=1, 662)	1, 662	△ 76. 7	▼ 3. 2	40. 8	34. 5	15. 1	39. 0	1. 1	3. 2	2. 9	
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下) (n=215)	215	△ 72. 6	10. 7	27. 4	▼ 27. 0	13. 0	37. 2	1. 9	2. 8	6. 0	
	息子・娘との2世帯 (n=633)	633	45. 2	△ 46. 3	27. 0	36. 0	17. 2	41. 5	0. 6	5. 8	5. 5	
	その他 (n=681)	681	36. 1	△ 29. 7	23. 2	44. 6	18. 5	38. 2	2. 8	7. 8	2. 5	

●問7.3 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人。
(いくつでも○)

【全体】

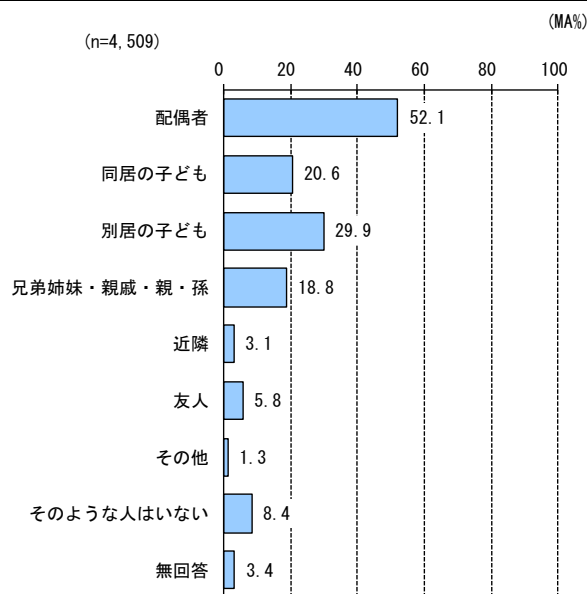
- あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人について、「配偶者」が52.1%で最も多く、次いで「別居の子ども」が29.9%、「同居の子ども」が20.6%となっています。

【性・年齢】

- 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「配偶者」が多くなっています。
○ 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「別居の子ども」が多くなっています。
○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「別居の子ども」が多くなっています。

【家族構成】

- 「別居の子ども」は1人暮らしが37.6%、夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）が34.1%と他の区分に比べて多くなっています。
○ 「そのような人はいない」は1人暮らしが24.4%と他の区分に比べて多くなっています。



単位：%

		母数	あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人(MA)								
			配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親兄弟・姉妹・孫	近隣	友人	その他	いそがないような人は	無回答
全体 (n=4,509)		4,509	52.1	20.6	29.9	18.8	3.1	5.8	1.3	8.4	3.4
性・年齢	男性 前期高齢者 (n=923)	923	△ 65.5	10.9	▼ 13.7	19.9	2.8	5.0	1.0	11.1	1.6
	後期高齢者 (n=1,075)	1,075	△ 63.4	18.5	28.9	16.0	2.8	3.4	0.6	7.5	4.0
	女性 前期高齢者 (n=1,003)	1,003	58.4	18.8	29.2	20.9	3.0	8.6	1.7	6.3	2.0
	後期高齢者 (n=1,508)	1,508	▼ 31.5	29.0	△ 40.9	18.8	3.5	6.2	1.7	8.8	5.0
家族構成	1人暮らし (n=1,206)	1,206	▼ 2.2	▼ 1.7	37.6	△ 30.6	6.5	12.9	2.5	△ 24.4	5.5
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上) (n=1,662)	1,662	△ 89.7	▼ 3.8	34.1	11.9	2.0	3.5	0.5	2.0	1.9
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下) (n=215)	215	△ 86.5	14.0	21.4	9.3	0.9	2.3	0.5	0.9	3.7
	息子・娘との2世帯 (n=633)	633	50.6	△ 74.7	20.1	9.8	0.9	2.2	0.6	1.7	2.8
	その他 (n=681)	681	▼ 41.3	△ 43.3	▼ 19.4	26.9	2.1	4.0	1.6	5.0	2.1

●問7.4 反対に、看病や世話をしあける人。(いくつでも○)

【全体】

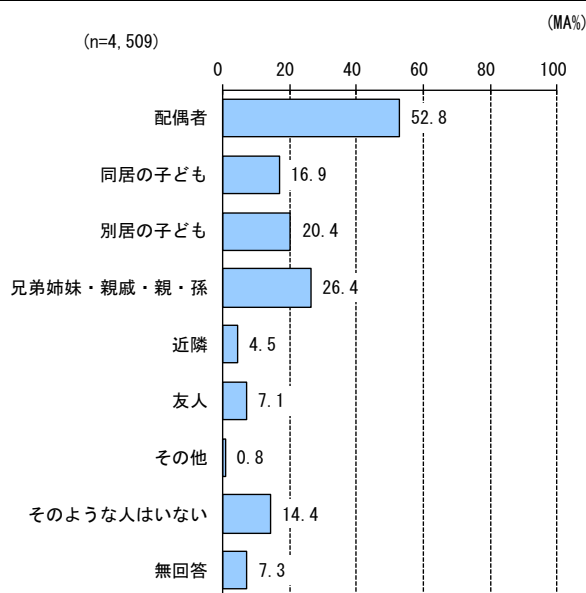
- 看病や世話をしあける人について、「配偶者」が 52.8%で最も多く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 26.4%、「別居の子ども」が 20.4%となっています。

【性・年齢】

- 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「別居の子ども」が多くなっています。
- 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が多くなっています。
- 「配偶者」は女性の後期高齢者が 34.6%と他の区分に比べて少なくなっています。

【家族構成】

- 「そのような人はいない」は1人暮らしが 36.3%と他の区分に比べて多くなっています。



単位：%

			看病や世話をしあける人 (MA)								
			母数	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親兄弟・姉妹・親戚・孫	近隣	友人	その他	いそいそなような人は
全体 (n=4,509)			4,509	52.8	16.9	20.4	26.4	4.5	7.1	0.8	14.4
性・年齢	男性	前期高齢者 (n=923)	923	62.1	12.6	12.9	27.8	3.4	5.6	0.5	14.6
		後期高齢者 (n=1,075)	1,075	61.3	13.5	16.2	18.0	3.3	4.9	0.7	15.2
	女性	前期高齢者 (n=1,003)	1,003	62.7	19.1	△ 31.1	△ 40.6	5.1	9.5	0.4	6.0
		後期高齢者 (n=1,508)	1,508	▼ 34.6	20.5	20.8	22.1	5.8	8.0	1.3	19.4
家族構成	1人暮らし (n=1,206)		1,206	▼ 2.5	▼ 0.8	19.7	30.6	7.7	13.4	1.7	△ 36.3
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上) (n=1,662)		1,662	△ 91.0	▼ 3.9	26.7	21.2	3.4	5.5	0.2	▼ 3.5
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下) (n=215)		215	△ 82.3	10.2	17.7	22.3	3.7	3.3	-	▼ 2.3
	息子・娘との2世帯 (n=633)		633	53.2	△ 59.6	14.7	19.1	2.5	3.2	0.3	10.0
	その他 (n=681)		681	▼ 42.0	△ 37.6	14.1	△ 41.1	4.1	5.0	1.3	10.9

●問7.5 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。
(いくつでも○)

【全体】

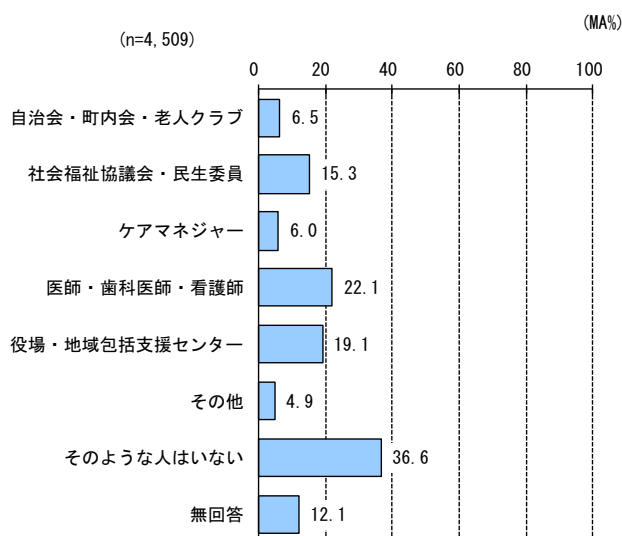
- 何かあったときの相談相手について、「そのような人はいない」が 36.6%で最も多く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が 22.1%、「役場・地域包括支援センター」が 19.1%となっています。

【性・年齢】

- 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「そのような人はいない」が多くなっています。
○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「社会福祉協議会・民生委員」が多くなっています。
○ 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「そのような人はいない」が多くなっています。
○ 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「社会福祉協議会・民生委員」が多くなっています。

【地区】

- 「社会福祉協議会・民生委員」は十和が 22.1%と他の区分に比べて多くなっています。
○ 「役場・地域包括支援センター」は窪川が 17.2%と他の区分に比べて少なくなっています。



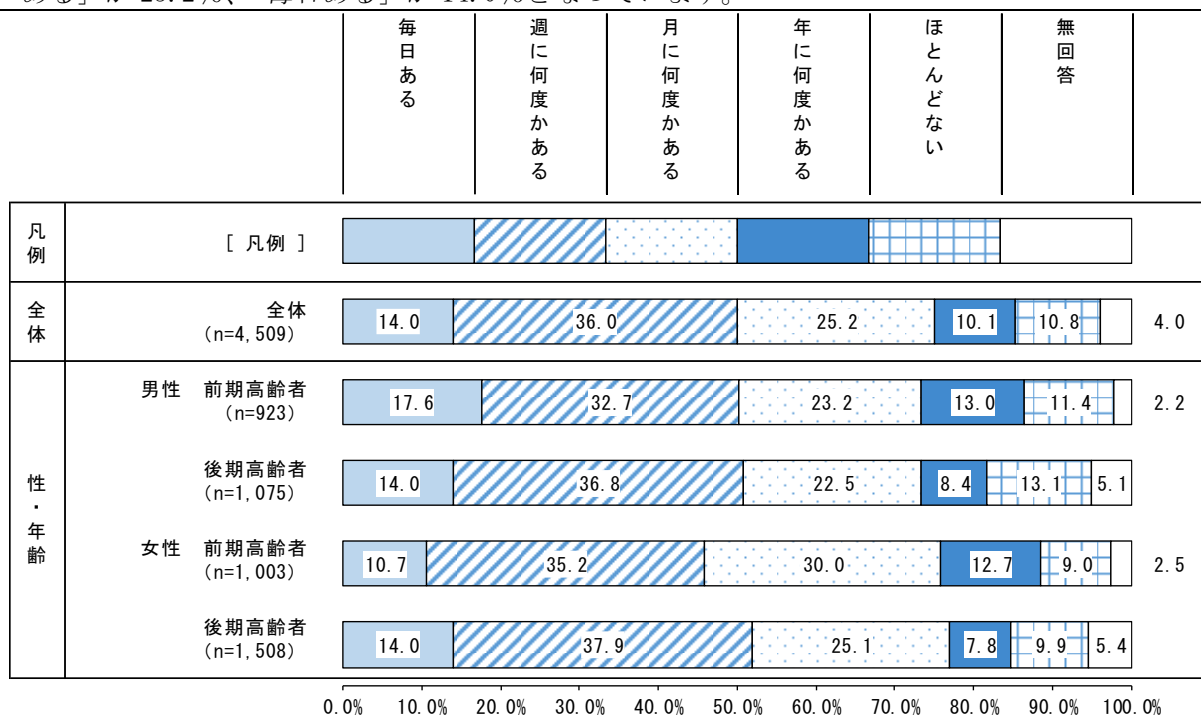
単位：%

		母数	何かあったときの相談相手 (MA)							
			老自治会・町内会・クラブ	民生社会福祉協議会・委員	ケアマネジャー	看護師・医師・歯科医師	役場・地域包括支援センター	その他	いそのような人はいない	無回答
全体 (n=4,509)		4,509	6.5	15.3	6.0	22.1	19.1	4.9	36.6	12.1
性・年齢	男性 前期高齢者 (n=923)	923	8.5	10.3	4.0	19.5	15.0	5.3	△ 48.2	6.6
	後期高齢者 (n=1,075)	1,075	8.1	15.6	3.9	23.3	18.4	4.5	34.1	13.2
	女性 前期高齢者 (n=1,003)	1,003	3.7	14.0	6.2	21.5	19.2	5.6	42.4	9.5
	後期高齢者 (n=1,508)	1,508	5.9	19.2	8.6	23.2	21.9	4.4	27.5	16.3
地区	窪川 (n=3,063)	3,063	6.7	13.3	6.1	21.7	17.2	5.0	39.2	10.8
	大正 (n=635)	635	8.3	16.5	7.6	25.5	21.9	4.7	29.9	13.5
	十和 (n=811)	811	3.9	22.1	4.2	21.0	23.9	4.6	32.2	15.5

●問7.6 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(1つだけ○)

【全体】

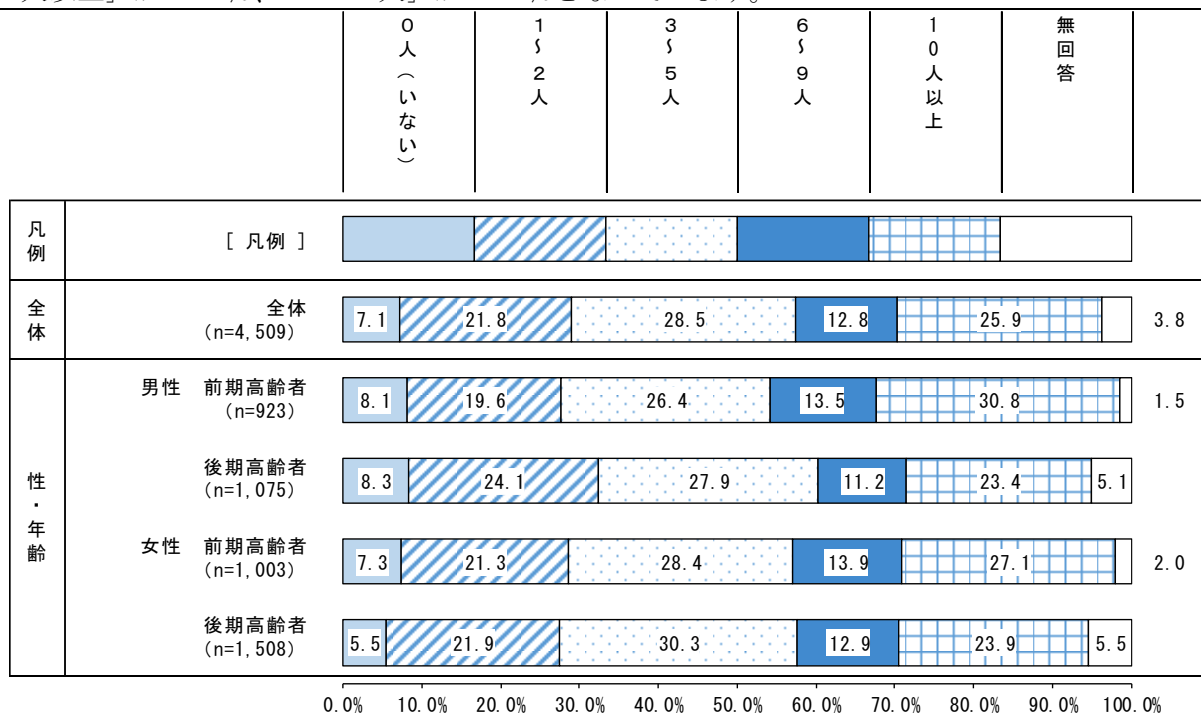
○ 友人・知人と会う頻度について、「週に何度かある」が 36.0%で最も多く、次いで「月に何度かある」が 25.2%、「毎日ある」が 14.0%となっています。



●問7.7 この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。(1つだけ○)

【全体】

○ この1か月間で会った友人・知人の数について、「3～5人」が 28.5%で最も多く、次いで「10人以上」が 25.9%、「1～2人」が 21.8%となっています。



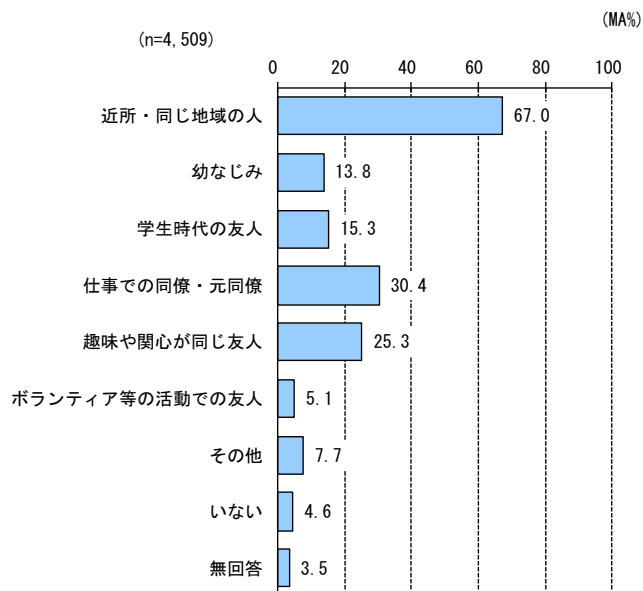
●問7.8 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(いくつでも○)

【全体】

- よく会う友人・知人との関係について、「近所・同じ地域の人」が 67.0%で最も多く、次いで「仕事での同僚・元同僚」が 30.4%、「趣味や関心が同じ友人」が 25.3%となっています。

【地区】

- 「近所・同じ地域の人」は十和が 76.2%と他の区分に比べて多くなっています。
○ 「趣味や関心が同じ友人」は窪川が 27.2%と他の区分に比べて多くなっています。



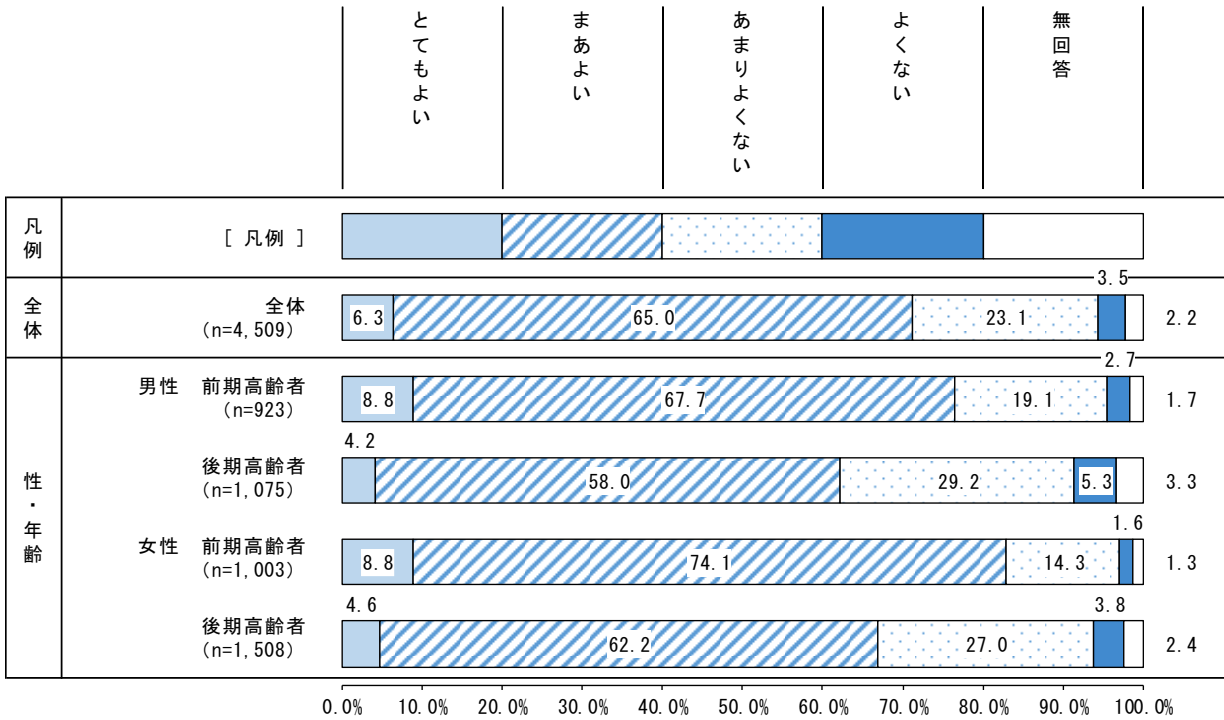
単位：%

		母数	よく会う友人・知人との関係(MA)								単位：%
			近所・同じ地域の人	幼なじみ	学生時代の友人	仕事での同僚・元同僚	趣味や関心が同じ友人	ボランティア等の活動での友人	その他	いない	無回答
全体 (n=4,509)		4,509	67.0	13.8	15.3	30.4	25.3	5.1	7.7	4.6	3.5
性・年齢	男性 前期高齢者 (n=923)	923	62.8	15.6	18.3	△ 41.0	29.5	4.2	8.2	5.0	2.3
	後期高齢者 (n=1,075)	1,075	66.0	15.0	13.5	20.5	26.6	3.3	6.6	5.7	5.2
	女性 前期高齢者 (n=1,003)	1,003	62.0	13.5	20.9	△ 44.7	26.6	7.1	8.4	3.5	1.6
	後期高齢者 (n=1,508)	1,508	73.6	12.2	11.1	21.6	21.1	5.5	7.7	4.2	4.4
地区	窪川 (n=3,063)	3,063	64.0	14.1	16.5	31.1	27.2	5.1	8.2	5.0	3.3
	大正 (n=635)	635	69.9	13.1	14.0	29.4	23.3	7.4	6.8	3.5	3.8
	十和 (n=811)	811	76.2	13.3	12.1	28.5	19.9	3.0	6.4	3.8	4.4

8. 健康について

●問8.1 現在のあなたの健康状態はいかがですか。（１つだけ○）

【全体】
○ 主観的健康感について、「まあよい」が 65.0%で最も多く、次いで「あまりよくない」が 23.1%、「とてもよい」が 6.3%となっています。



●問8.2 あなたは、現在どの程度幸せですか。(1つだけ○)

【全体】

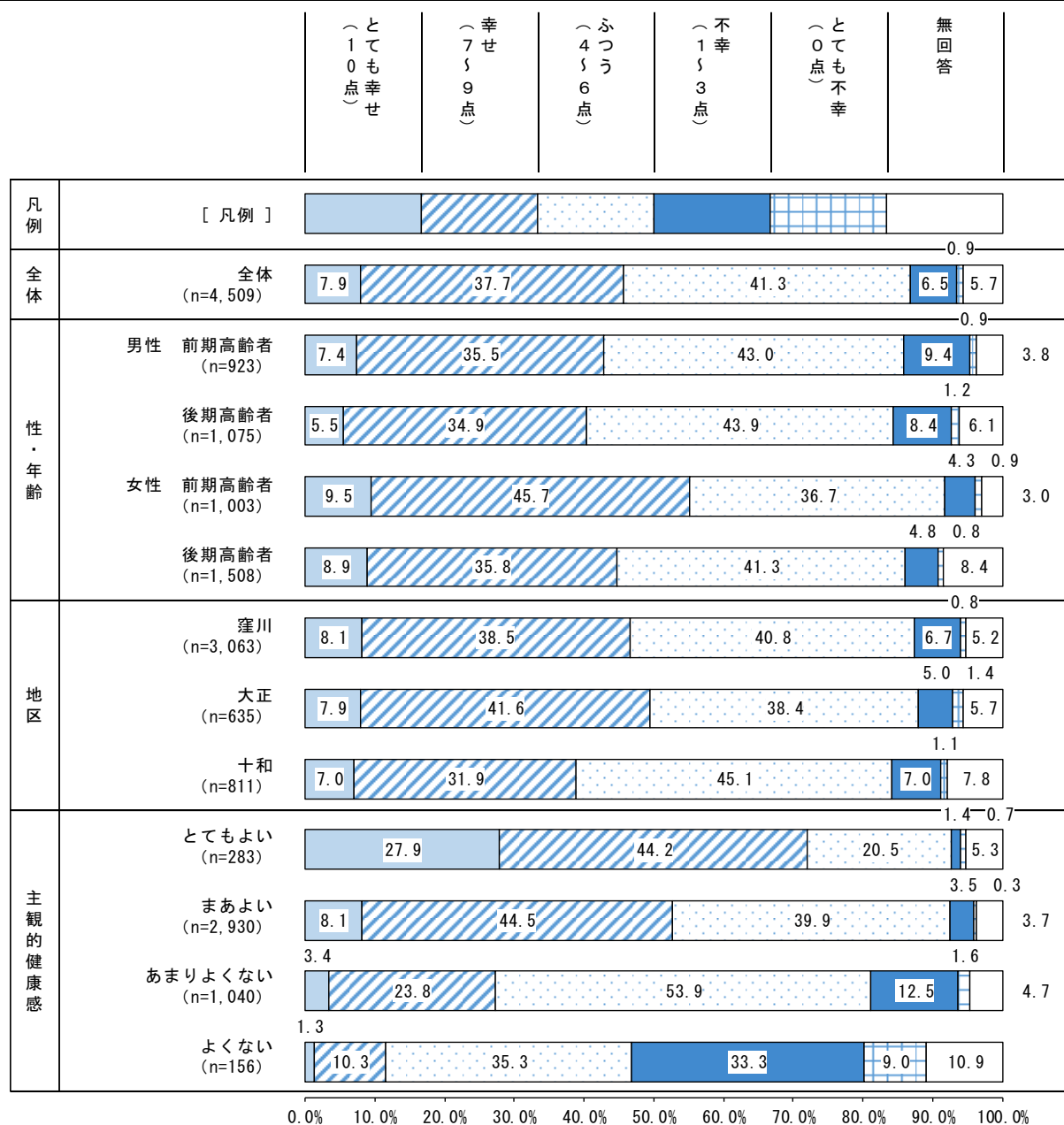
- 幸福感について、「ふつう（4～6点）」が41.3%で最も多く、次いで「幸せ（7～9点）」が37.7%、「とても幸せ（10点）」が7.9%となっています。

【性・年齢】

- 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「不幸（1～3点）」が多くなっています。
○ 「幸せ（7～9点）」は女性の前期高齢者が45.7%と他の区分に比べて多くなっています。

【主観的健康感】

- 主観的健康感がよくないほど「とても幸せ（10点）」が少なくなる傾向がみられます。
○ 「幸せ（7～9点）」はとてもよいが44.2%、まあよいが44.5%と他の区分に比べて多くなっています。



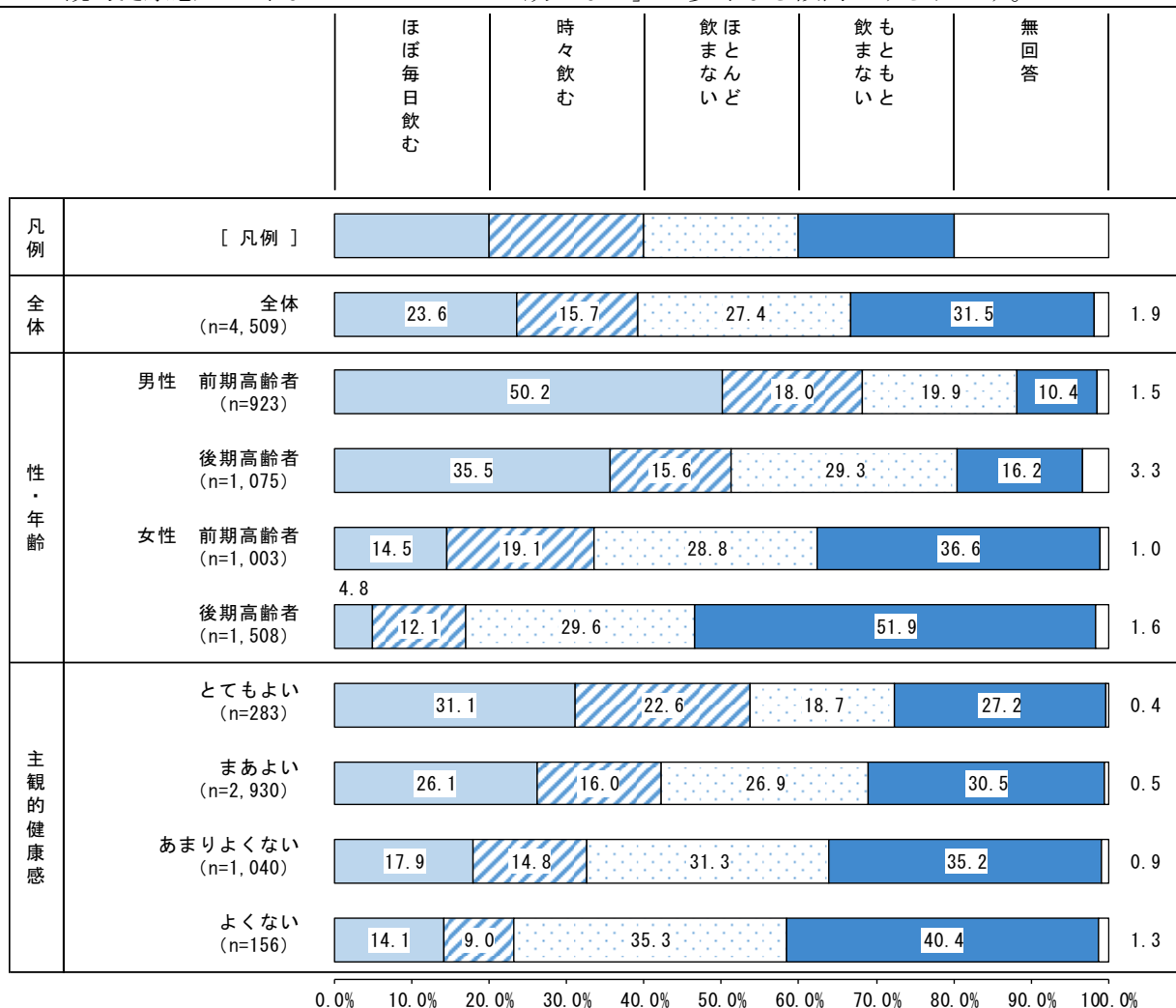
●問8.5 お酒は飲みますか。(1つだけ○)

【全体】

- 飲酒の状況について、「もともと飲まない」が 31.5%で最も多く、次いで「ほとんど飲まない」が 27.4%、「ほぼ毎日飲む」が 23.6%となっています。

【主観的健康感】

- 主観的健康感がよくないほど「ほとんど飲まない」が多くなる傾向がみられます。



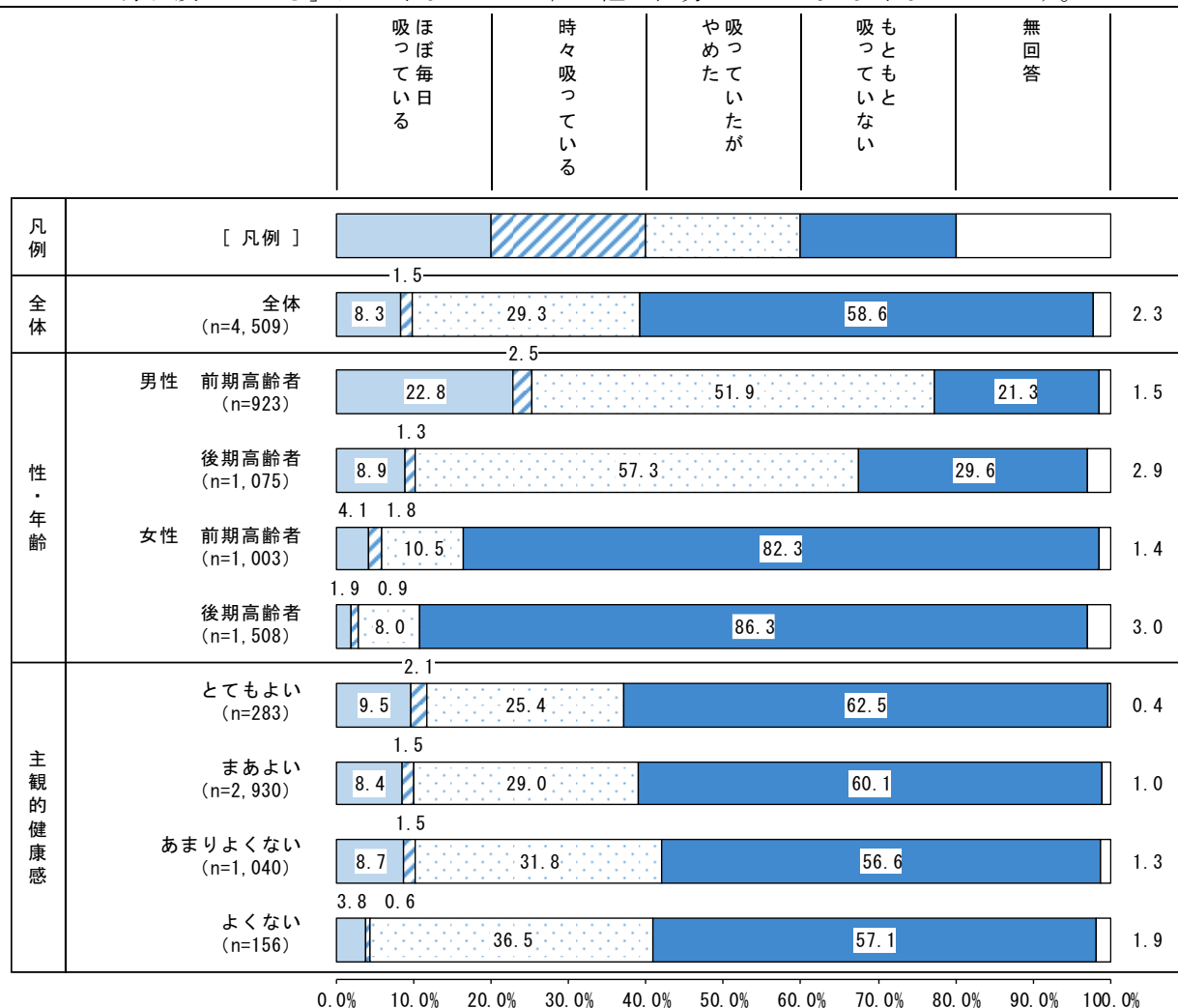
●問8.6 タバコは吸っていますか。(1つだけ○)

【全体】

- 喫煙の状況について、「もともと吸っていない」が 58.6%で最も多く、次いで「吸っていたがやめた」が 29.3%、「ほぼ毎日吸っている」が 8.3%となっています。

【主観的健康感】

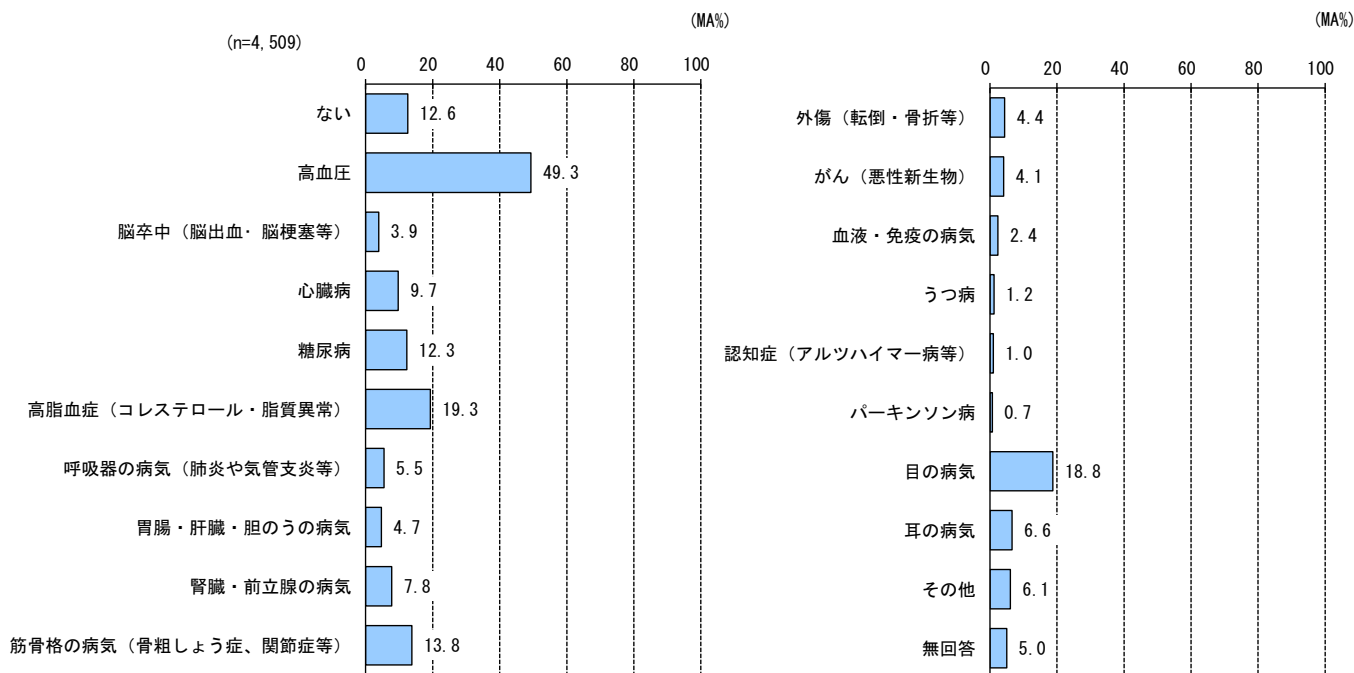
- 「ほぼ毎日吸っている」はよくないが 3.8%と他の区分に比べて少なくなっています。



●問8.7 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(いくつでも○)

【全体】

- 現在治療中、または後遺症のある病気について、「高血圧」が 49.3%で最も多く、次いで「高脂血症（コレステロール・脂質異常）」が 19.3%、「目の病気」が 18.8%となっています。



単位：%

			母数	現在治療中、または後遺症のある病気 (MA)									
				ない	高血圧	脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	脂質異常 (コレステロール・脂質異常)	高脂血症 (呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等))	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)
全体 (n=4,509)			4,509	12.6	49.3	3.9	9.7	12.3	19.3	5.5	4.7	7.8	13.8
性・年齢	男性	前期高齢者 (n=923)	923	19.0	49.8	4.2	7.6	13.2	14.7	5.2	5.4	9.2	6.5
		後期高齢者 (n=1,075)	1,075	7.4	52.3	6.6	16.0	17.3	11.0	7.5	4.4	△ 18.8	8.5
	女性	前期高齢者 (n=1,003)	1,003	20.9	▼ 36.6	1.4	3.4	8.0	24.1	4.1	4.3	2.2	15.0
		後期高齢者 (n=1,508)	1,508	6.9	55.4	3.4	10.7	11.1	24.7	5.0	4.9	2.7	21.4

単位：%

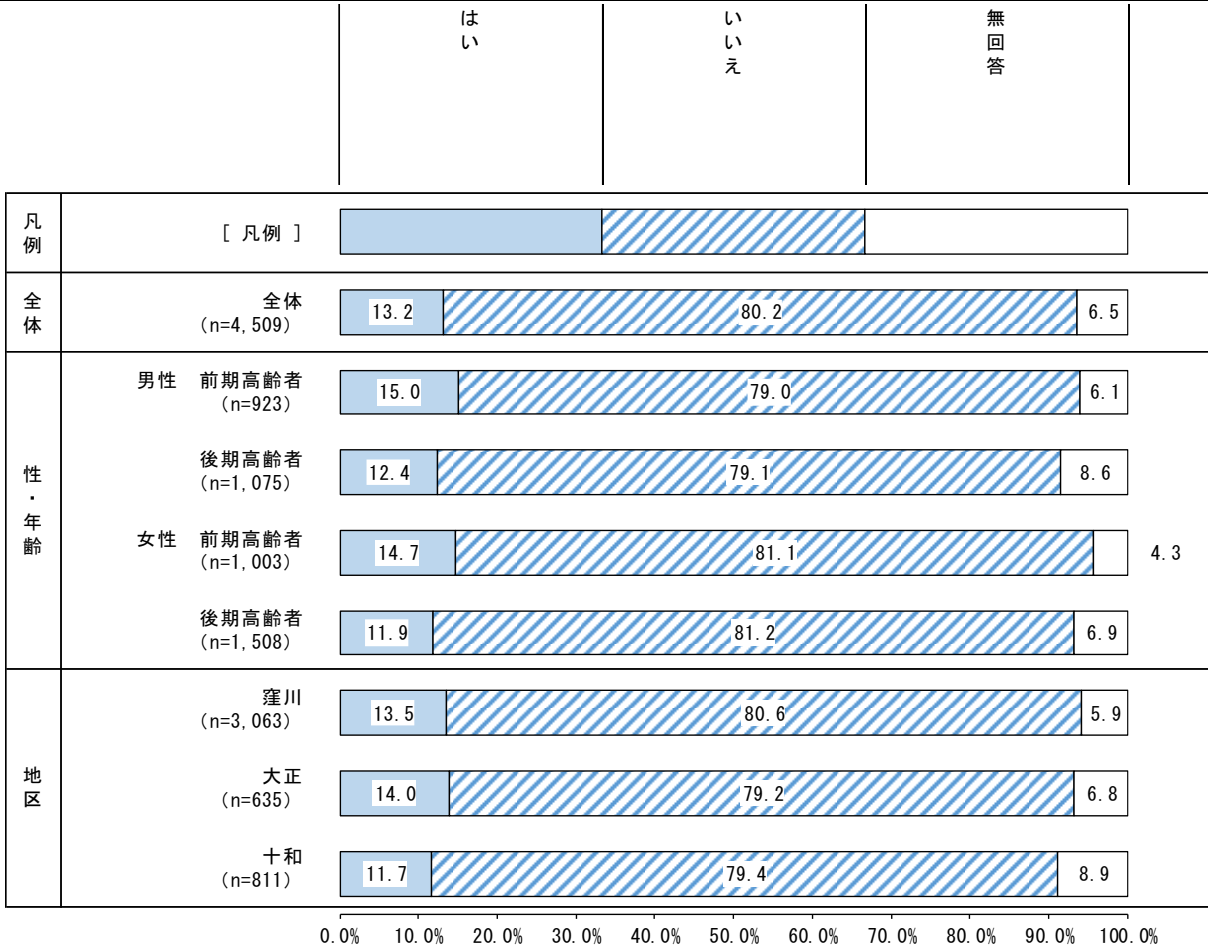
		母数	現在治療中、または後遺症のある病気 (MA)										単位：%
			(外傷・ 転倒・骨折等)	がん(悪性新生物)	血液・免疫の病気	うつ病	認知症(アルツハイマー病等)	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答	
全体 (n=4,509)		4,509	4.4	4.1	2.4	1.2	1.0	0.7	18.8	6.6	6.1	5.0	
性・年齢	男性	前期高齢者 (n=923)	923	2.7	3.7	1.8	1.0	0.5	0.4	12.6	4.1	5.1	4.1
		後期高齢者 (n=1,075)	1,075	3.7	5.6	1.7	0.5	1.1	1.3	20.3	9.0	5.3	6.1
	女性	前期高齢者 (n=1,003)	1,003	2.6	3.6	3.4	1.4	0.4	0.1	16.0	3.1	7.3	5.5
		後期高齢者 (n=1,508)	1,508	7.2	3.6	2.5	1.7	1.5	0.9	23.5	8.7	6.4	4.5

※表内において、**上位1位**、**上位2位**には色付けをしている。また、全体と比べて 10 ポイント以上高い場合には△、10 ポイント以上低い場合には▼の記号を付けている。以下同様。

9. 認知症にかかる相談窓口の把握について

●問9.1 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。
(1つだけ○)

【全体】
○ 認知症の症状がある、または家族に認知症の症状があるかについて、「はい」が 13.2%、「いいえ」が 80.2%となっています。



●問9.2 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(1つだけ○)

【全体】

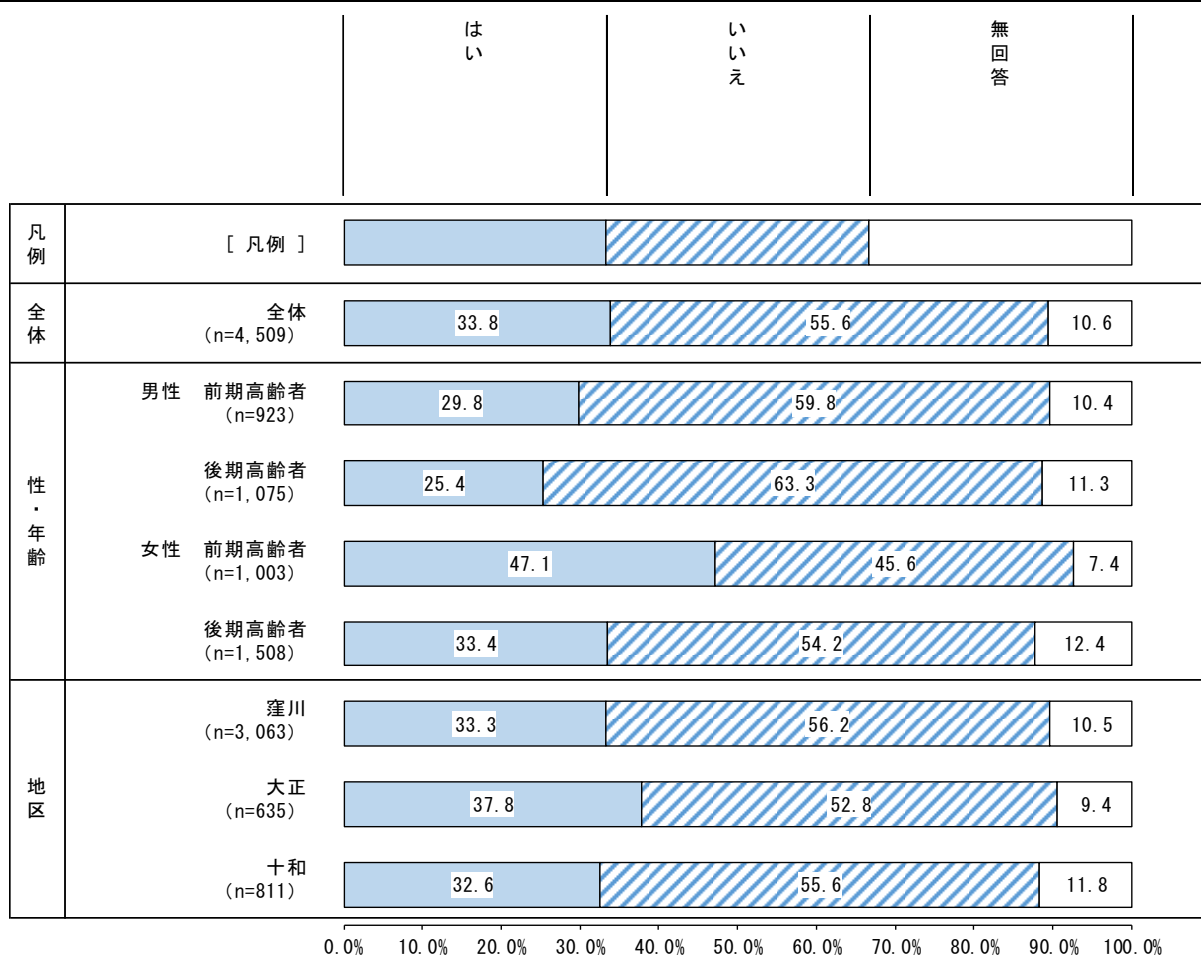
- 認知症に関する相談窓口の認知度について、「はい」が 33.8%、「いいえ」が 55.6%となっています。

【性・年齢】

- 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「いいえ」が多くなっています。

【地区】

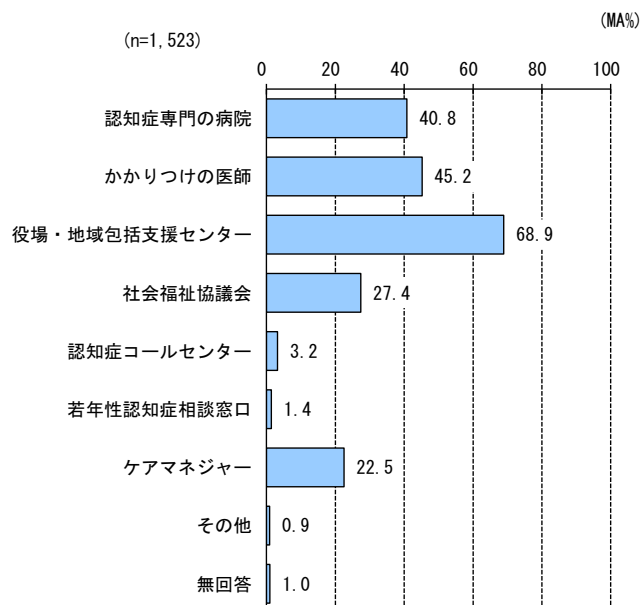
- 「はい」は大正が 37.8%と他の区分に比べて多くなっています。



●問9.2-1 認知症の相談窓口として、知っているのはどれですか。(いくつでも○)

【全体】

- 知っている認知症の相談窓口について、「役場・地域包括支援センター」が 68.9%で最も多く、次いで「かかりつけの医師」が 45.2%、「認知症専門の病院」が 40.8%となっています。



単位：%

			母数	知っている認知症の相談窓口 (MA)								単位：%
				認知症専門の病院	かかりつけの医師	役場・地域包括支援センター	社会福祉協議会	認知症コールセンター	若年性認知症相談窓口	ケアマネジャー	その他	無回答
全体 (n=1,523)			1,523	40.8	45.2	68.9	27.4	3.2	1.4	22.5	0.9	1.0
性・年齢	男性	前期高齢者 (n=275)	275	38.2	35.3	65.1	28.0	1.5	0.7	21.5	1.1	0.4
		後期高齢者 (n=273)	273	36.3	52.4	▼ 57.9	20.9	2.6	0.4	18.7	0.4	1.8
	女性	前期高齢者 (n=472)	472	46.8	41.3	77.3	36.9	4.0	1.7	28.2	0.4	0.8
		後期高齢者 (n=503)	503	39.0	50.3	69.0	21.9	3.6	2.0	19.9	1.4	1.0

※表内において、**上位1位**、**上位2位**には色付けをしている。また、全体と比べて 10 ポイント以上高い場合には△、10 ポイント以上低い場合には▼の記号を付けている。以下同様。

10. 四万十町独自設問－認知症観について

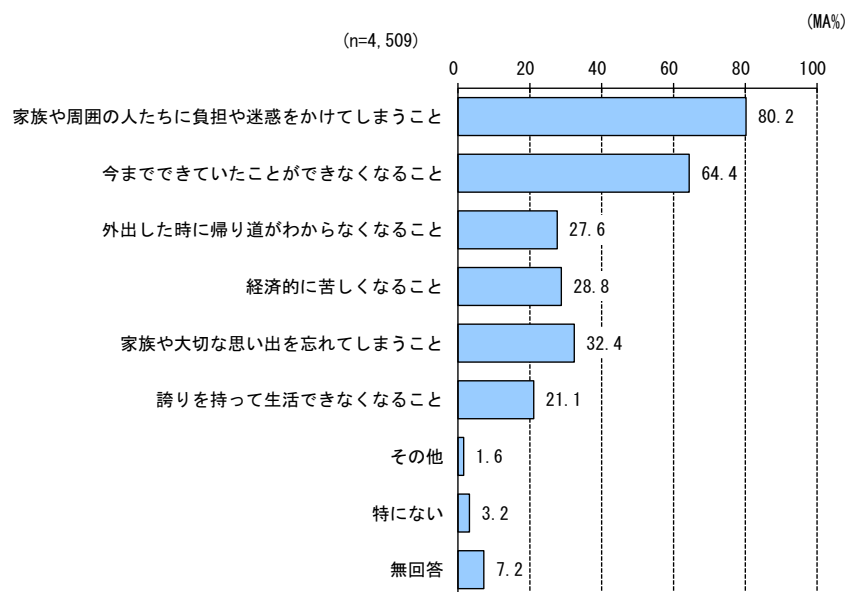
●問10.1 もしも認知症になった場合の不安は、次のうちどれですか。(いくつでも○)

【全体】

- 認知症になった場合の不安について、「家族や周囲の人たちに負担や迷惑をかけてしまうこと」が 80.2%で最も多く、次いで「今までできていたことができなくなること」が 64.4%、「家族や大切な思い出を忘れてしまうこと」が 32.4%となっています。

【性・年齢】

- 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「家族や周囲の人たちに負担や迷惑をかけてしまうこと」が多くなっています。
- 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「今までできていたことができなくなること」が多くなっています。



単位：%

単位：%

		母数	認知症になった場合の不安 (MA)								
			迷惑を 家族や周囲 の人たちに 負担や かけてしま うこと	今までで できていた ことができ なくなること	外出した 時に帰り 道がわから なくなること	経済的に 苦しくなる こと	家族や大 切な思い出 を忘れて しまうこと	誇りを持 って生活 できなくな ること	その他	特にない	無回答
全体 (n=4,509)		4,509	80.2	64.4	27.6	28.8	32.4	21.1	1.6	3.2	7.2
性・年齢	男性 前期高齢者 (n=923)	923	79.1	59.5	23.9	31.7	26.5	17.1	1.3	4.7	6.7
	後期高齢者 (n=1,075)	1,075	75.8	57.6	23.4	25.2	28.3	20.7	1.1	4.1	9.2
	女性 前期高齢者 (n=1,003)	1,003	87.4	72.2	33.1	31.8	37.4	22.0	1.8	1.8	3.4
	後期高齢者 (n=1,508)	1,508	79.3	67.2	29.1	27.7	35.7	23.2	2.0	2.7	8.6

※表内において、**上位1位**、**上位2位**には色付けをしている。また、全体と比べて 10 ポイント以上高い場合には△、10 ポイント以上低い場合には▼の記号を付けている。以下同様。

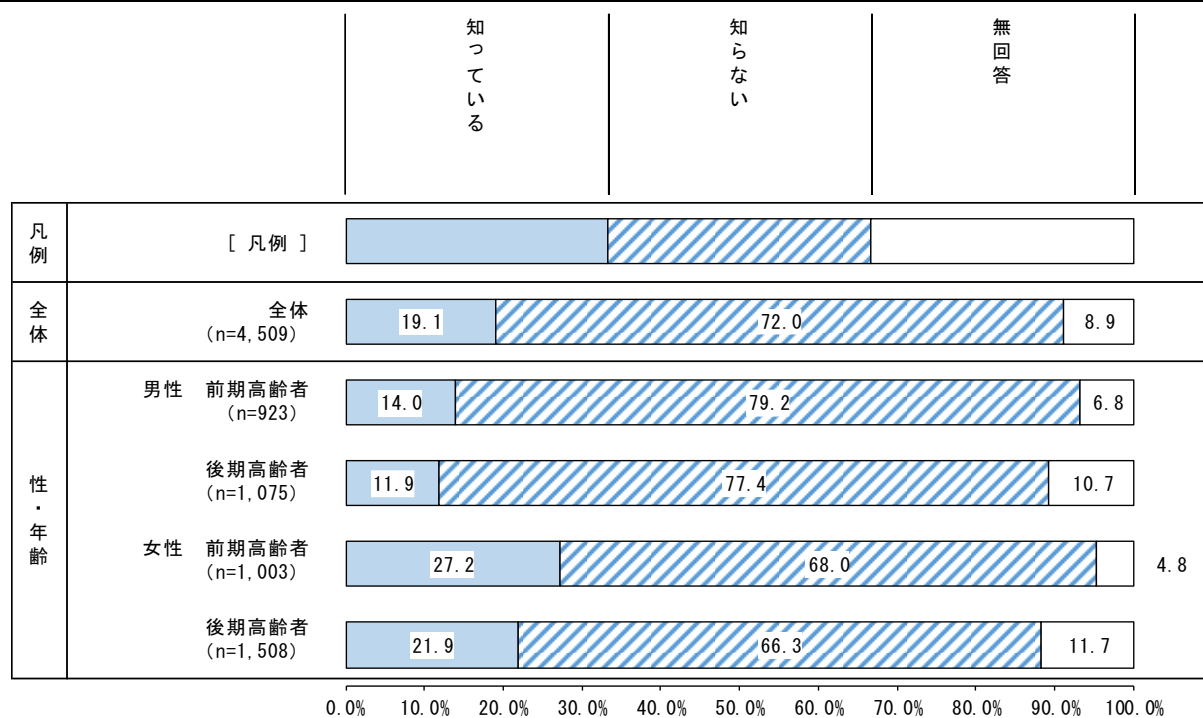
●問10.2 「新しい認知症観」を知っていますか。(1つだけ○)

【全体】

- 「新しい認知症観」を知っているかについて、「知っている」が 19.1%、「知らない」が 72.0% となっています。

【性・年齢】

- 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「知っている」が多くなっています。



●問10.3 認知症になっても、自分らしく暮らし続けるためには、どのような施策があればよいと思いますか。(いくつでも○)

【全体】

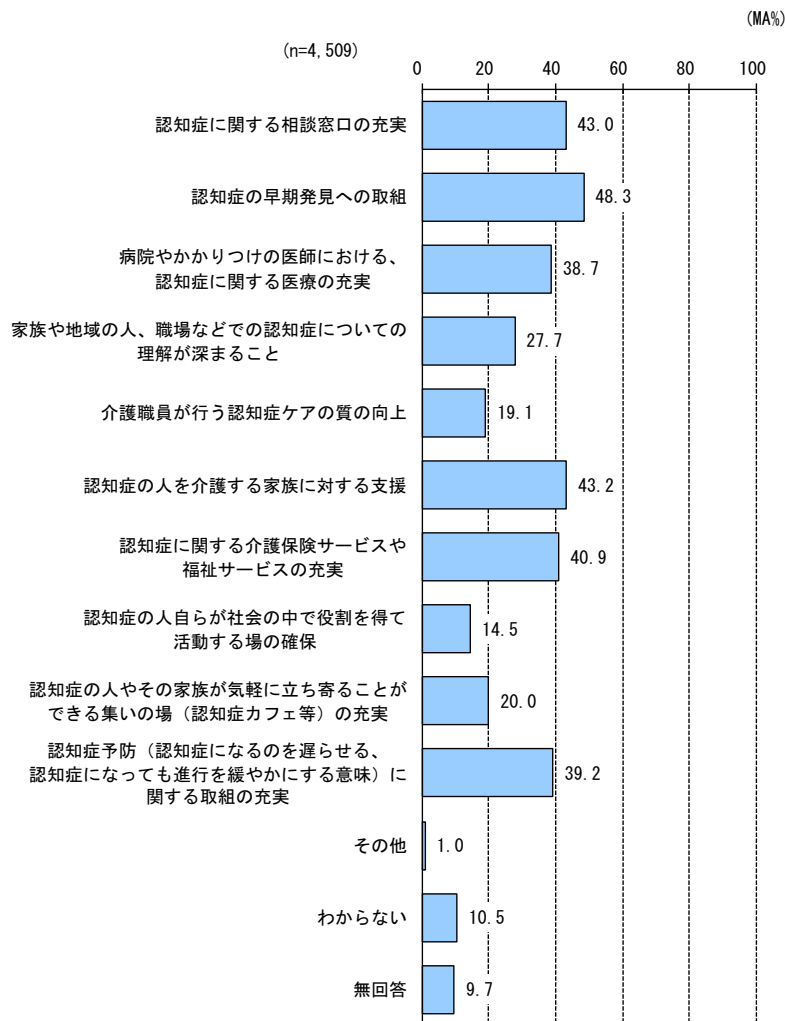
- 認知症になっても、自分らしく暮らし続けるために必要な施策について、「認知症の早期発見への取組」が 48.3%で最も多く、次いで「認知症の人を介護する家族に対する支援」が 43.2%、「認知症に関する相談窓口の充実」が 43.0%となっています。

【性・年齢】

- 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「認知症の人を介護する家族に対する支援」が多くなっています。
- 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「家族や地域の人、職場などでの認知症についての理解が深まること」が多くなっています。

【地区】

- 「認知症の人自らが社会の中で役割を得て活動する場の確保」は大正が 17.3%と他の区分に比べて多くなっています。



単位：％

		母数	認知症になっても、自分らしく暮らし続けるために必要な施策(MA)						
			認知症に関する相談窓口の充実	認知症の早期発見への取組	病院やかかりつけの医師における、認知症に関する医療の充実	家族や地域の人の、職場などでの認知症についての理解が深まること	介護職員が行う認知症ケアの質の向上	認知症の人を介護する家族に対する支援	福祉サービスに関する介護保険サービスや認知症に関する介護保険サービスの充実
全体 (n=4,509)		4,509	43.0	48.3	38.7	27.7	19.1	43.2	40.9
性・年齢	男性 前期高齢者 (n=923)	923	42.0	46.4	36.6	22.9	17.1	40.6	41.4
	後期高齢者 (n=1,075)	1,075	41.2	45.9	37.8	21.7	17.0	35.9	35.6
	女性 前期高齢者 (n=1,003)	1,003	48.4	53.9	42.1	37.4	24.1	△ 54.6	50.3
	後期高齢者 (n=1,508)	1,508	41.3	47.3	38.3	28.6	18.4	42.5	38.0
地区	窪川 (n=3,063)	3,063	43.8	49.6	39.3	27.7	19.6	43.1	40.9
	大正 (n=635)	635	42.4	47.9	39.4	26.8	18.3	43.9	40.9
	十和 (n=811)	811	40.6	43.6	35.8	28.7	17.8	43.4	40.7

単位：％

		母数	認知症になっても、自分らしく暮らし続けるために必要な施策(MA)					
			認知症の予防・早期発見・認知症の人の生活の質の向上	認知症の人の生活の質の向上	認知症の人の生活の質の向上	認知症の人の生活の質の向上	認知症の人の生活の質の向上	認知症の人の生活の質の向上
全体 (n=4,509)		4,509	14.5	20.0	39.2	1.0	10.5	9.7
性・年齢	男性 前期高齢者 (n=923)	923	13.4	14.6	35.2	0.9	12.7	7.9
	後期高齢者 (n=1,075)	1,075	10.4	15.6	32.1	0.8	12.2	12.0
	女性 前期高齢者 (n=1,003)	1,003	22.6	27.2	48.0	1.3	6.0	5.4
	後期高齢者 (n=1,508)	1,508	12.8	21.8	41.0	0.9	11.0	11.9
地区	窪川 (n=3,063)	3,063	14.3	20.5	40.0	1.0	10.2	9.4
	大正 (n=635)	635	17.3	20.5	37.3	0.6	11.2	8.5
	十和 (n=811)	811	13.4	18.0	38.0	1.2	11.3	11.7

●問10.4 四万十町は、認知症になっても自分らしく暮らし続けられるところだと思いますか。（1つだけ○）

【全体】

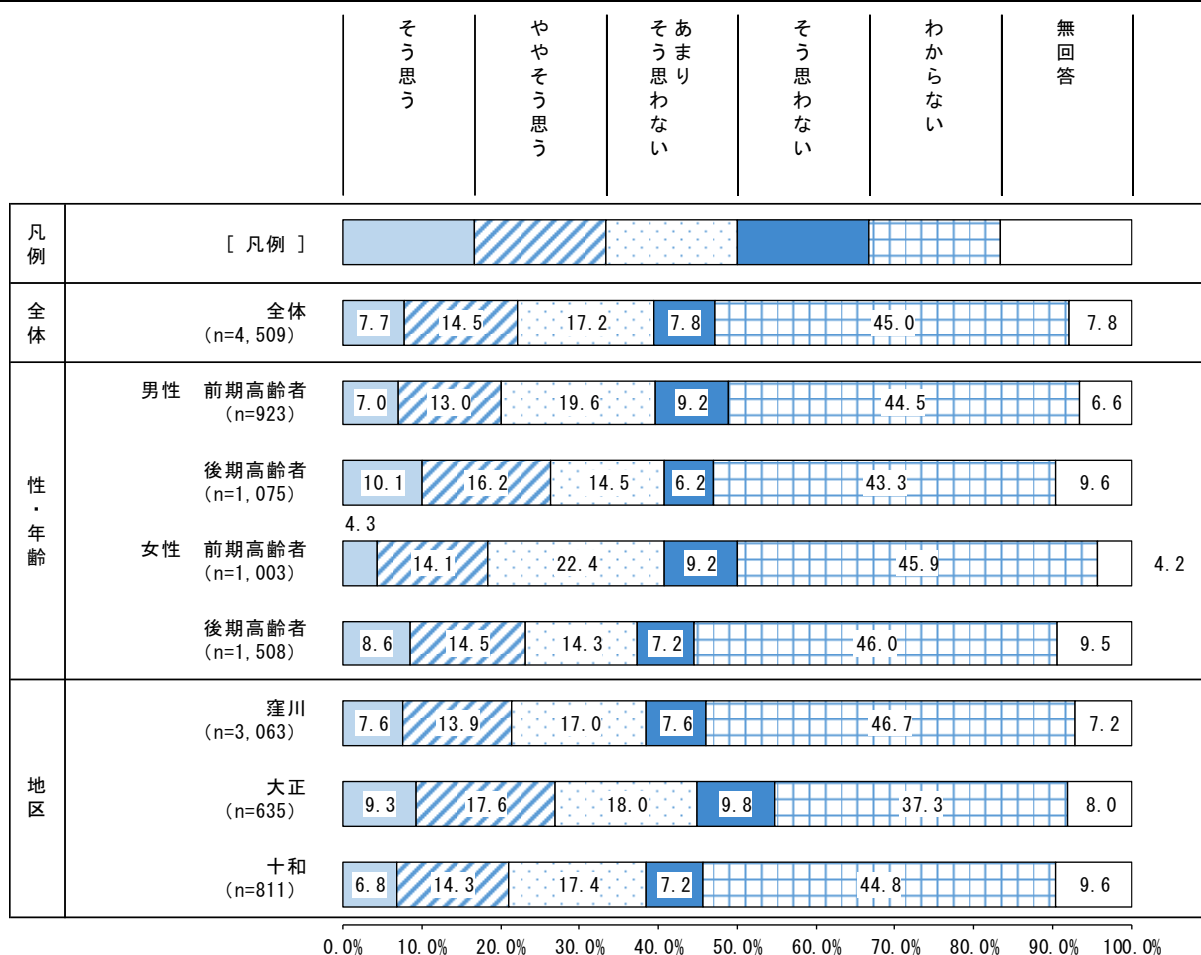
- 四万十町は、認知症になっても自分らしく暮らし続けられるところだと思うかについて、「わからない」が 45.0%で最も多く、次いで「あまりそう思わない」が 17.2%、「ややそう思う」が 14.5%となっています。

【性・年齢】

- 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「そう思う」、「ややそう思う」が多くなっています。

【地区】

- 「そう思う」、「ややそう思う」は大正が他の区分に比べて多くなっています。



11. 四万十町独自設問－その他

●問11.1 歯科への定期受診をしていますか。(1つだけ○)

【全体】

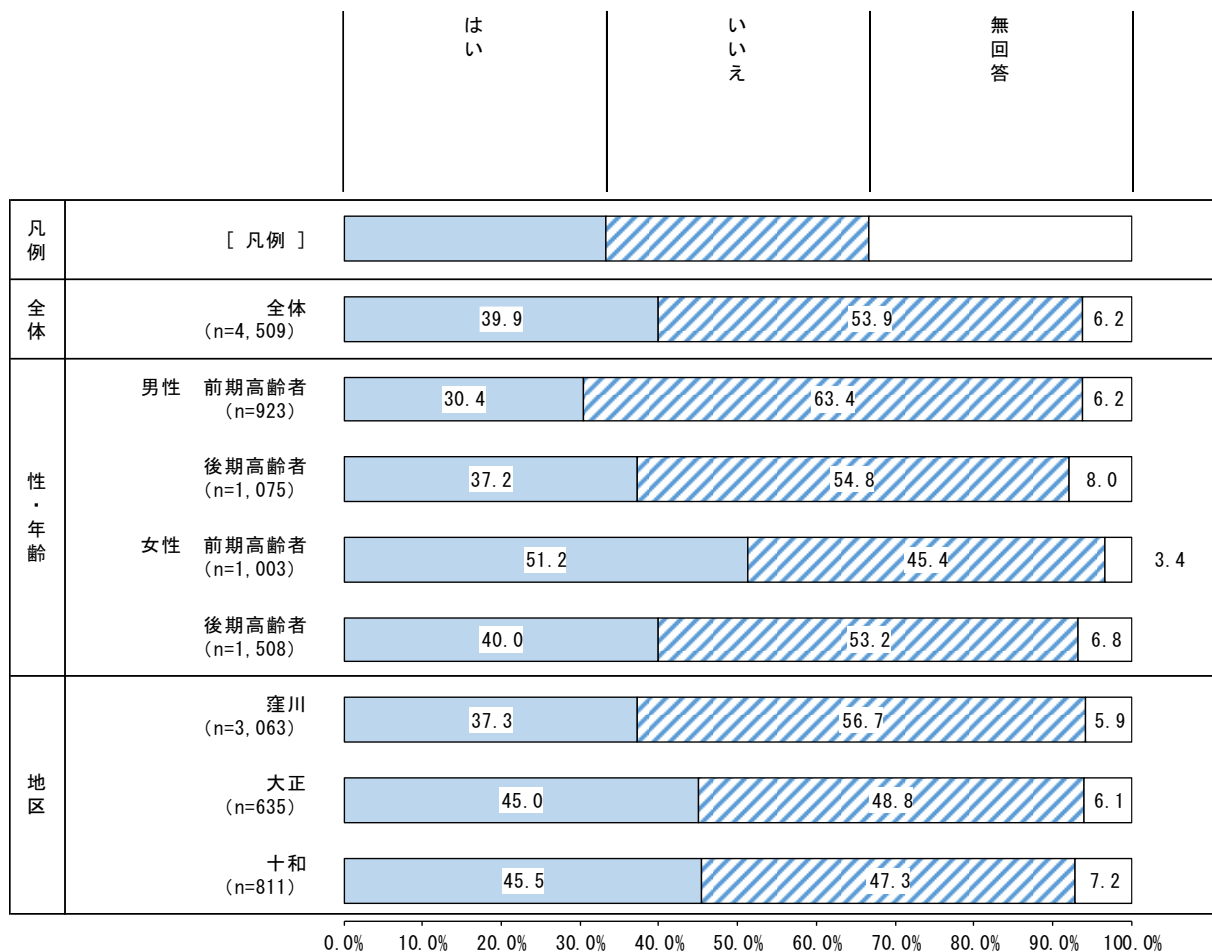
- 歯科への定期受診をしているかについて、「はい」が 39.9%、「いいえ」が 53.9%となっています。

【性・年齢】

- 「はい」は女性の前期高齢者が 51.2%と他の区分に比べて多くなっています。

【地区】

- 「はい」は窪川が 37.3%と他の区分に比べて少なくなっています。



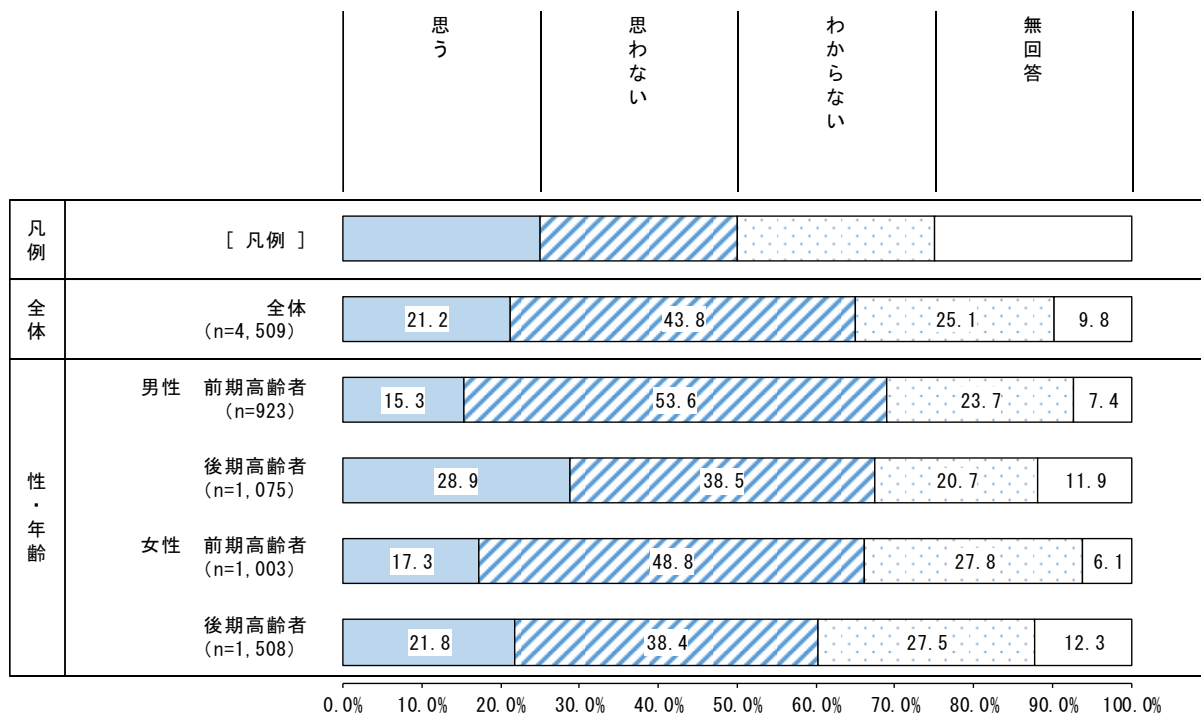
●問11.2 耳が聞こえにくいために、日常生活に不便を感じることから、補聴器を使用したいと思いますか。(1つだけ○)

【全体】

- 耳が聞こえにくいために、日常生活に不便を感じることから、補聴器を使用したいと思うかについて、「思わない」が43.8%で最も多く、次いで「わからない」が25.1%、「思う」が21.2%となっています。

【性・年齢】

- 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「思う」が多くなっています。



●問11.3 何歳からでも筋力を維持したり回復させることができますか。

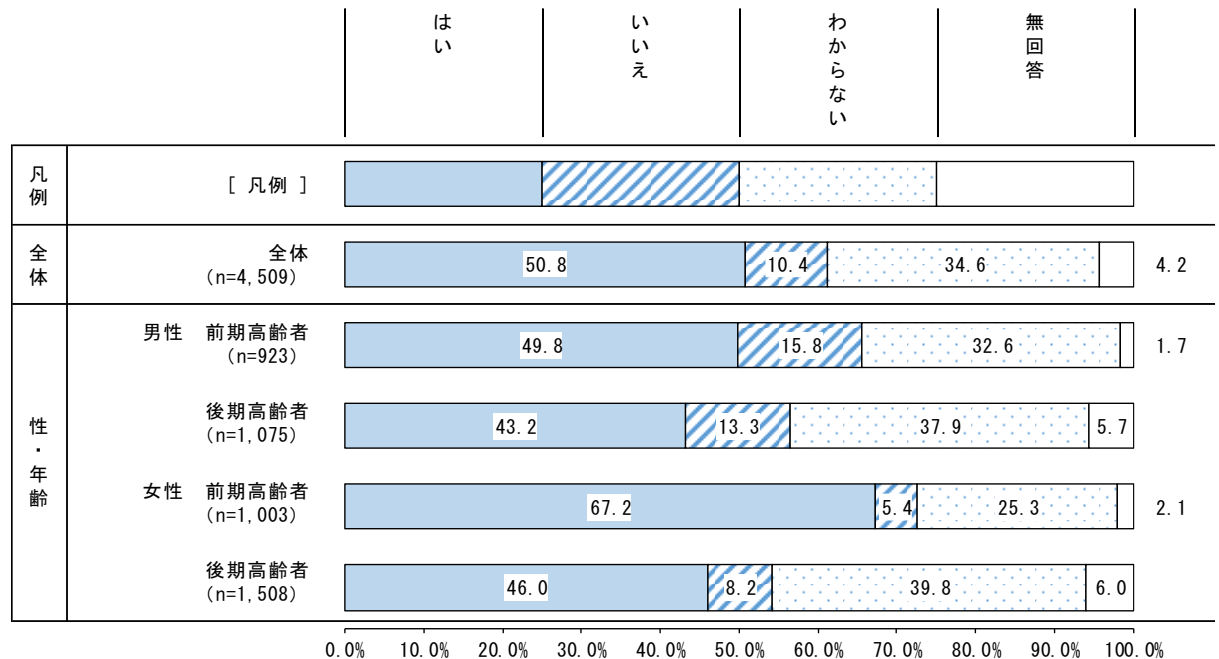
(1つだけ○)

【全体】

- 何歳からでも筋力を維持したり回復させることができると思うかについて、「はい」が 50.8%で最も多く、次いで「わからない」が 34.6%、「いいえ」が 10.4%となっています。

【性・年齢】

- 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「はい」が多くなっています。



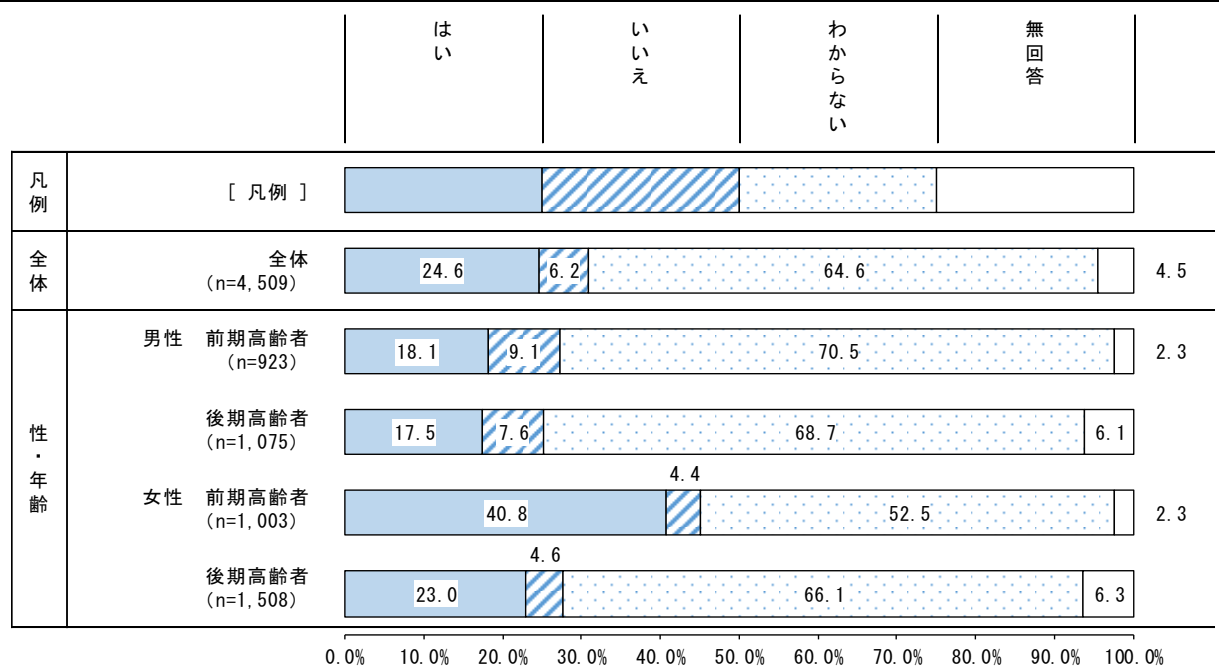
●問11.4 口の動きが悪くなることと肺炎は関係があると思いますか。

【全体】

- 口の動きが悪くなることと肺炎は関係があると思うかについて、「わからない」が 64.6%で最も多く、次いで「はい」が 24.6%、「いいえ」が 6.2%となっています。

【性・年齢】

- 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「はい」が多くなっています。



●問11.5 在宅生活続けるために近所の人等に手助けしてもらいたいことは何ですか。
(いくつでも○)

【全体】

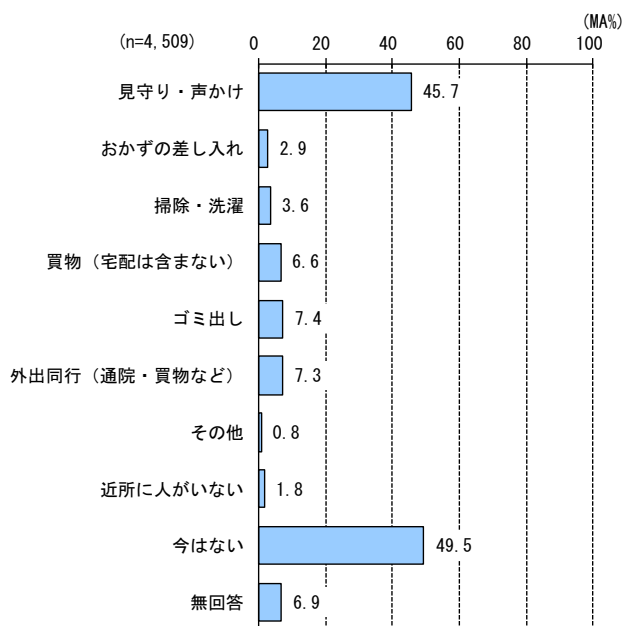
- 在宅生活続けるために近所の人等に手助けをしてもらいたいことについて、「今はない」が 49.5%で最も多く、次いで「見守り・声かけ」が 45.7%、「ゴミ出し」が 7.4%となっています。

【性・年齢】

- 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「見守り・声かけ」が多くなっています。
○ 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「見守り・声かけ」が多くなっています。

【地区】

- 「見守り・声かけ」は大正が 50.7%と他の区分に比べて多くなっています



単位：%

		母数	在宅生活続けるために近所の人等に手助けをしてもらいたいこと (MA)										単位: %
			見守り・声かけ	おかずの差し入れ	掃除・洗濯	買物 (宅配は含まない)	ゴミ出し	外出同行 (通院・買物など)	その他	近所に人がいない	今はない	無回答	
全体 (n=4,509)		4,509	45.7	2.9	3.6	6.6	7.4	7.3	0.8	1.8	49.5	6.9	
性・年齢	男性 前期高齢者 (n=923)	923	36.1	2.2	3.7	5.5	6.2	5.6	0.5	1.5	△ 63.2	3.7	
	後期高齢者 (n=1,075)	1,075	47.5	3.3	4.7	6.6	5.9	6.5	1.1	2.0	45.6	9.1	
	女性 前期高齢者 (n=1,003)	1,003	42.3	2.0	2.2	7.0	6.7	7.5	0.4	1.5	55.1	4.5	
	後期高齢者 (n=1,508)	1,508	52.5	3.6	3.7	7.0	9.7	8.8	1.1	2.1	40.1	8.9	
地区	窪川 (n=3,063)	3,063	45.4	2.7	3.4	6.4	7.5	6.6	0.8	1.6	50.8	6.6	
	大正 (n=635)	635	50.7	4.7	4.6	8.0	7.9	9.0	0.8	1.3	45.0	5.7	
	十和 (n=811)	811	42.8	2.1	3.7	6.3	6.7	8.5	0.9	3.0	47.8	8.9	

※表内において、**上位1位**、**上位2位**には色付けをしている。また、全体と比べて 10 ポイント以上高い場合には△、10 ポイント以上低い場合には▼の記号を付けている。以下同様。

●問11.5-1 電球などに取り付けられた装置（センサー）による見守りの仕組みがあれば使用したいですか。（1つだけ○）

【全体】

- 電球などに取り付けられた装置（センサー）による見守りの仕組みがあれば利用したいかについて、「はい」が 40.7%で最も多く、次いで「わからない」が 36.9%、「いいえ」が 15.0%となっています。

【性・年齢】

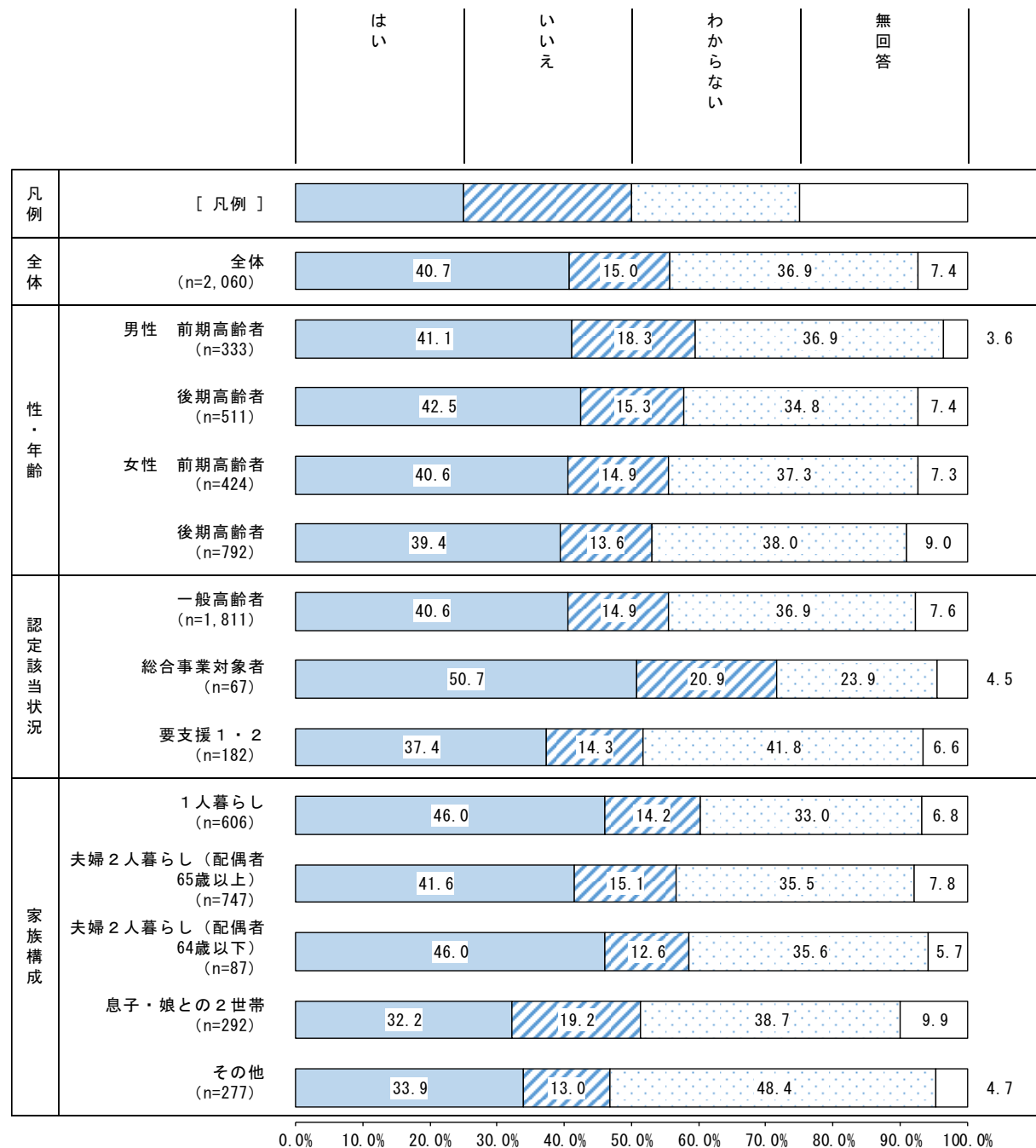
- 「いいえ」は男性の前期高齢者が 18.3%と他の区分に比べて多くなっています。

【認定該当状況】

- 「はい」は総合事業対象者が 50.7%と他の区分に比べて多くなっています。

【家族構成】

- 「いいえ」は息子・娘との2世帯が 19.2%と他の区分に比べて多くなっています。



●問11.6 あなたが近所の人等に定期的に支援できることは何ですか。(いくつでも○)

【全体】

- 近所の人等に定期的に支援できることは何かについて、「見守り・声かけ」が 62.5%で最も多く、次いで「できないことがない」が 21.7%、「ゴミ出し」が 17.1%となっています。

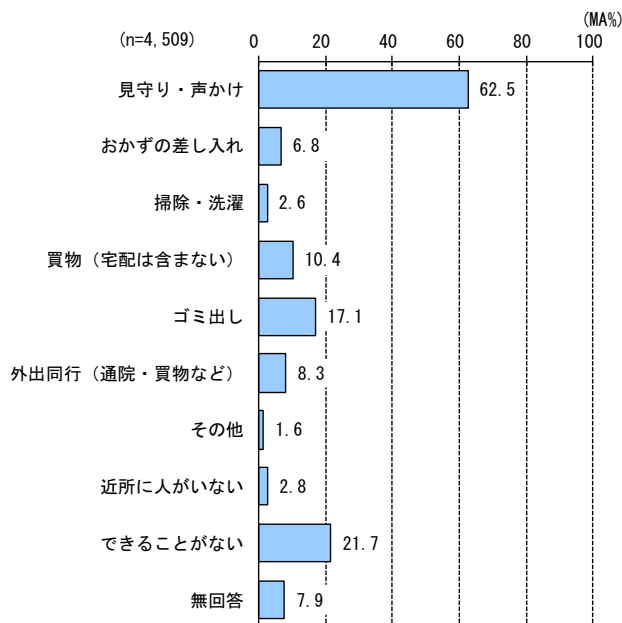
【性・年齢】

男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「見守り・声かけ」「ゴミ出し」が多くなっています。

- 「買物（宅配は含まない）」は女性の前期高齢者が 16.4%と他の区分に比べて多くなっています。

【地区】

- 「見守り・声かけ」は大正が 67.1%と他の区分に比べて多くなっています。
○ 「買物（宅配は含まない）」は窪川が 11.0%と他の区分に比べて多くなっています。



単位：%

			母数	近所の人等に定期的に支援できることは何か (MA)									
				見守り・声かけ	おかずの差し入れ	掃除・洗濯	買物 (宅配は含まない)	ゴミ出し	外出同行 (通院・買物など)	その他	近所に人がいない	できることがない	無回答
全体 (n=4,509)			4,509	62.5	6.8	2.6	10.4	17.1	8.3	1.6	2.8	21.7	7.9
性・年齢	男性	前期高齢者 (n=923)	923	69.3	2.8	2.0	9.8	19.5	9.6	1.2	1.6	20.8	3.9
		後期高齢者 (n=1,075)	1,075	57.0	3.3	2.1	9.3	15.5	9.2	1.8	3.2	24.7	10.0
	女性	前期高齢者 (n=1,003)	1,003	△ 75.0	10.1	3.4	16.4	21.0	8.3	1.6	2.4	13.8	4.0
		後期高齢者 (n=1,508)	1,508	53.8	9.5	2.8	7.6	14.1	7.0	1.7	3.5	25.5	11.4
地区	窪川 (n=3,063)		3,063	62.1	6.7	2.6	11.0	17.4	7.5	1.4	2.9	22.1	7.6
	大正 (n=635)		635	67.1	7.4	3.0	9.1	19.4	10.9	1.6	1.9	20.6	7.1
	十和 (n=811)		811	60.2	6.7	2.3	9.1	14.1	9.4	2.3	3.2	21.0	9.6

●問11.7 あなたは、地域の交流の場（あったかふれあいセンターやサロン等）を知っていますか（参加していますか）。（1つだけ○）

【全体】

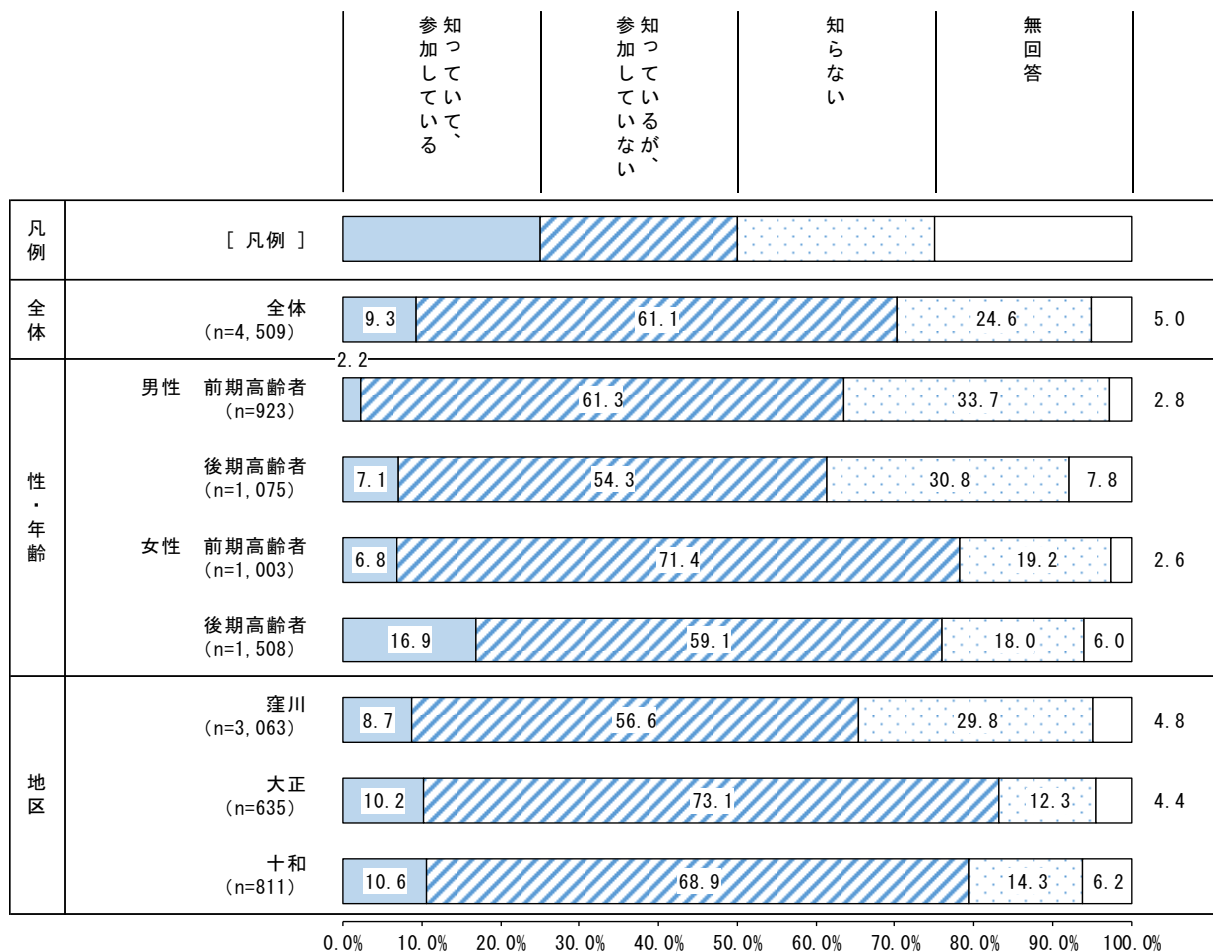
- 地域の交流の場（あったかふれあいセンターやサロン等）を知っているかについて、「知っているが、参加していない」が61.1%で最も多く、次いで「知らない」が24.6%、「知っていて、参加している」が9.3%となっています。

【性・年齢】

- 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「知っていて、参加している」が多くなっています。
○ 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「知っていて、参加している」が多くなっています。

【地区】

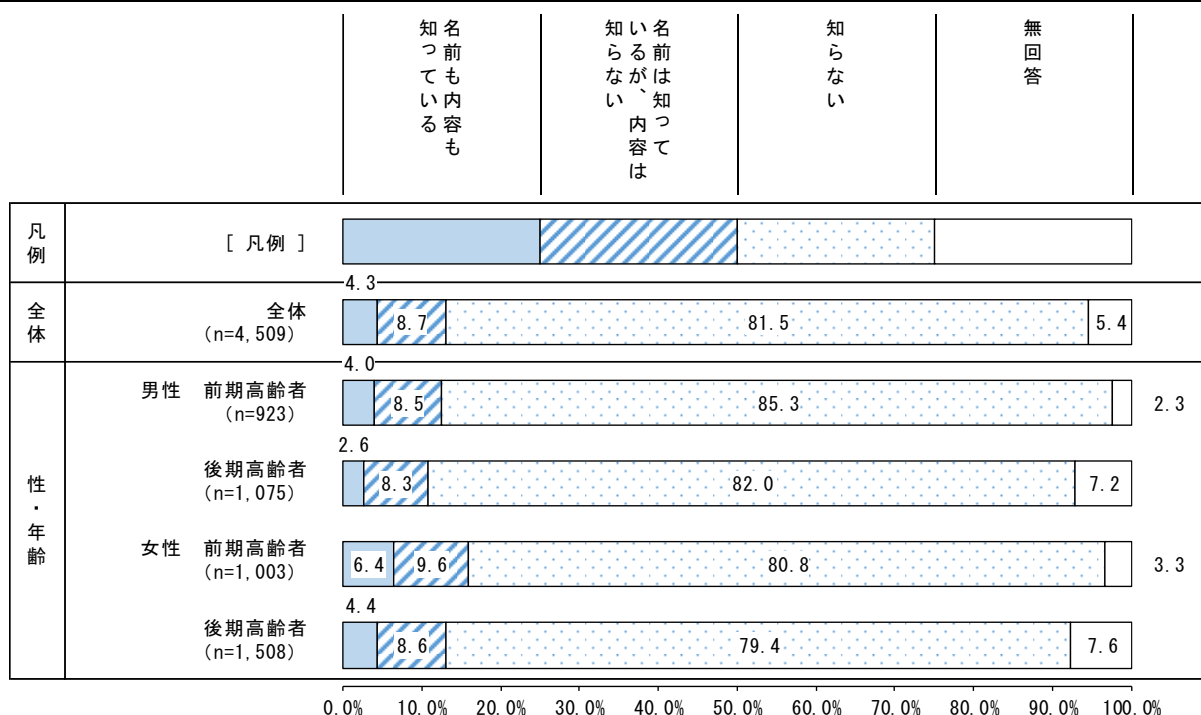
- 「知らない」は窪川が29.8%と他の区分に比べて多くなっています。



●問11.8 あなたは、「人生会議」を知っていますか。（1つだけ○）

【全体】

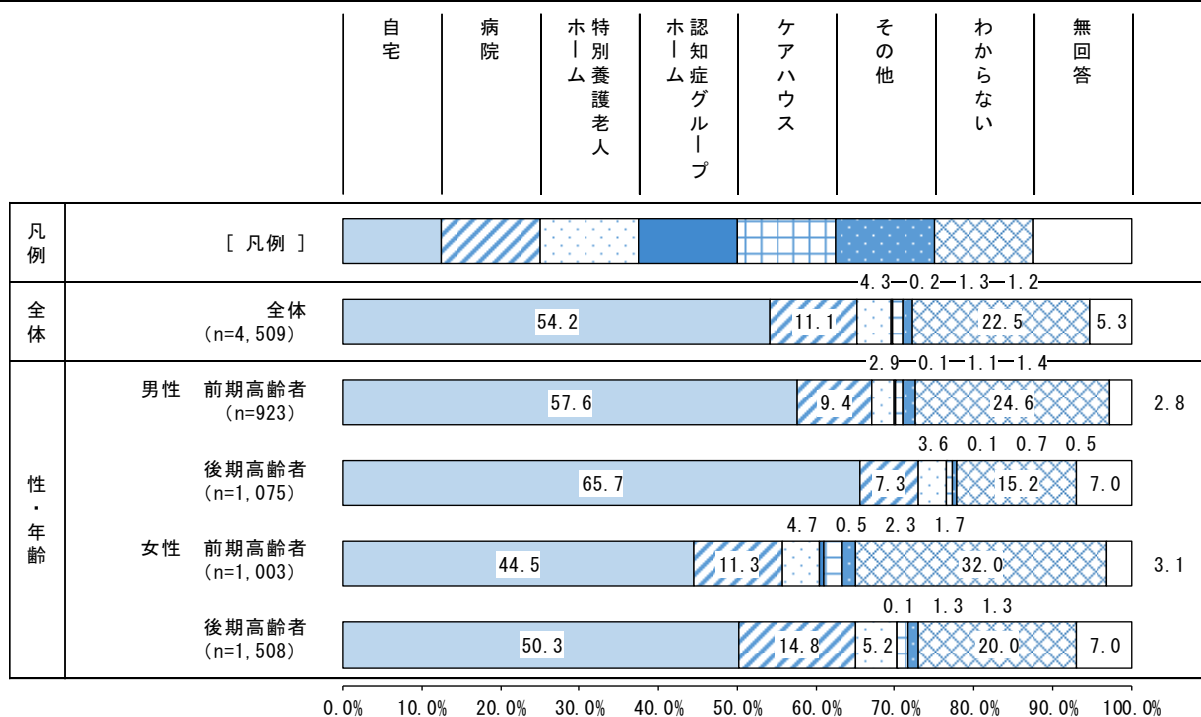
○ 「人生会議」を知っているかについて、「知らない」が 81.5%で最も多く、次いで「名前は知っているが、内容は知らない」が 8.7%、「名前も内容も知っている」が 4.3%となっています。



●問11.9 人生の最期をどこで迎えたいか、あなたの考えに最も近いものはどれですか。（1つだけ○）

【全体】

○ 人生の最期をどこで迎えたいかについて、「自宅」が 54.2%で最も多く、次いで「わからない」が 22.5%、「病院」が 11.1%となっています。



IV リスク判定

1. 運動器の機能低下リスク

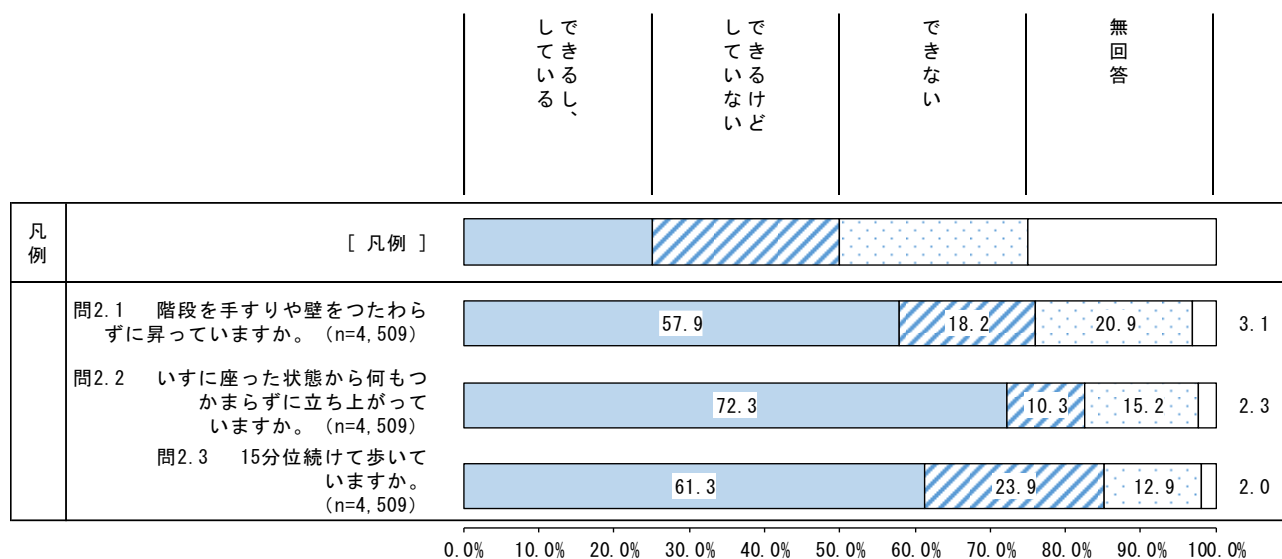
(1) 判定方法

以下の設問に対して5問中3問以上該当する場合は、運動器機能の低下がみられる高齢者となります。

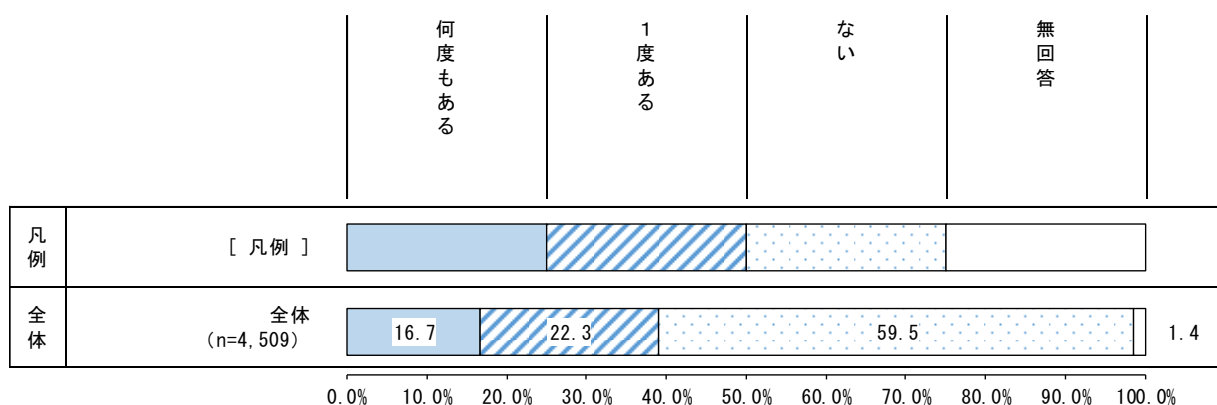
設問	選択肢
階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	できない
椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	できない
15分位続けて歩いていますか。	できない
過去1年間に転んだ経験がありますか。	何度もある／1度ある
転倒に対する不安は大きいですか。	とても不安である／やや不安である

(2) 調査結果

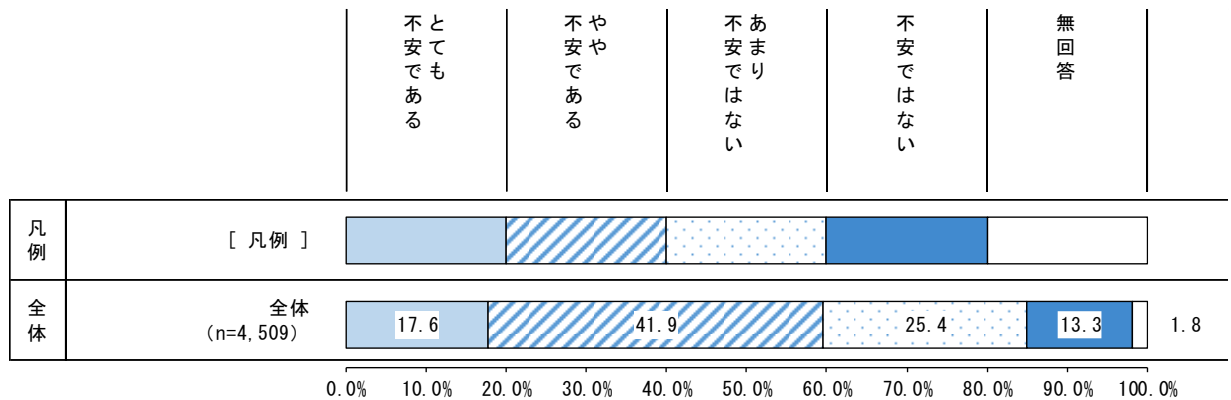
- 問2.1 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(1つだけ○)
- 問2.2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(1つだけ○)
- 問2.3 15分位続けて歩いていますか。(1つだけ○)



- 問2.4 過去1年間に転んだ経験がありますか。(1つだけ○)

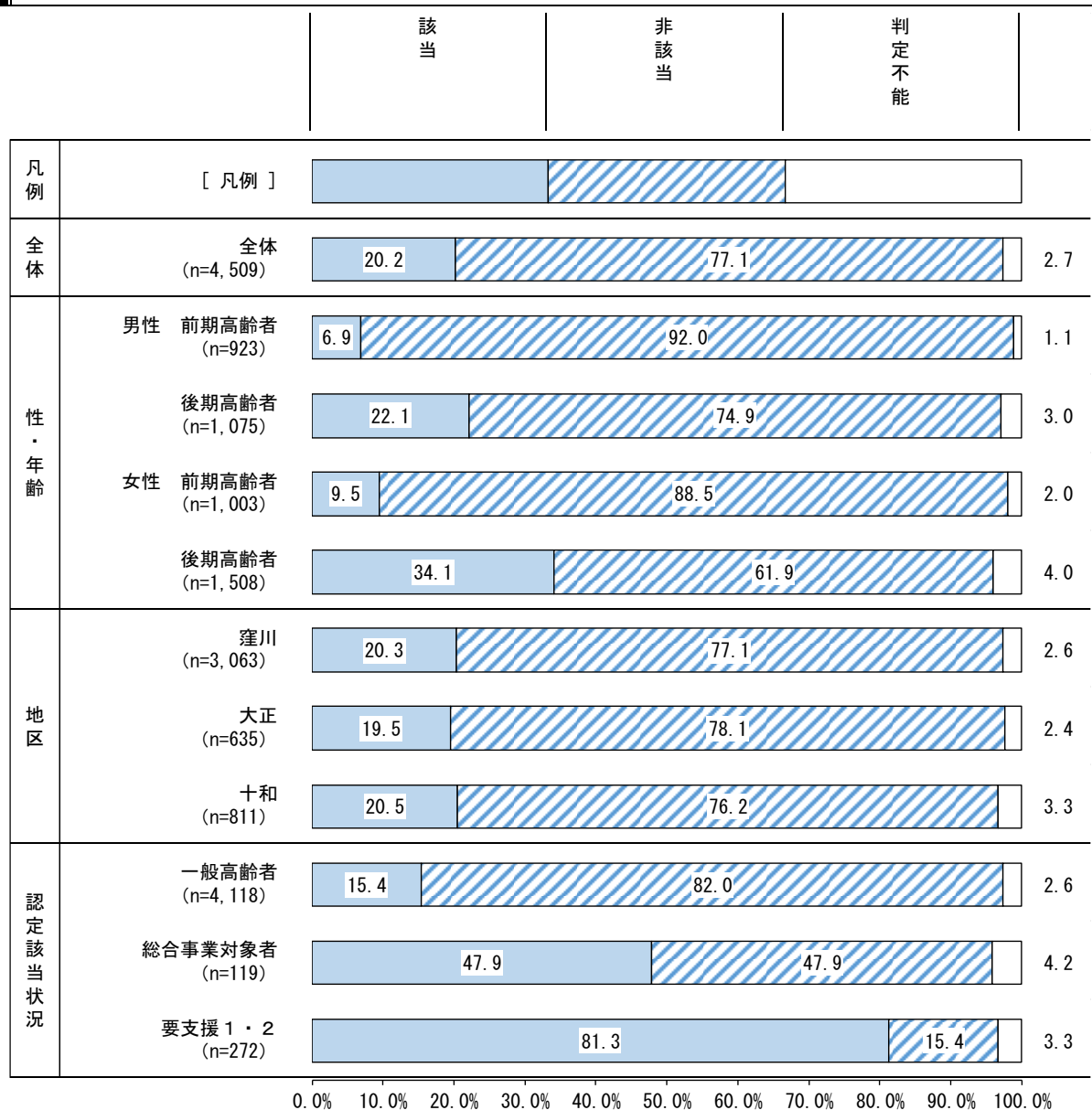


●問2.5 転倒に対する不安は大きいですか。(1つだけ○)



(3) 判定結果

- 【全体】
○ 運動器の機能低下リスクについて、「該当」が20.2%、「非該当」が77.1%となっています。
- 【地区】
○ 大きな差はみられません。
- 【認定該当状況】
○ 要介護度が高いほど「該当」が多くなる傾向がみられます。



2. 転倒リスク

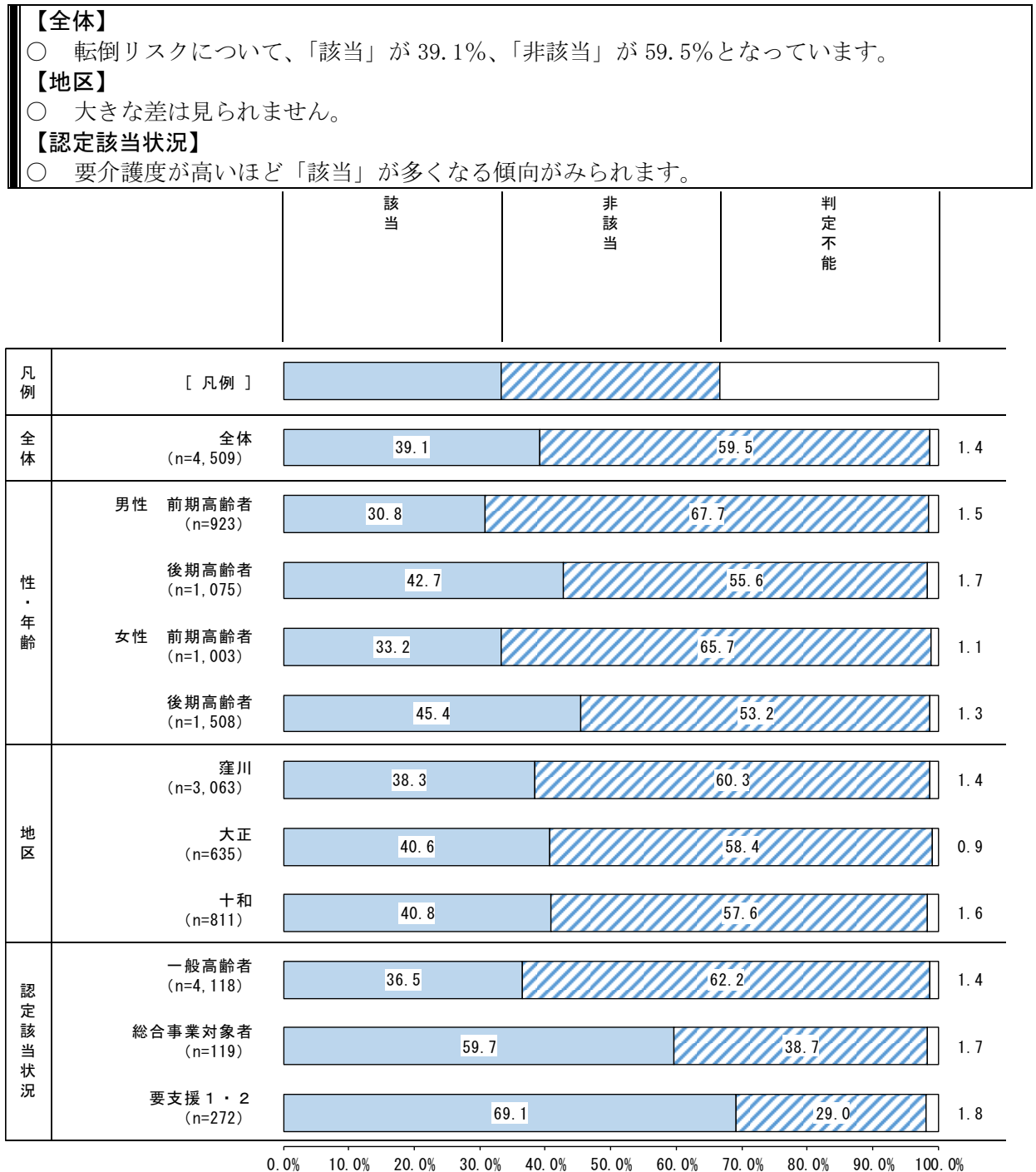
(1) 判定方法

以下の設問に対して該当する場合は、転倒リスクがある高齢者となります。

設問	選択肢
過去1年間に転んだ経験がありますか。	何度もある／1度ある

(2) 調査結果 ※「Ⅳ リスク判定」「1. 運動器の機能低下リスク」に掲載

(3) 判定結果



3. 閉じこもりのリスク

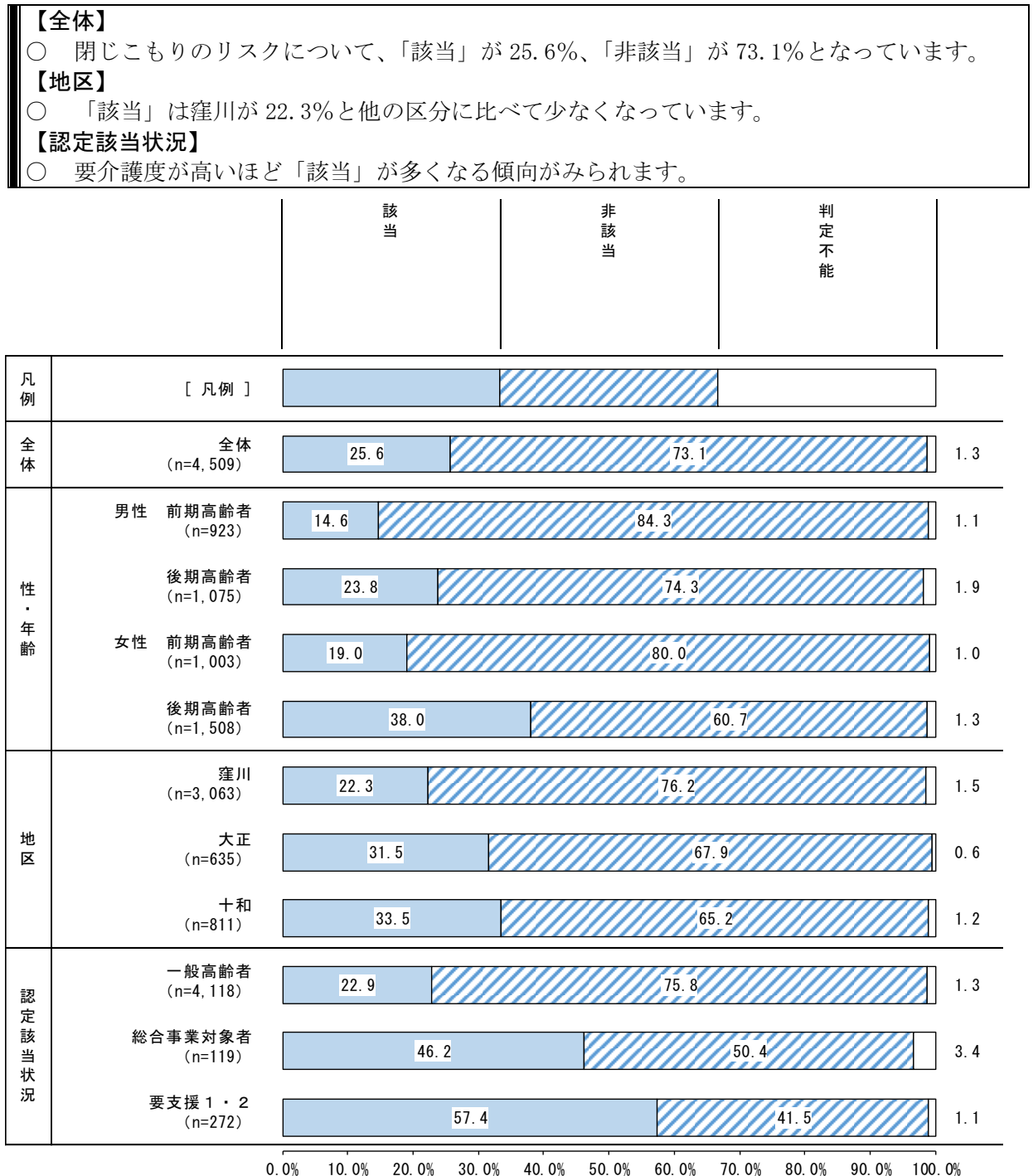
(1) 判定方法

以下の設問に対して該当する場合は、閉じこもり傾向がある高齢者となります。

設問	選択肢
週に1回以上は外出していますか。	ほとんど外出しない／週1回

(2) 調査結果 ※「Ⅲ 調査結果」に掲載

(3) 判定結果



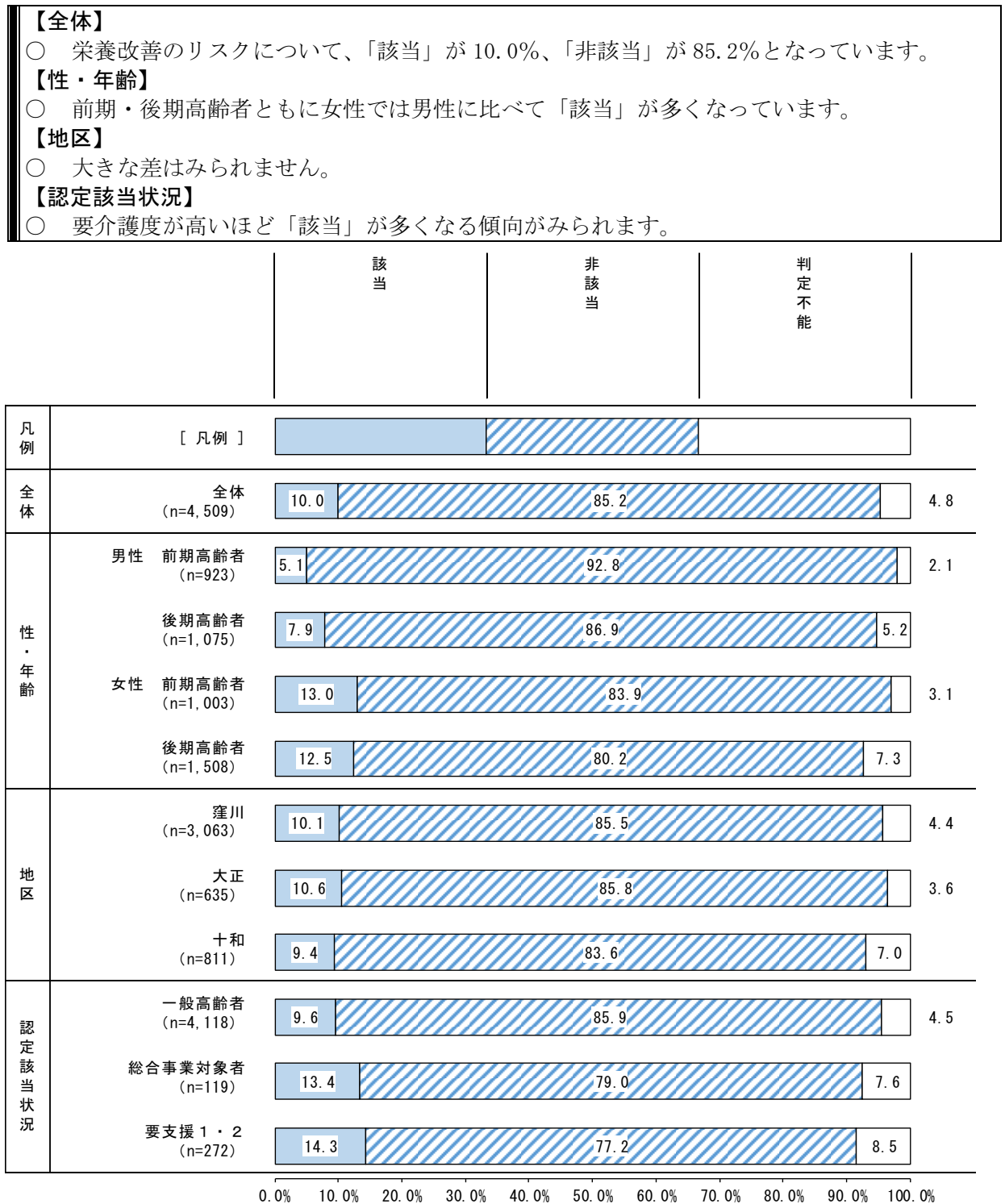
4. 栄養改善のリスク

(1) 判定方法

以下の設問に対して該当する場合は、栄養改善リスクがある高齢者となります。

設問	選択肢
身長・体重から算出されるBMI（体重（kg）÷身長（m） ² ）	18.5未満

(2) 判定結果



5. 低栄養のリスク

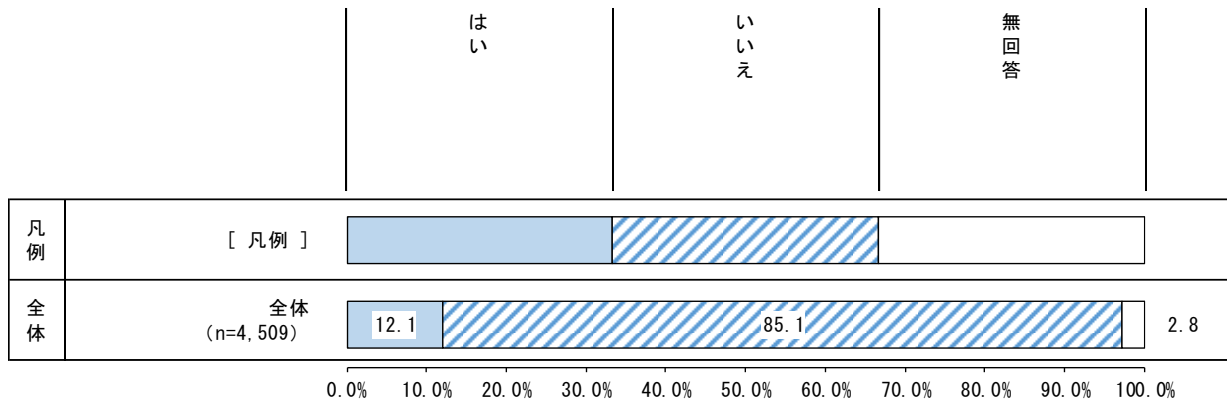
(1) 判定方法

以下の設問に対して2問中2問該当する場合は、低栄養状態にある高齢者となります。

設問	選択肢
身長・体重から算出されるBMI（体重（kg）÷身長（m） ² ）	18.5未満
6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。	はい

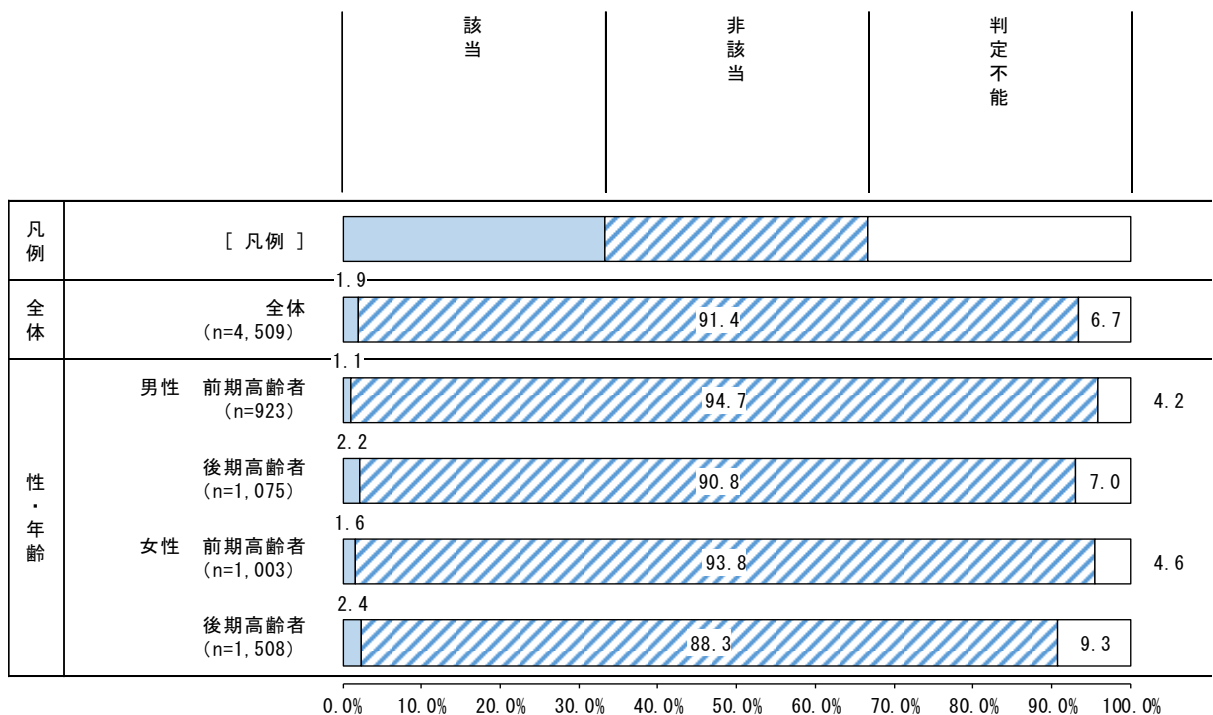
(2) 調査結果

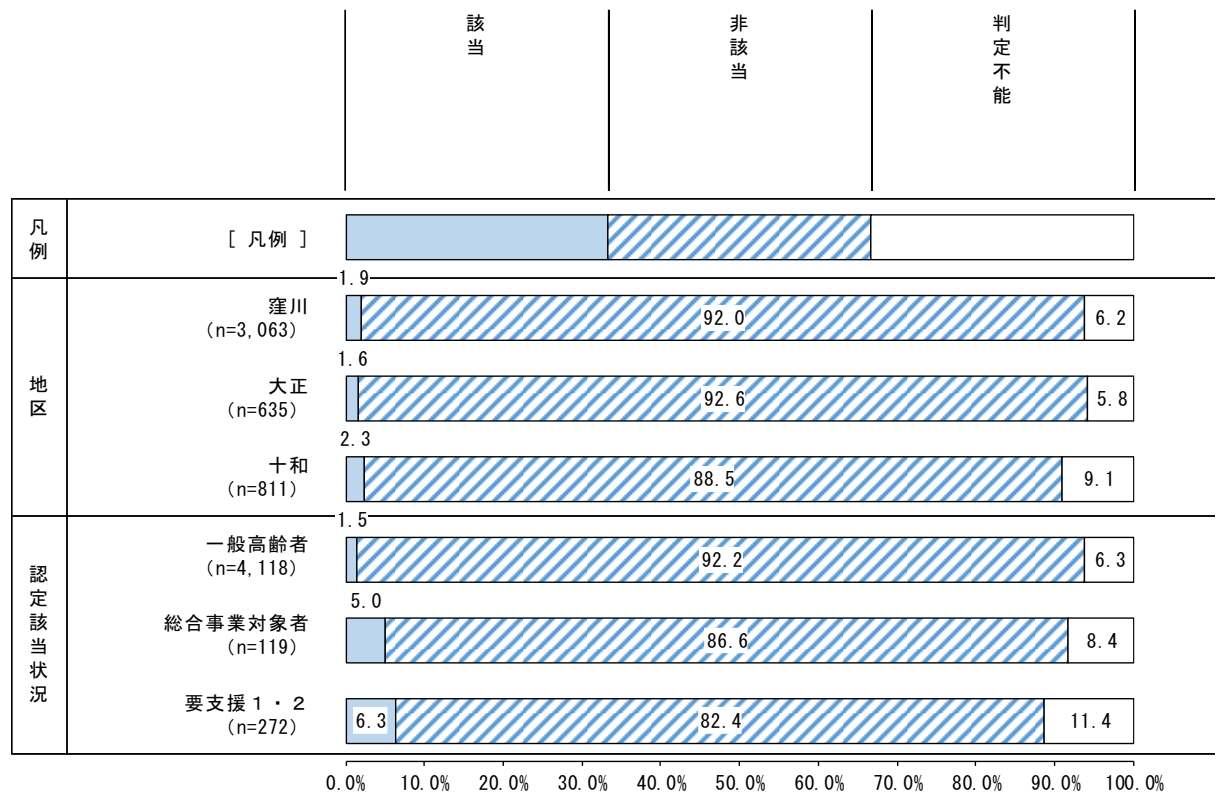
●問3.7 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。（1つだけ○）



(3) 判定結果

【全体】
○ 低栄養のリスクについて、「該当」が1.9%、「非該当」が91.4%となっています。
【性・年齢】
○ 「該当」は男性の前期高齢者が1.1%他の区分に比べて少なくなっています。
【認定該当状況】
○ 要介護度が高いほど「該当」が多くなる傾向がみられます。





6. 口腔機能の低下リスク

(1) 判定方法

以下の設問に対して3問中2問該当する場合は、口腔機能の低下がみられる高齢者となります。

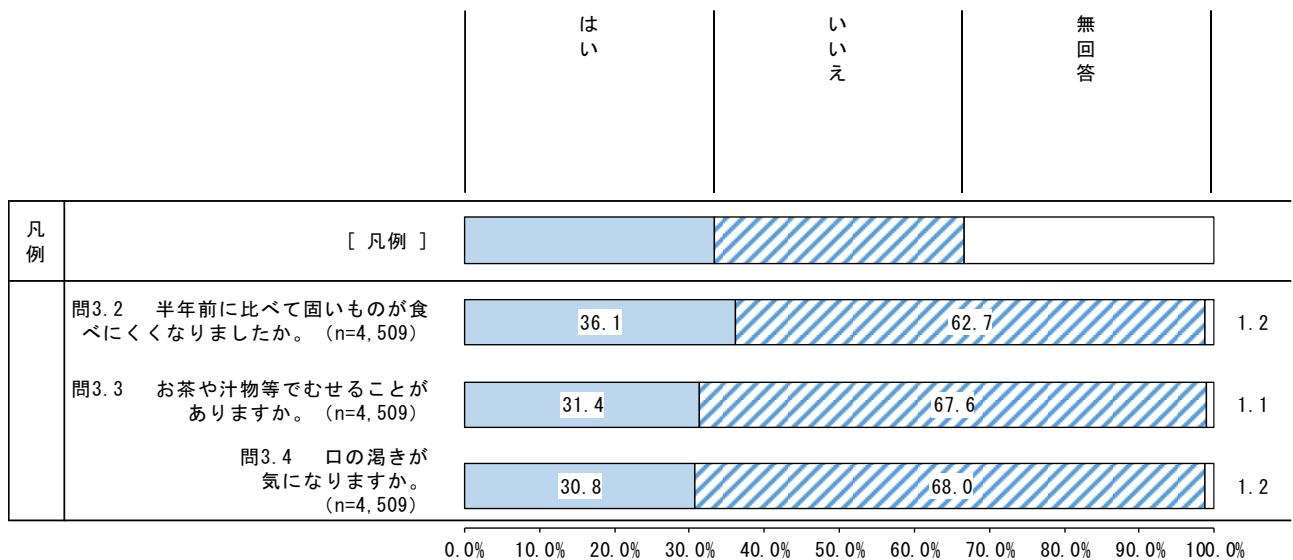
設問	選択肢
【咀嚼機能低下】半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。	はい
【嚥下機能低下】お茶や汁物等でむせることがありますか。	はい
【肺炎発症リスク】口の渇きが気になりますか。	はい

(2) 調査結果

●問3.2 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(1つだけ○)

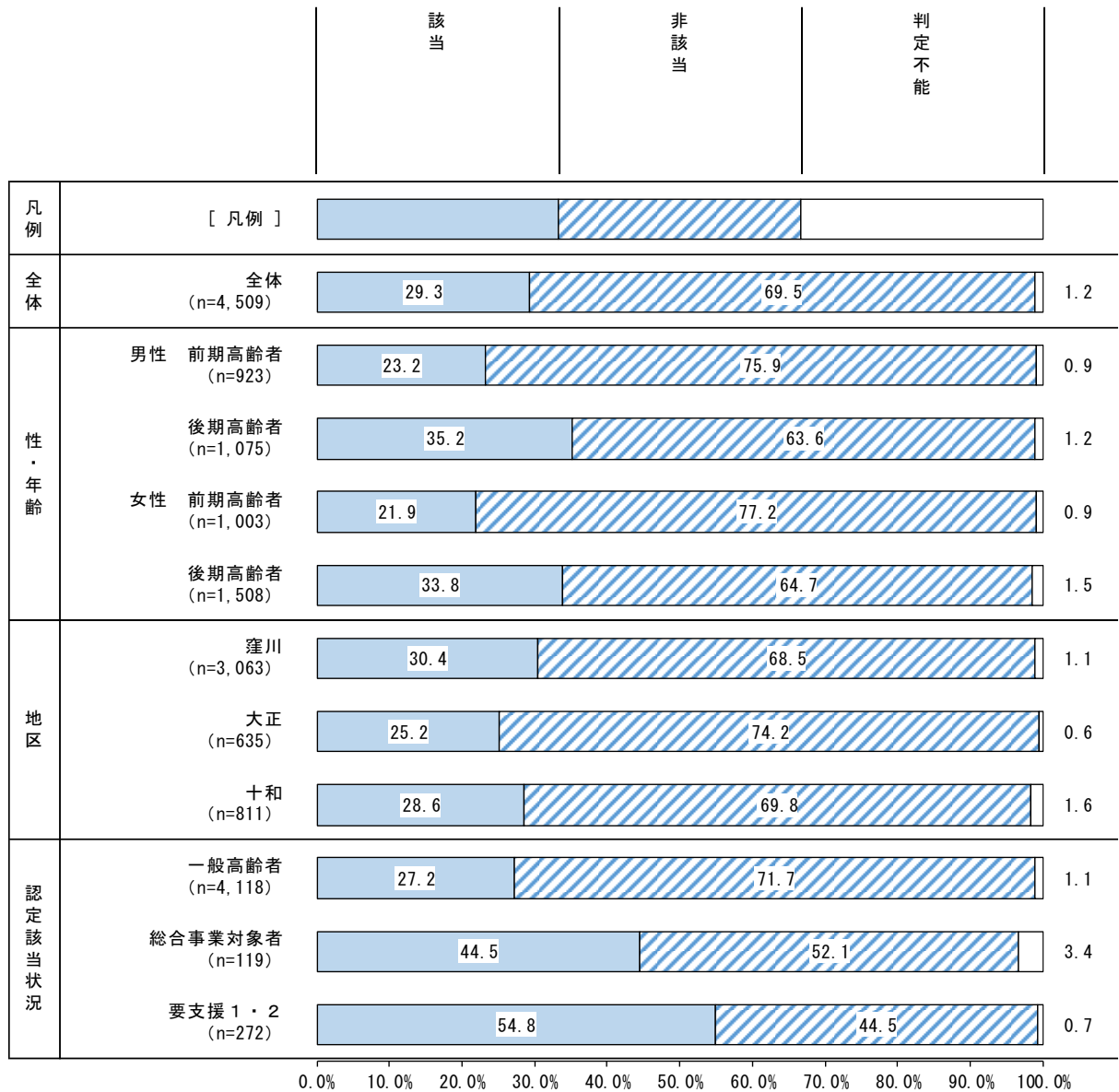
●問3.3 お茶や汁物等でむせることがありますか。(1つだけ○)

●問3.4 口の渇きが気になりますか。(1つだけ○)



(3) 判定結果

【全体】
○ 口腔機能の低下リスクについて、「該当」が29.3%、「非該当」が69.5%となっています。
【地区】
○ 「該当」は大正が25.2%と他の区分に比べて少なくなっています。
【認定該当状況】
○ 要介護度が高いほど「該当」が多くなる傾向がみられます。



7. 認知機能の低下リスク

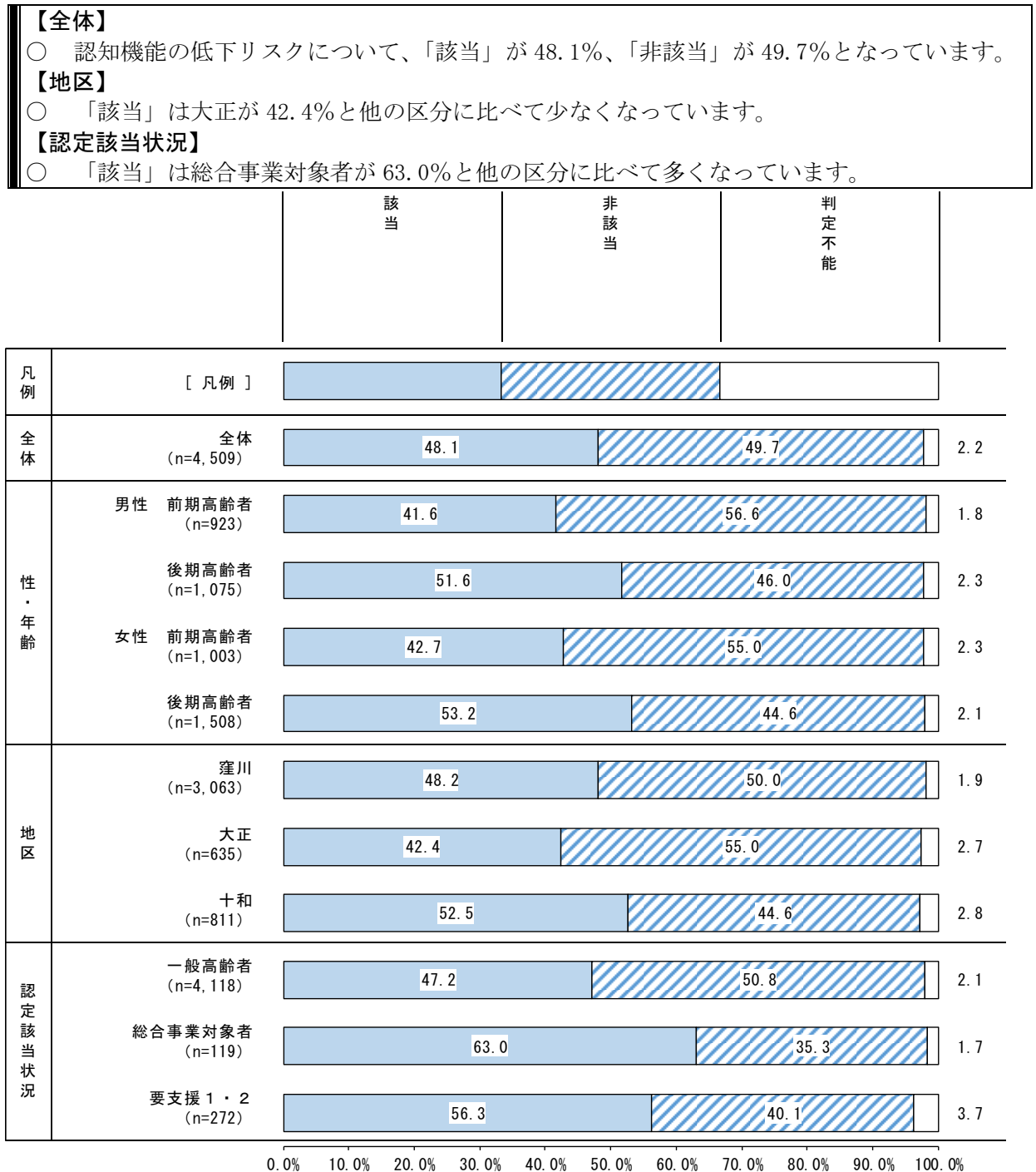
(1) 判定方法

以下の設問に対して該当する場合は、認知機能の低下がみられる高齢者となります。

設問	選択肢
物忘れが多いと感じますか。	はい

(2) 調査結果 ※「Ⅲ 調査結果」に掲載

(3) 判定結果



8. 手段的自立度（IADL※）

（１）判定方法

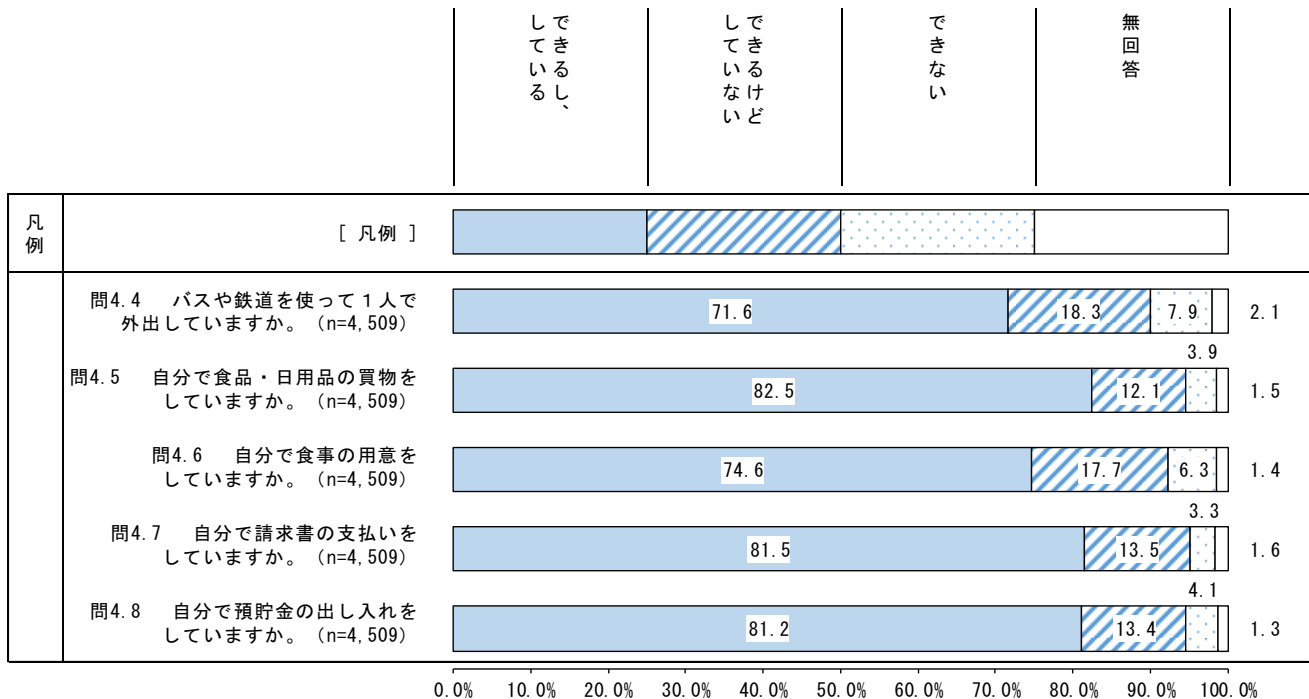
以下の設問を５点満点で判定し、５点を「高い」、４点を「やや低い」、３点以下を「低い」と評価します。

設問	選択肢	配点
バスや鉄道を使って１人で外出していますか。 （自家用車でも可）	できるし、している／ できるけどしていない	１点
自分で食品・日用品の買物をしていますか。	できるし、している／ できるけどしていない	１点
自分で食事の用意をしていますか。	できるし、している／ できるけどしていない	１点
自分で請求書の支払いをしていますか。	できるし、している／ できるけどしていない	１点
自分で預貯金の出し入れをしていますか。	できるし、している／ できるけどしていない	１点

※手段的自立度（IADL）とは、『手段的日常生活動作』と訳され、日常生活を送る上で必要な動作のうち、買い物や洗濯、掃除等の家事全般や、金銭管理や服薬管理、外出して乗り物に乗ることなどを指します。

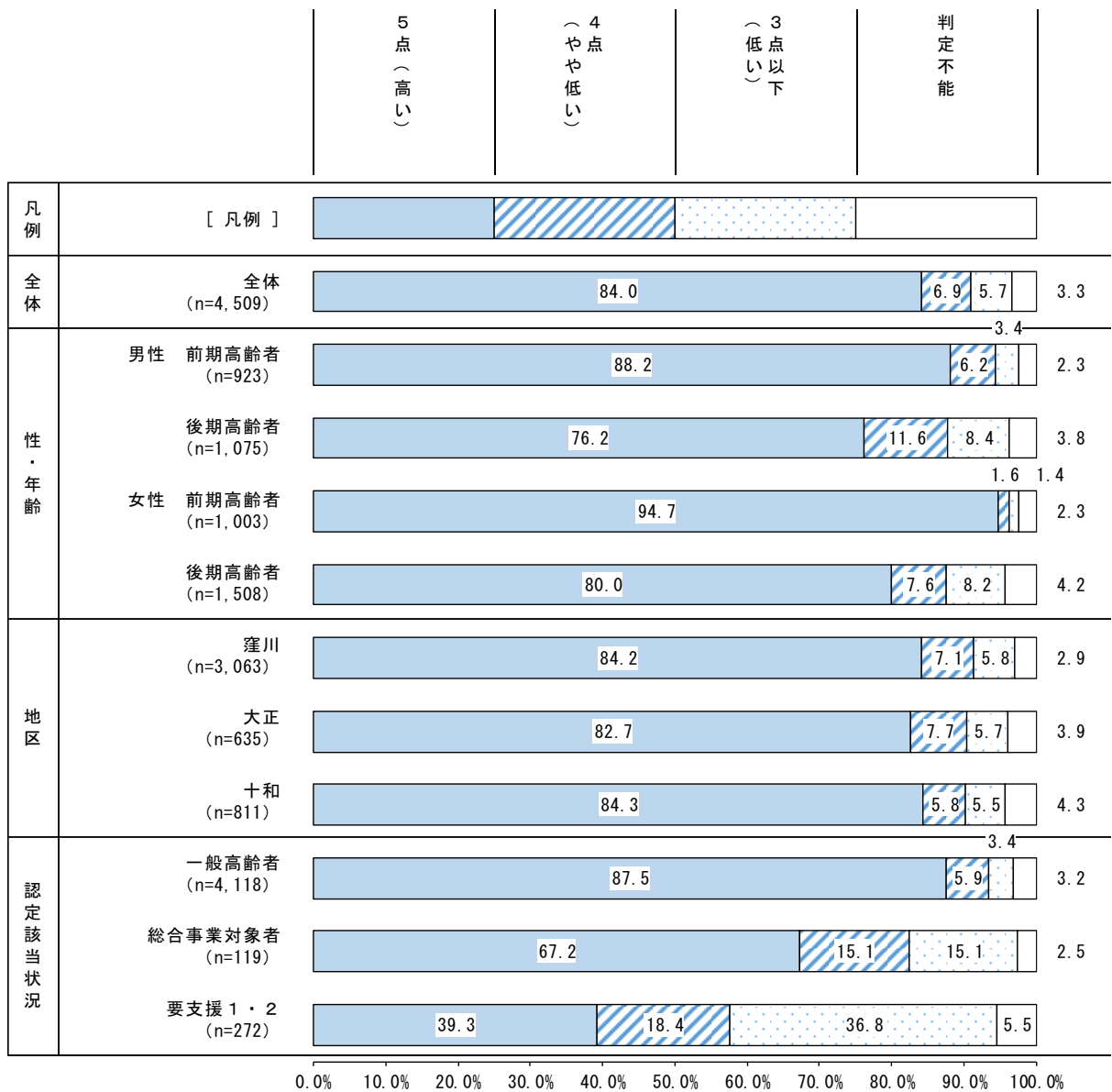
（２）調査結果

- 問4.4 バスや鉄道を使って１人で外出していますか。（自家用車でも可）（１つだけ○）
- 問4.5 自分で食品・日用品の買物をしていますか。（１つだけ○）
- 問4.6 自分で食事の用意をしていますか。（１つだけ○）
- 問4.7 自分で請求書の支払いをしていますか。（１つだけ○）
- 問4.8 自分で預貯金の出し入れをしていますか。（１つだけ○）



(3) 判定結果

【全体】	
○	IADL について、「5 点（高い）」が 84.0%で最も多く、次いで「4 点（やや低い）」が 6.9%、「3 点以下（低い）」が 5.7%となっています。
【地区】	
○	大きな差はみられません。
【認定該当状況】	
○	要介護度が高いほど「3 点以下（低い）」が多くなる傾向がみられます。



9. うつのリスク

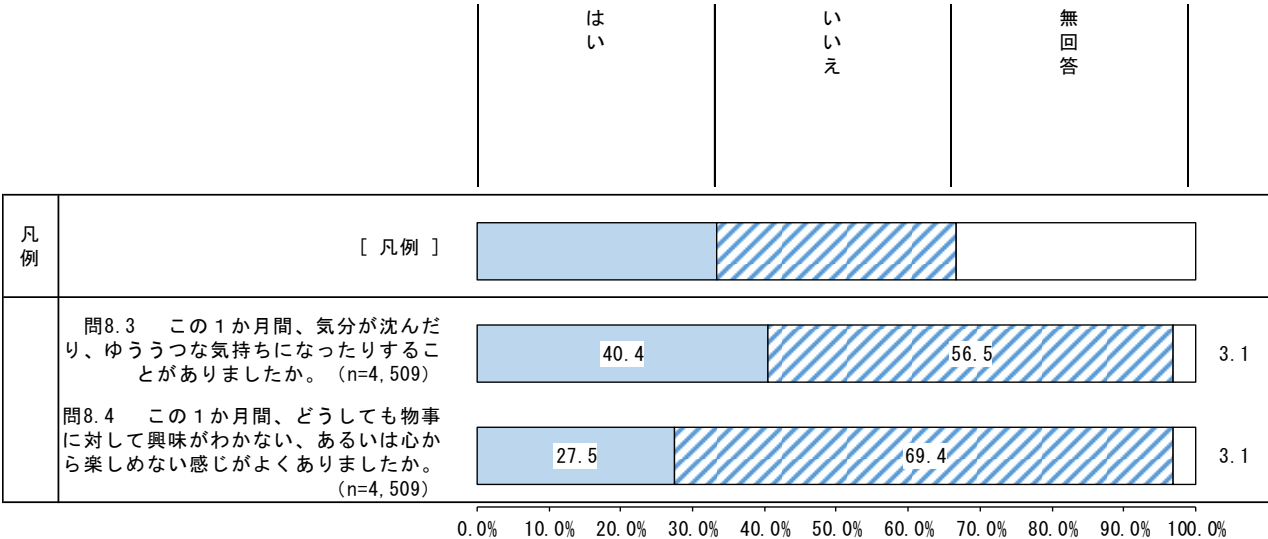
(1) 判定方法

以下の設問に対して2問中1問以上該当する場合は、うつ傾向の高齢者となります。

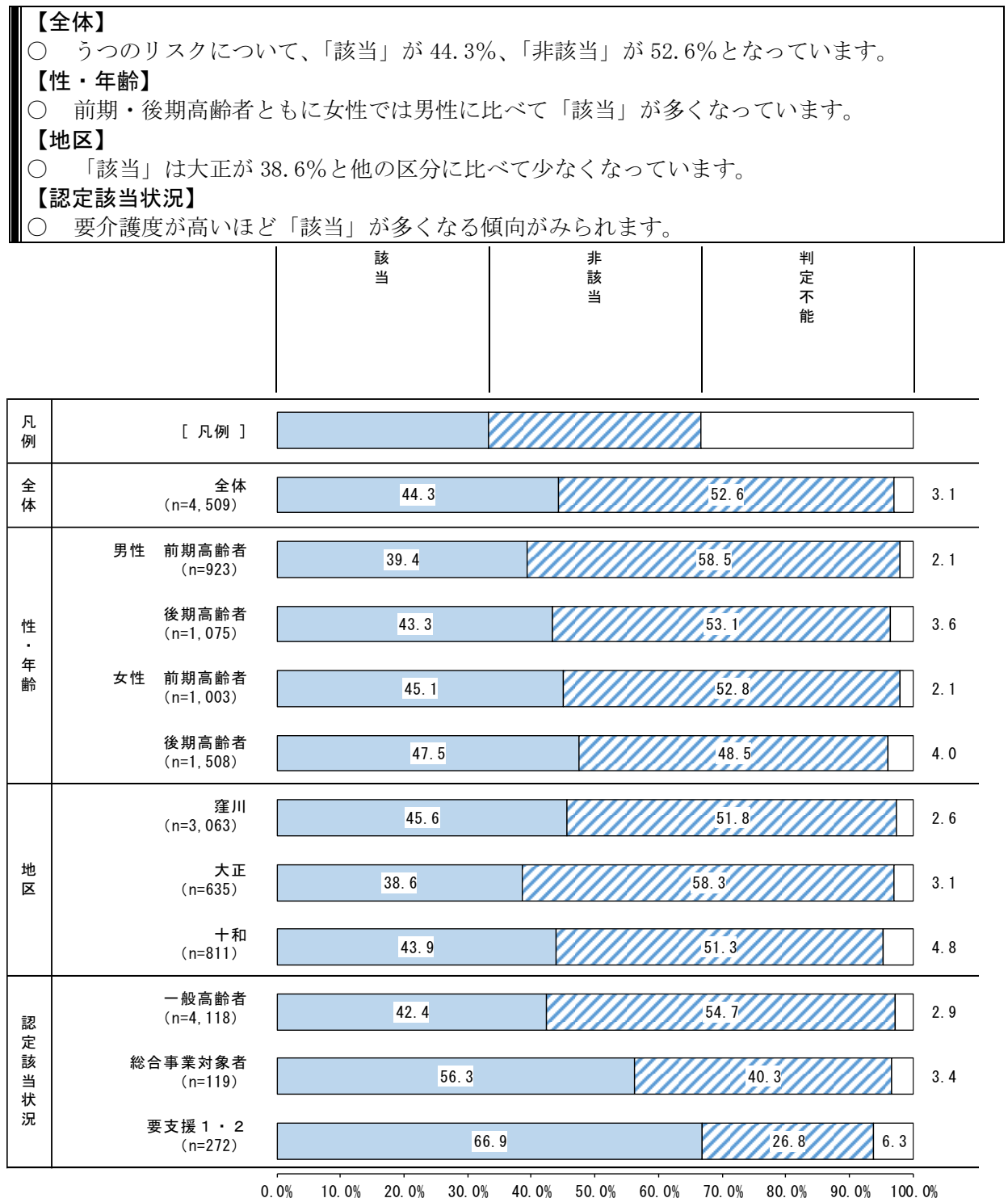
設問	選択肢
この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	はい
この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	はい

(2) 調査結果

- 問8.3 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(1つだけ○)
- 問8.4 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(1つだけ○)



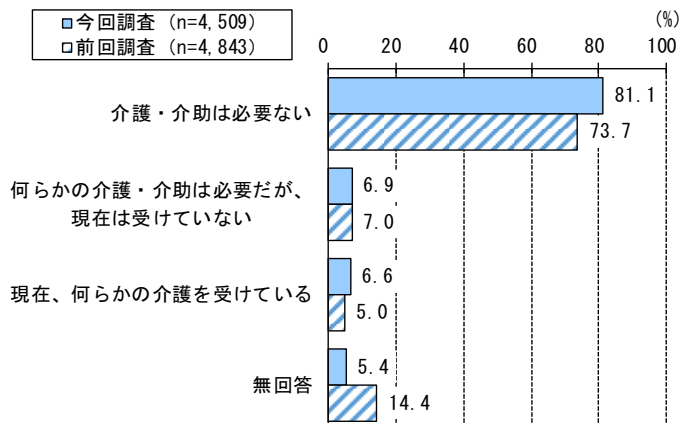
(3) 判定結果



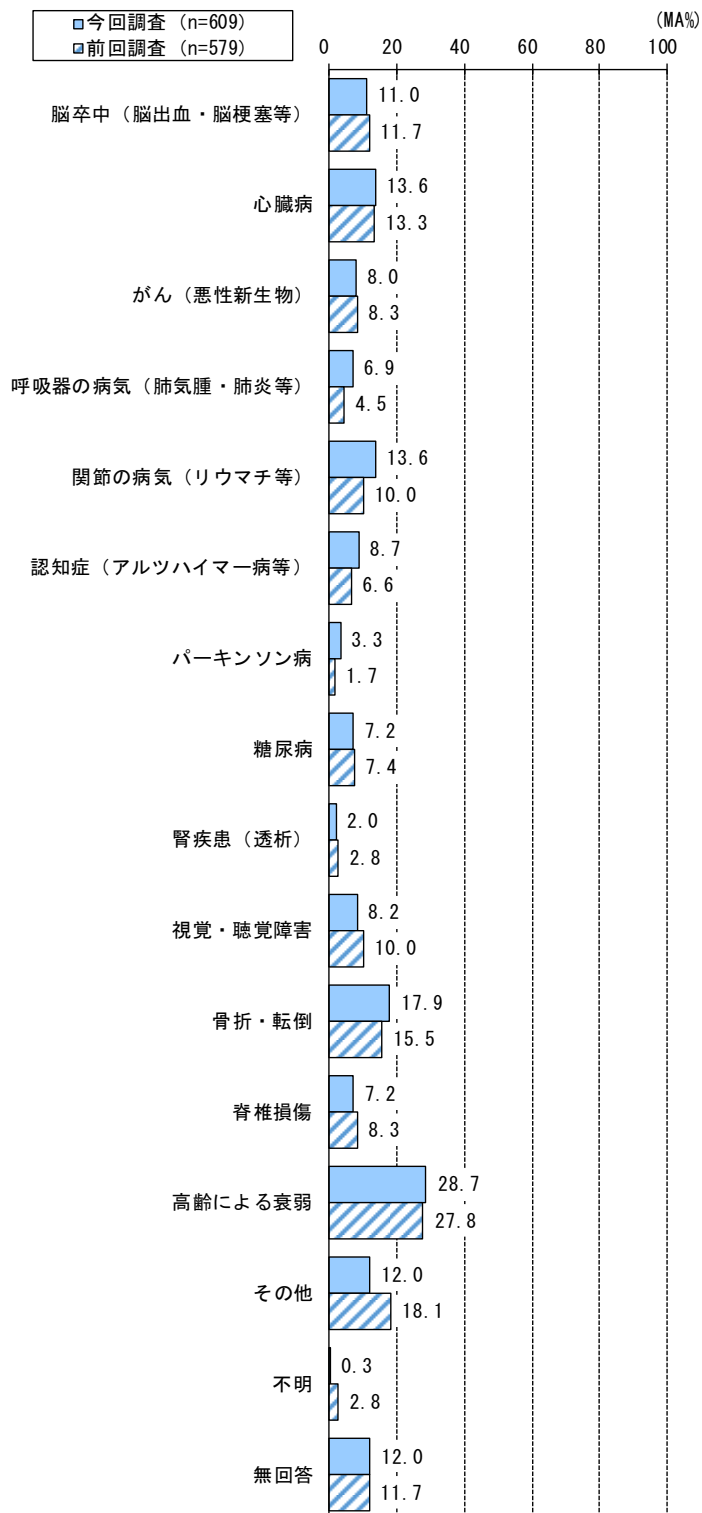
V 参考資料 前期比較（抜粋）

1. ご家族や生活状況について

●問1.2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。
（1つだけ○）

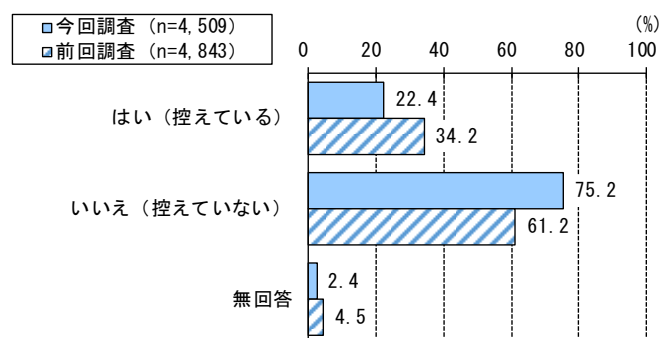


●問1.2-1 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。
（いくつでも○）

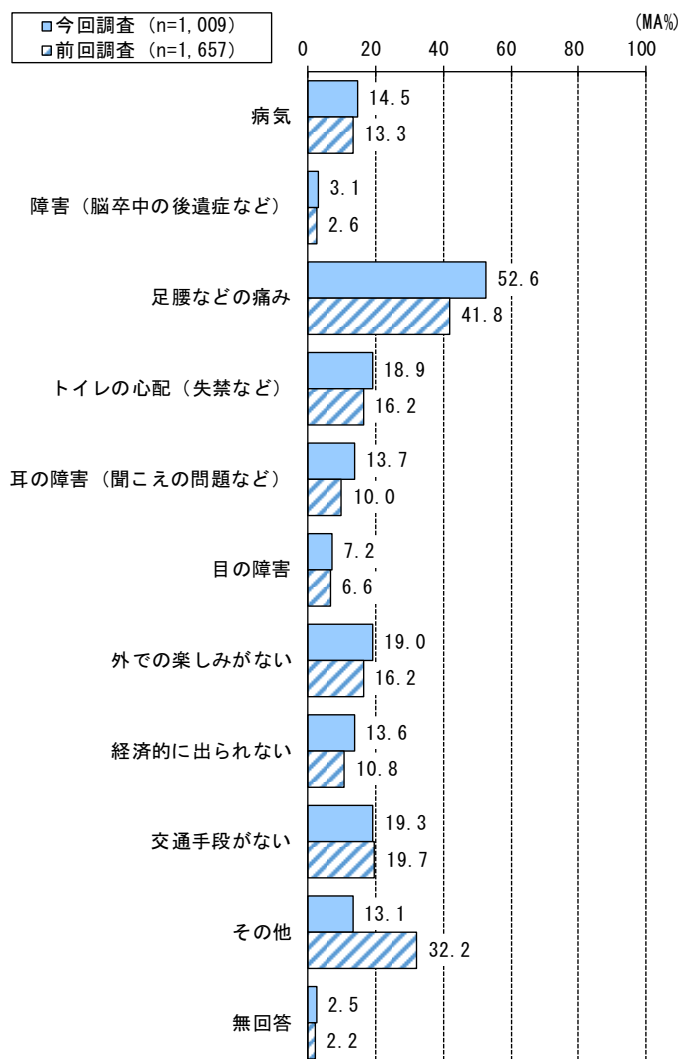


2. からだを動かすことについて

●問2.8 外出を控えていますか。 (1つだけ○)

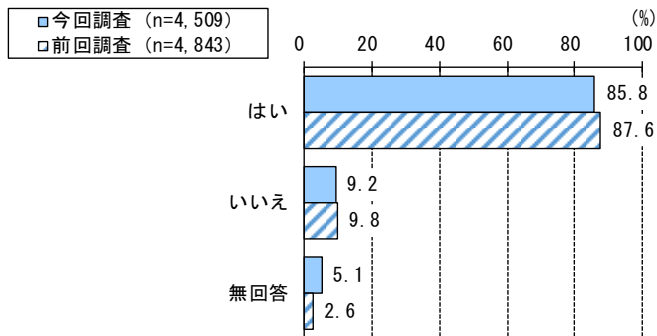


●問2.8-1 外出を控えている理由は、次のどれですか。 (いくつでも○)

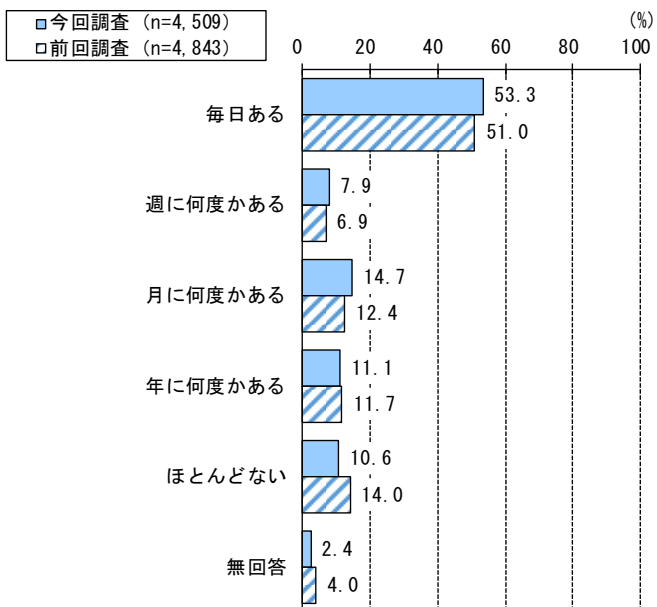


3. 食べることについて

●問3.5 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。（1つだけ○）

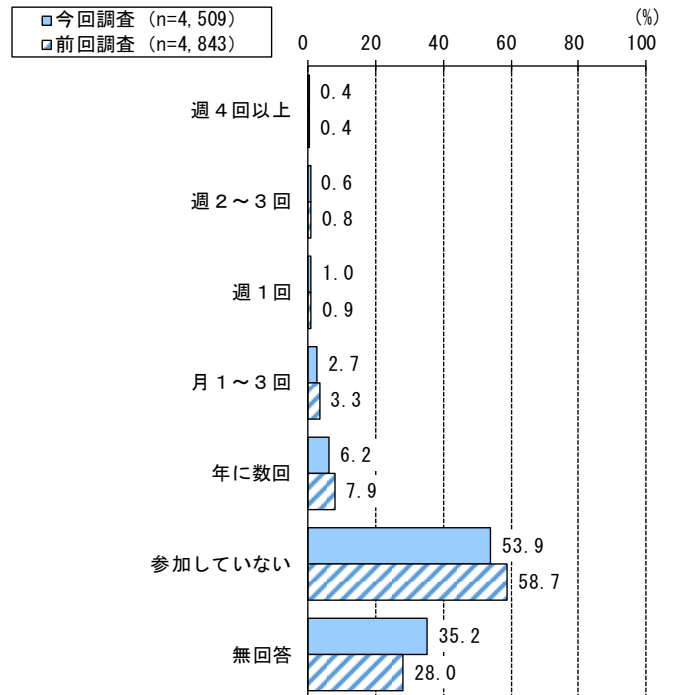


●問3.8 どなたかと食事をとる機会はありますか。（1つだけ○）

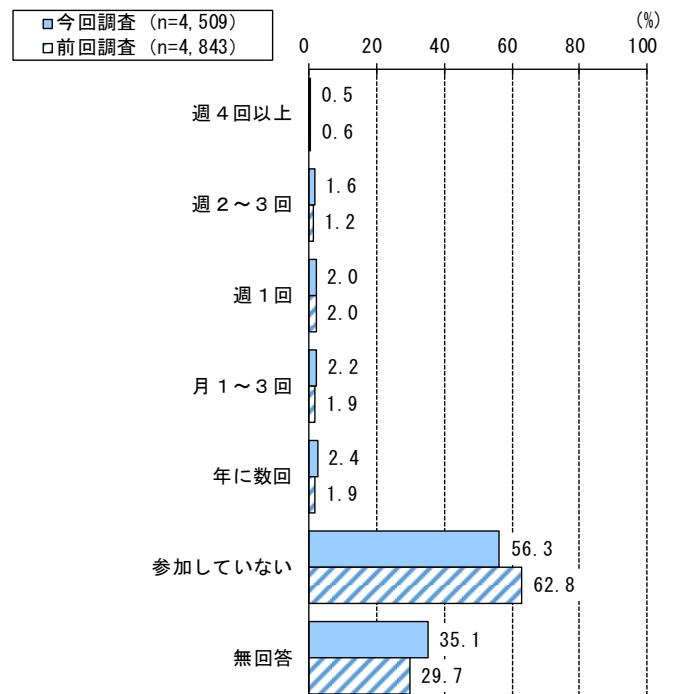


5. 地域での活動について

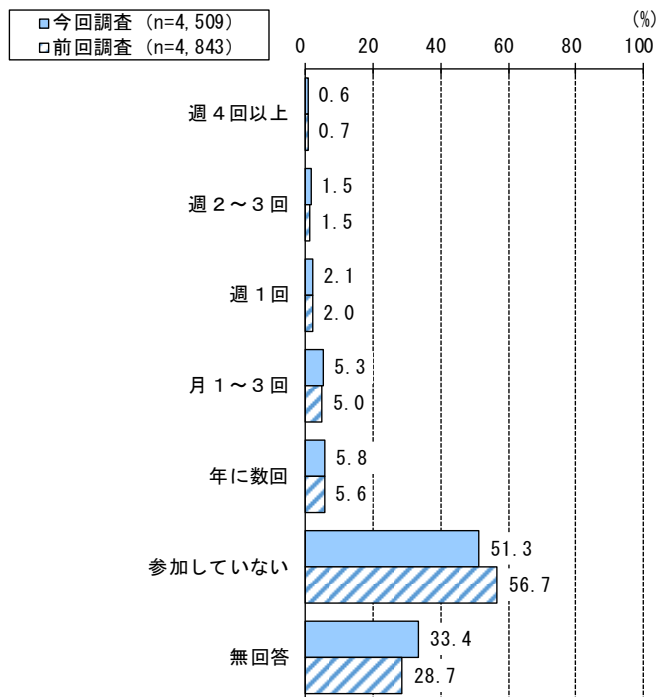
●問5.1 ①ボランティアのグループ（1つだけ○）



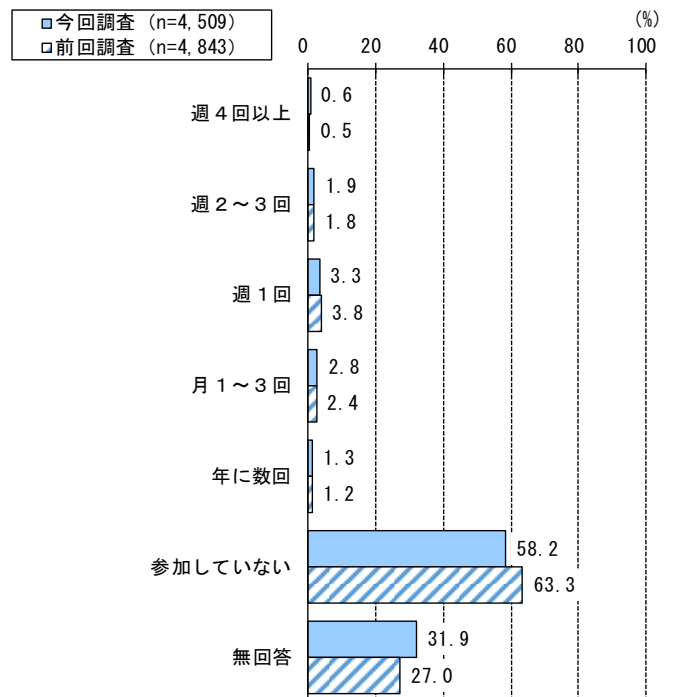
●問5.1 ②スポーツ関係のグループやクラブ（1つだけ○）



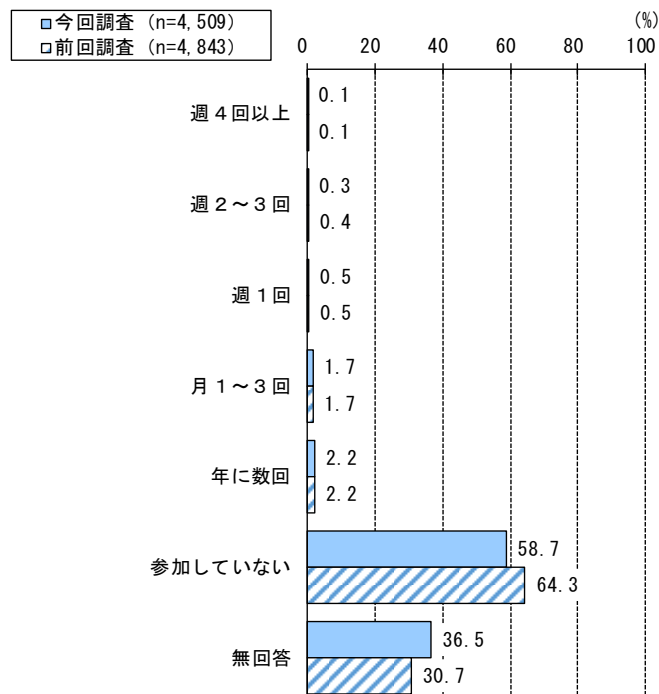
●問5.1 ③趣味関係のグループ
(1つだけ○)



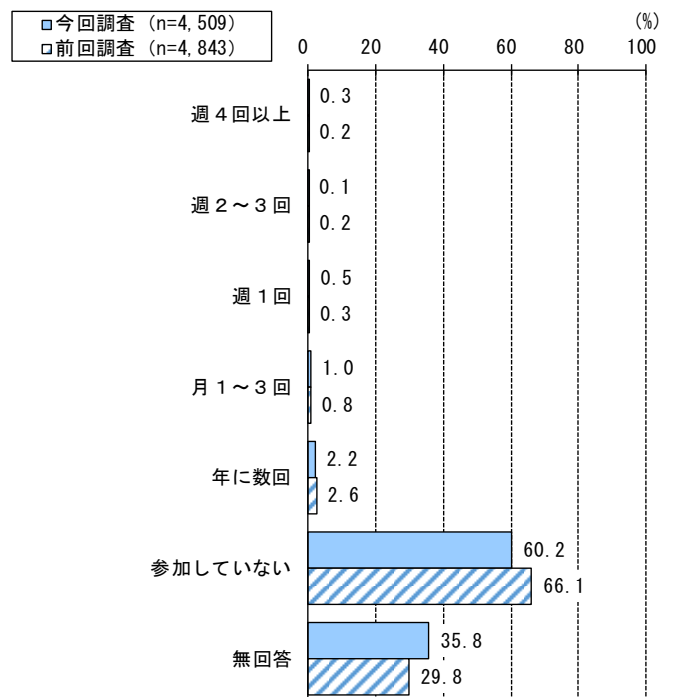
●問5.1 ⑤介護予防のための通いの場
(1つだけ○)



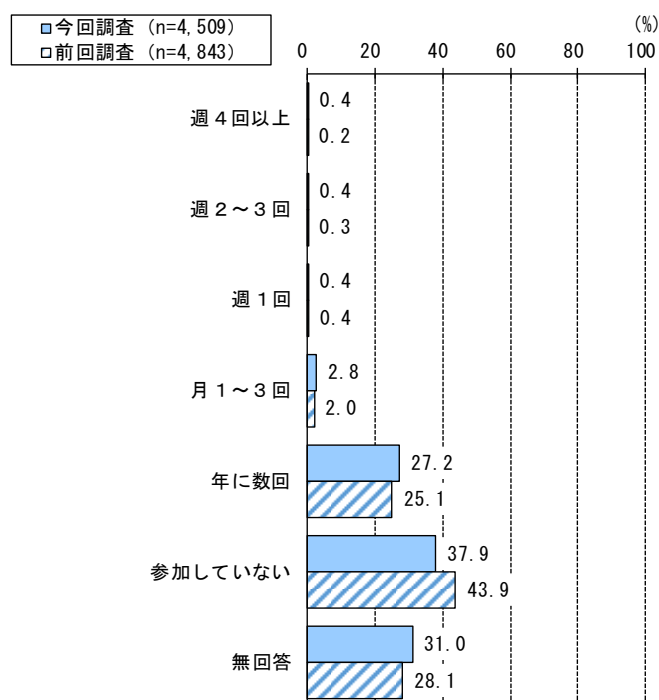
●問5.1 ④学習・教養サークル
(1つだけ○)



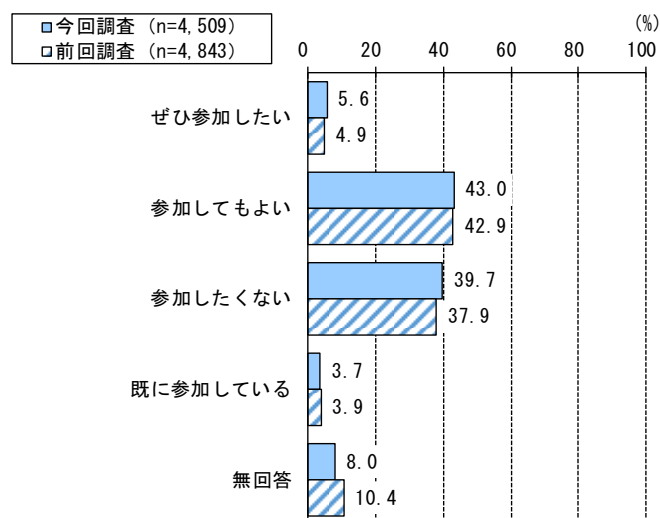
●問5.1 ⑥老人クラブ (1つだけ○)



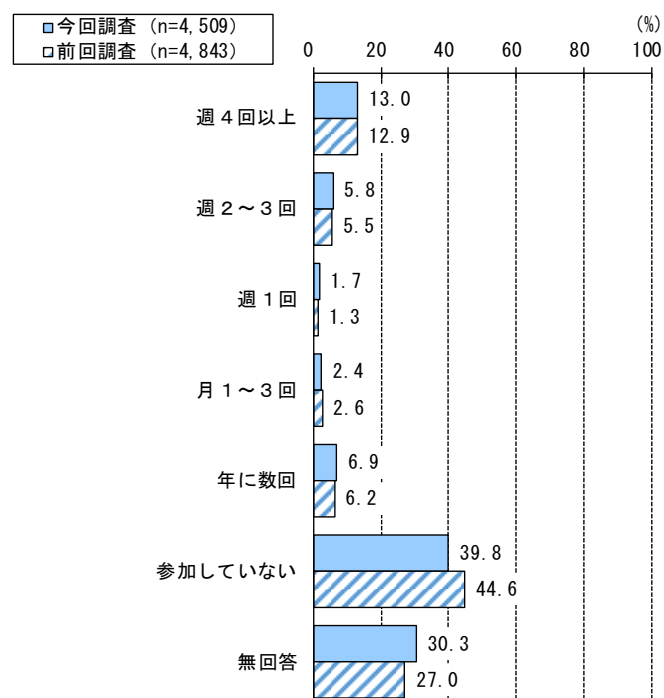
●問5.1 ⑦町内会・自治会
(1つだけ○)



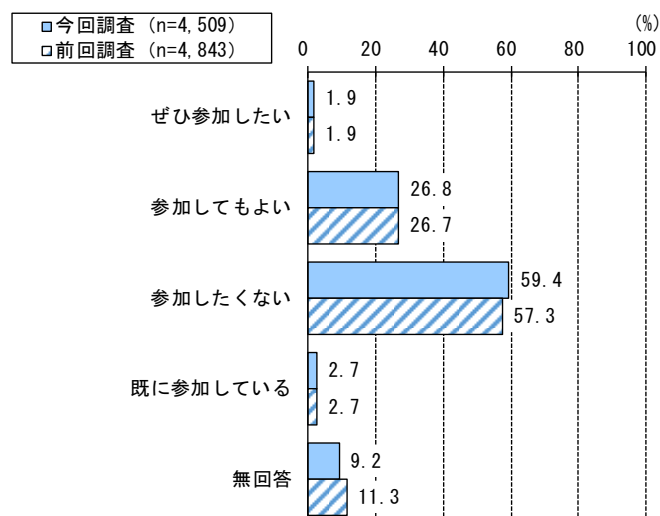
●問5.2 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。
(1つだけ○)



●問5.1 ⑧収入のある仕事
(1つだけ○)

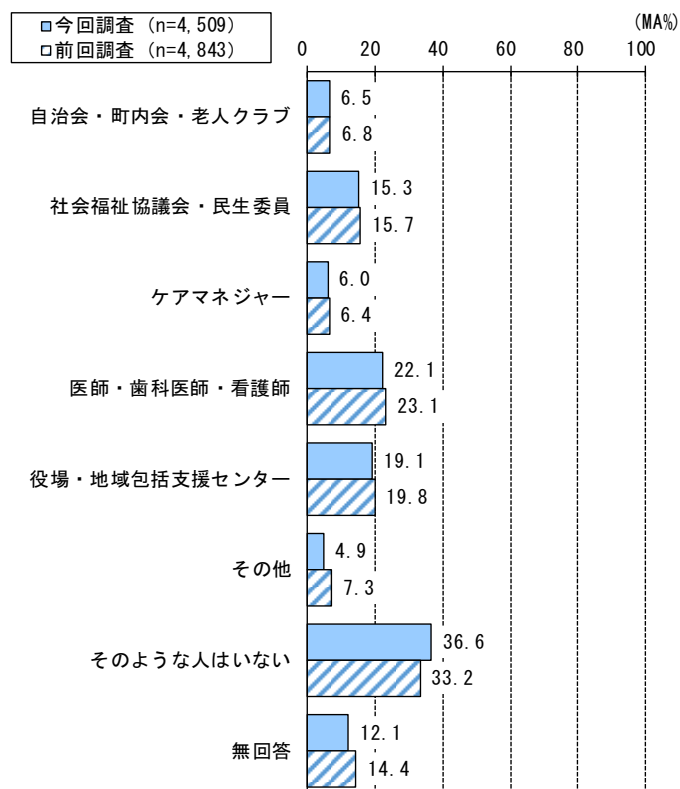


●問5.3 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。
(1つだけ○)

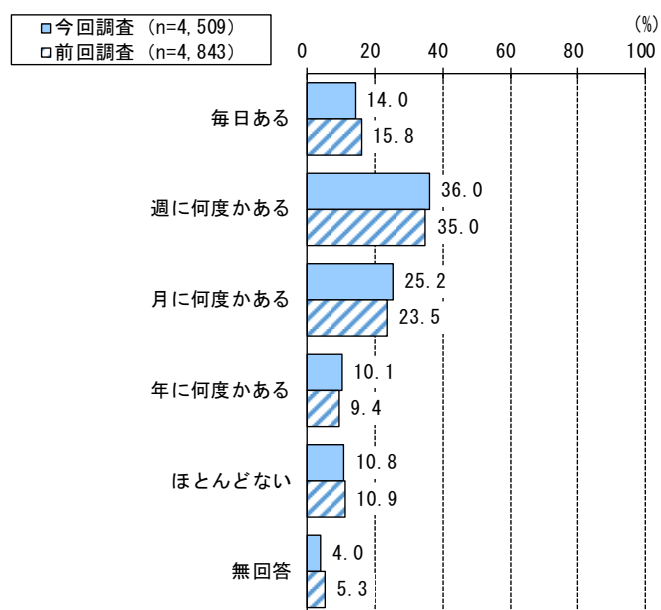


7. たすけあいについて

●問7.5 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。(いくつでも○)

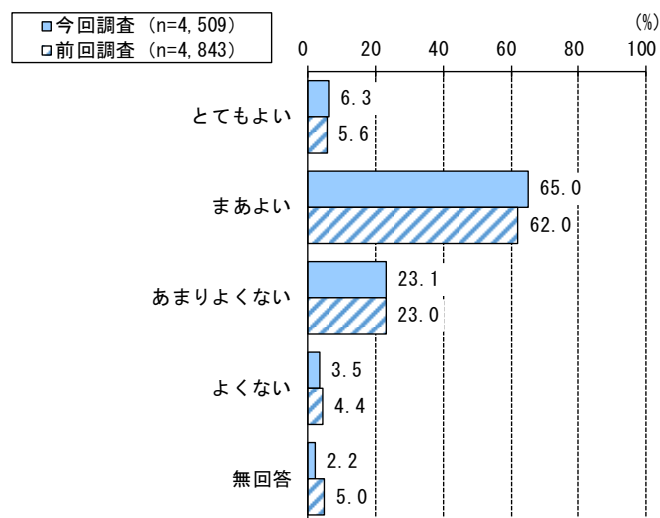


●問7.6 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(1つだけ○)

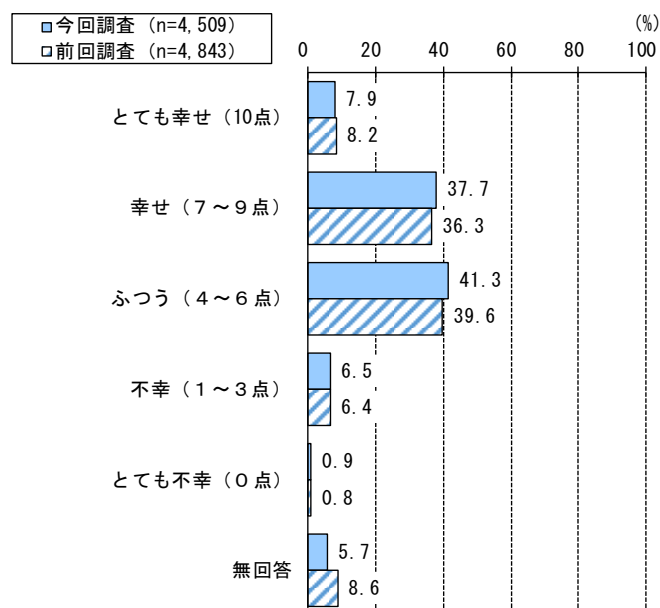


8. 健康について

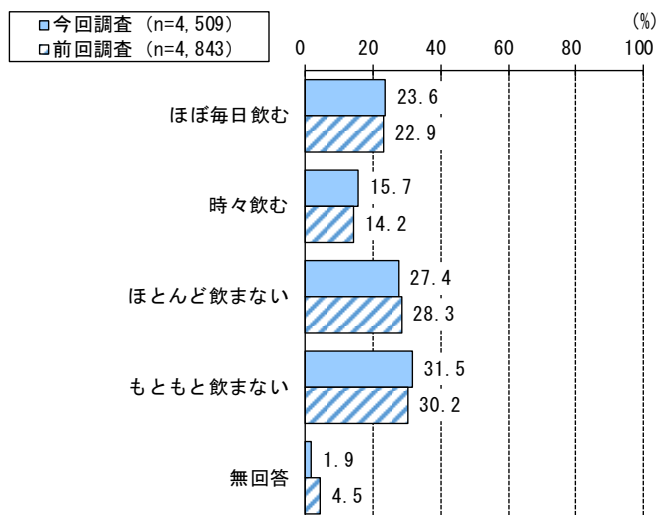
●問8.1 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(1つだけ○)



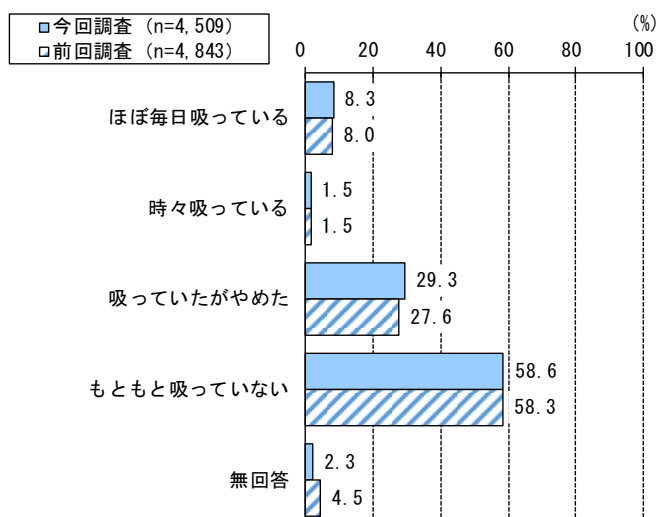
●問8.2 あなたは、現在どの程度幸せですか。(1つだけ○)



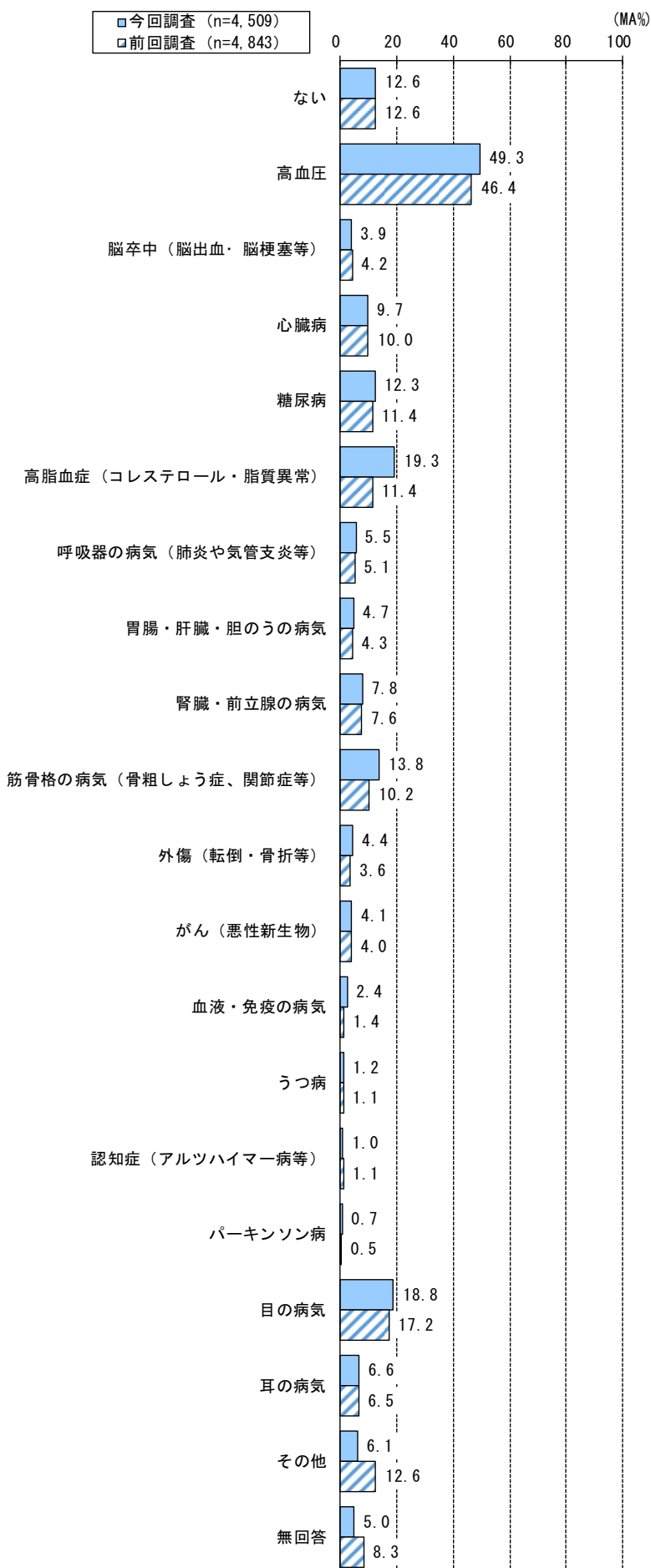
●問8.5 お酒は飲みますか。
(1つだけ○)



●問8.6 タバコは吸っていますか。
(1つだけ○)

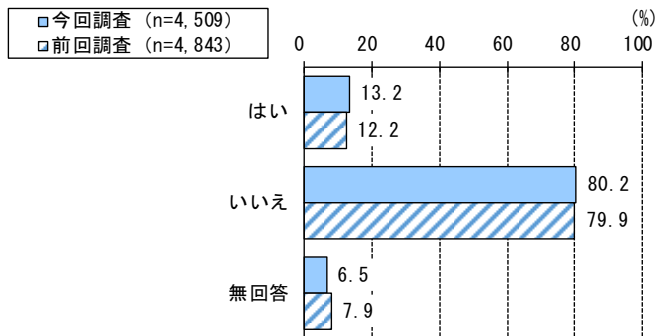


●問8.7 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。
(いくつでも○)

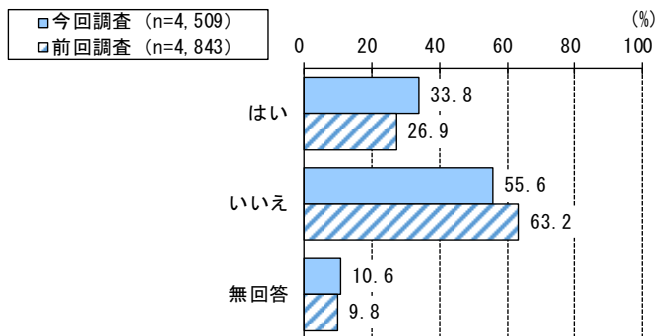


9. 認知症にかかる相談窓口の把握について

●問9.1 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(1つだけ○)

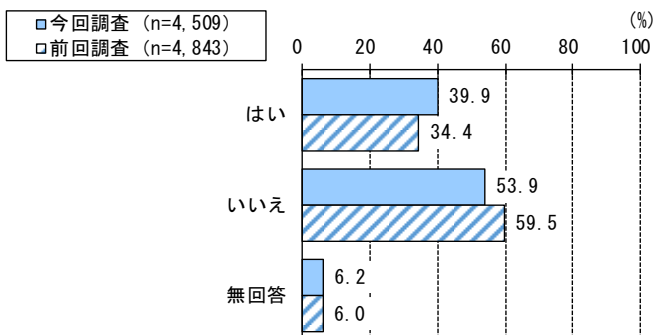


●問9.2 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(1つだけ○)

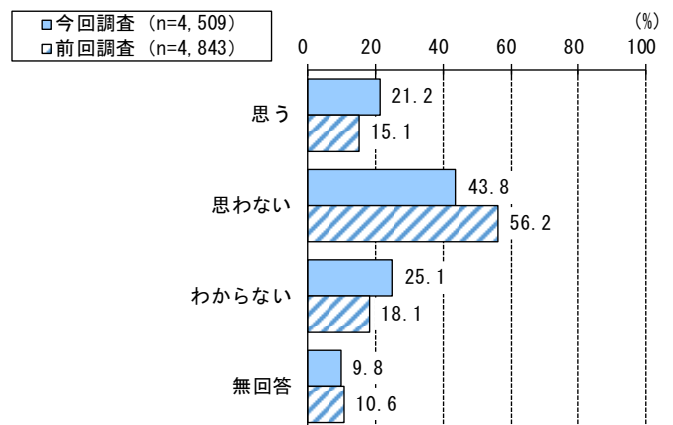


11. 四万十町独自設問—その他

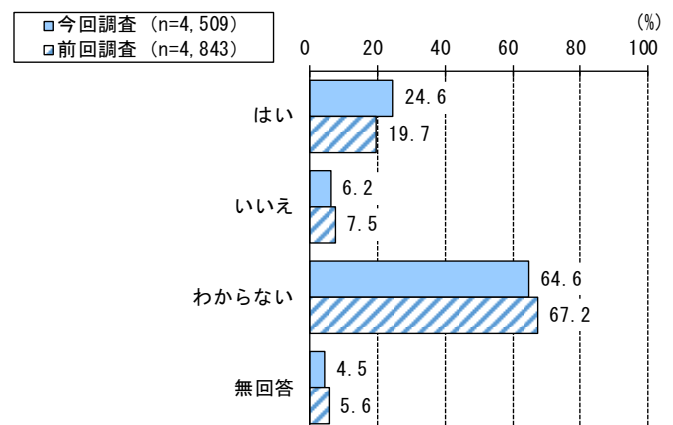
●問11.1 歯科への定期受診をしていますか。(1つだけ○)



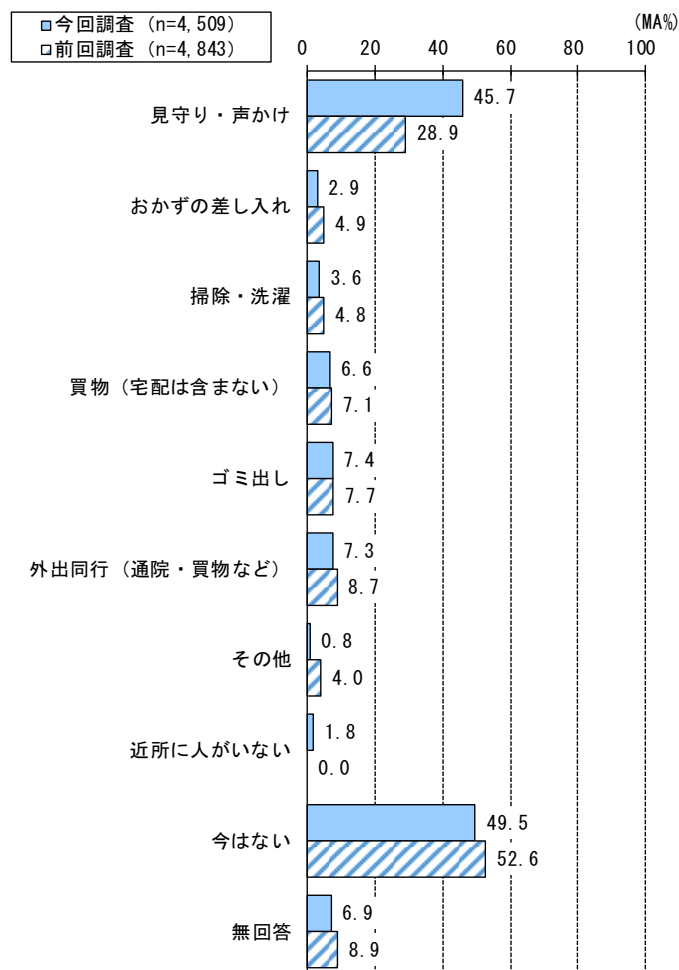
●問11.2 耳が聞こえにくいために、日常生活に不便を感じることから、補聴器を使用したいと思いますか。(1つだけ○)



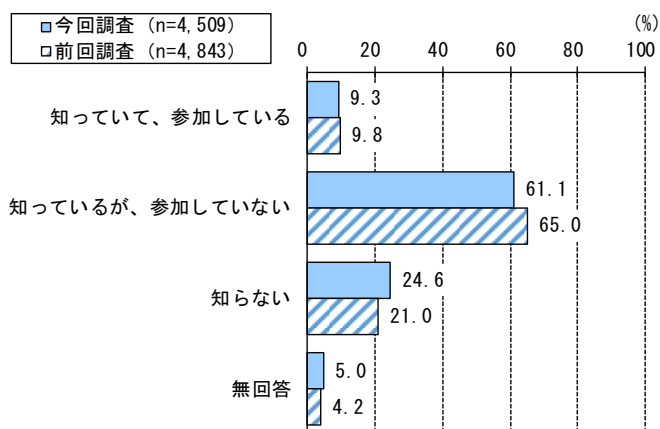
●問11.4 口の動きが悪くなることと肺炎は関係があると思いますか。(1つだけ○)



●問11.5 在宅生活を持けるために近所の人等に手助けしてもらいたいことは何ですか。
(いくつでも○)

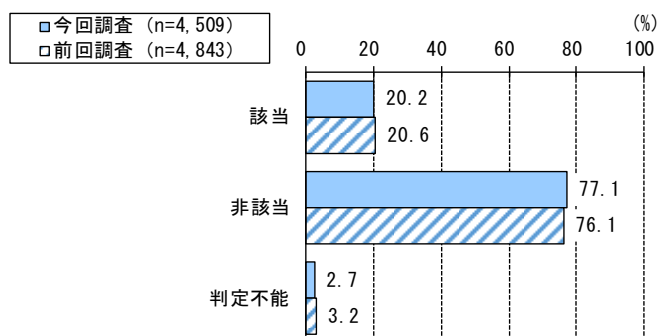


●問11.7 あなたは、地域の交流の場を知っていますか (参加していますか)。(1つだけ○)

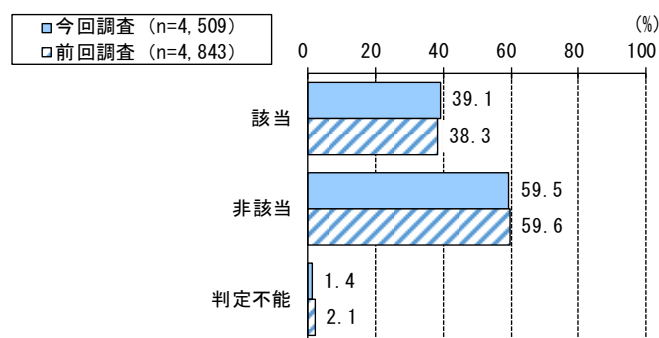


12. リスク判定

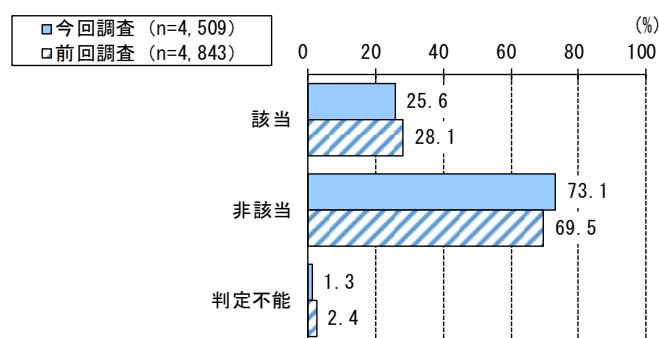
●運動器の機能低下リスク



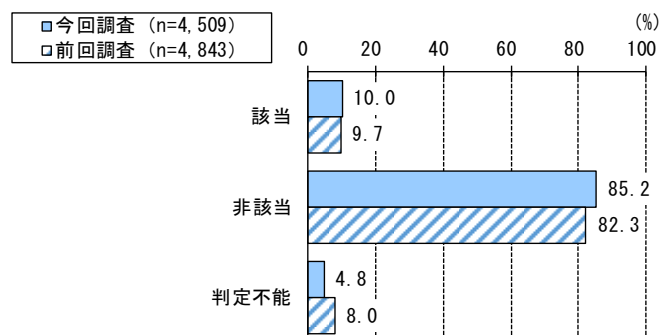
●転倒リスク



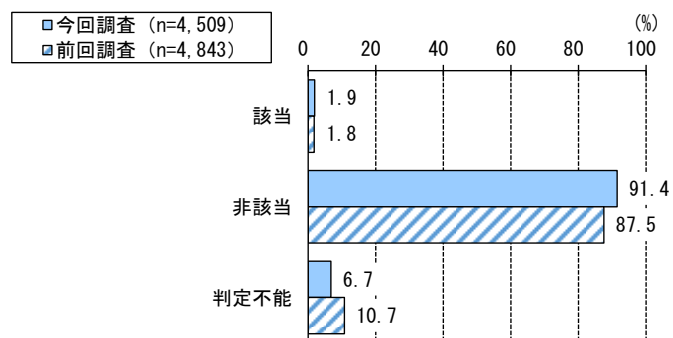
●閉じこもりのリスク



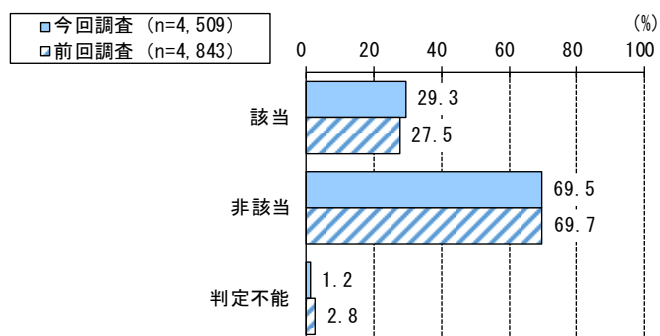
●栄養改善のリスク



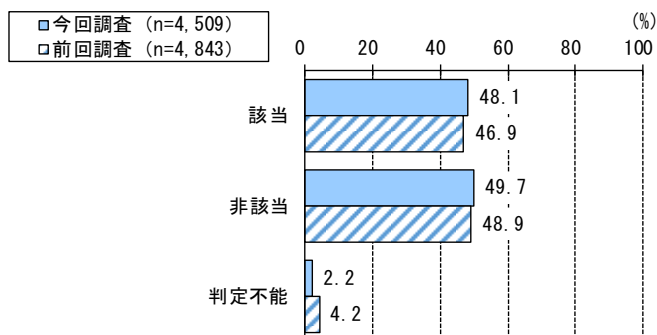
●低栄養のリスク



●口腔機能の低下リスク



●認知機能の低下リスク



●うつのリスク

